教　育　要　覧

南相馬市の教育

令和８年度
（２０２６）

南相馬市教育委員会

目　　次

Ⅰ　市勢概況
　1　南相馬市のシンボル …… 1
　2　南相馬市の概要 …… 1
　3　南相馬市の人口・世帯数 …… 1
　4　位置及び面積 …… 2
　5　南相馬市民の歌 …… 2
　6　東日本大震災における南相馬市の状況 …… 3
Ⅱ　教育行政
　1　教育委員 …… １１
　2　教育委員会の沿革 …… １２
　3　教育委員会組織機構と事務分掌 …… １４
　4　南相馬市教育振興基本計画後期計画 …… １７
　5　令和８年度南相馬市学校教育努力目標 …… １８
Ⅲ　教育財政
　1　令和８年度当初予算 …… ２２
　2　令和８年度教育費等予算 …… ２３
Ⅳ　学校教育
　1　学校一覧 …… ２４
　2　児童・生徒数 …… ２８
　3　教育指導 …… ３３
　4　就学奨励 …… ４１
　5　学校保健・安全 …… ４４
　6　学校給食 …… ５１
　7　学校施設一覧 …… ５２
　8　学校施設関連事業計画・実施状況 …… ５６
　9　支援学校・高等学校・専修学校 …… ５８
Ⅴ　幼児教育
　1　幼稚園・保育園・こども園一覧 …… ６０
　2　園児数 …… ６６
　3　保健・安全 …… ７４
　4　幼稚園給食 …… ７４
　5　幼稚園・保育園・こども園施設一覧 …… ７６
　6　放課後児童クラブ …… ７８
　7　事業計画・実施状況 …… ８３
Ⅵ　生涯学習・文化振興
　1　生涯学習関係 …… ８５
　2　生涯学習センター関係 …… ９９
　3　南相馬市生涯学習施設一覧 …… １１２
　4　図書館関係 …… １１４
　5　文化振興関係 …… １２６
Ⅶ　歴史文化
　1　文化財保護関係 …… １３１
　2　博物館関係 …… １３９
Ⅷ　スポーツ
　1　スポーツ関係 …… １４９
　2　スポーツ施設一覧 …… １５８
　3　学校体育施設開放 …… １７０
Ⅸ　各種委員会等名簿 …… １７１
Ⅹ　教育史年表 …… １７６

Ⅰ　市勢概況

1　南相馬市のシンボル

（１）市章

緑と青の２色は山・川・海の豊かな自然を象徴。
連携する３つの円は合併３市町の絆であり、調和・協調・交流を表わし、オレンジの円に一人ひとりの輝きと市民の活力の意味を込めて、ゆとりある未来を創造する「南相馬市」の発展の姿を、安定感あるフォルムで表現しました。

（２）市の花・木・鳥・魚・昆虫

花：さくら

木：けやき

鳥：ひばり

魚：さけ

昆虫：ほたる

2　南相馬市の概要

平成１８年１月１日、小高町、鹿島町及び原町市が合併して「南相馬市」が誕生しました。南相馬市は、福島県浜通りの北部で太平洋に面し、緑深い阿武隈の山すそに広がる豊かな平野で、海洋性の穏やかな気候に恵まれたまちです。

3　南相馬市の人口・世帯数（住民基本台帳登録人口）

（令和８年５月 31 日現在）

	人口（人）			世帯数
	男	女	計	
小高区	2,845	2,969	5,814	2,522
鹿島区	4,684	4,709	9,393	3,732
原町区	19,553	19,531	39,084	18,132
合　計	27,082	27,209	54,291	24,386

※住民基本台帳登録人口は、住民基本台帳に登録された人口です。直近の国勢調査人口を基本にその後の人口動態（出生・死亡・転入・転出）から算出した現住人口とは差があります。

４　位置及び面積

福島県太平洋沿岸北部にあり、東京から 292 ㎞。
いわき市と仙台市のほぼ中間に位置しています。

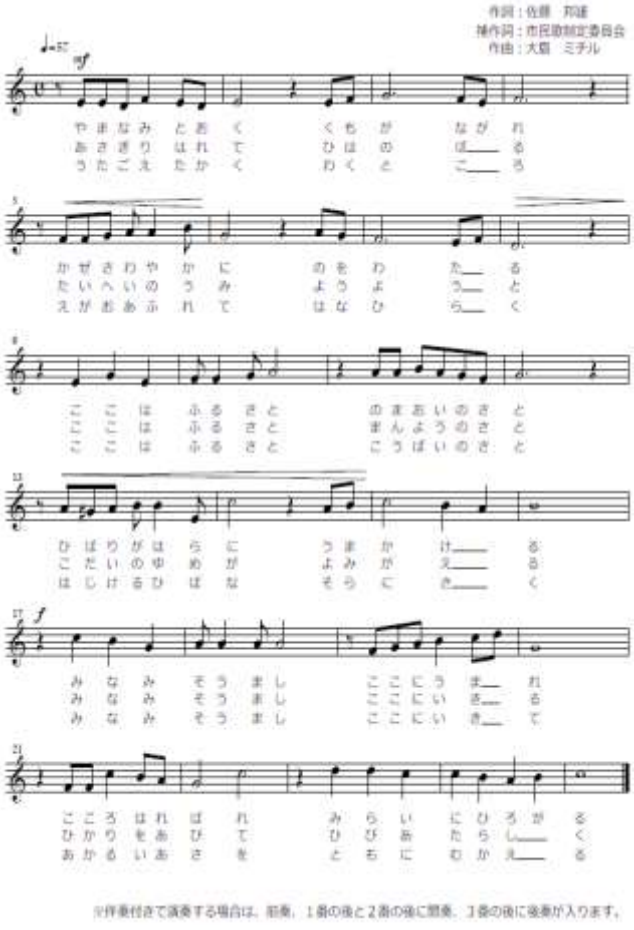
【位置】		【面積】	
東経	140 度 57 分 26 秒	南相馬市	398.27ｋ㎡
北緯	37 度 38 分 32 秒	福島県	13,782.81ｋ㎡

５　南相馬市民の歌

作　詞　　佐藤　邦雄
補作詞　　市民歌制定委員会
作　曲　　大島ミチル

1　山並み遠く　　雲が流れ
　風さわやかに　　野を渡る
　ここはふるさと　野馬追の里
　雲雀が原に　　馬駆ける
　南相馬市　　ここに生まれ
　心晴れ晴れ　　未来に広がる

2　朝霧晴れて　　陽は昇る
　太平の海　　洋々と
　ここはふるさと　万葉の里
　古代の夢が　　よみがえる
　南相馬市　　ここに生きる
　光を浴びて　　日々新しく

3　歌声高く　　湧くところ
　笑顔あふれて　花ひらく
　ここはふるさと　紅梅の里
　はじける火花　空に咲く
　南相馬市　　ここに生きて
　明るい朝を　　共に迎える

※伴奏付きで演奏する場合は、前奏、1番の後と2番の後に間奏、3番の後に後奏が入ります。

６　東日本大震災における南相馬市の状況

（１）東日本大震災に伴う被災等の状況

平成 23 年	
3 月 11 日 14:46	南相馬市で震度６弱を観測
3 月 11 日 15:35 頃	津波到達
3 月 12 日　5:44	福島第一原子力発電所から半径 10 ㎞圏内の住民に避難指示
3 月 12 日 18:25	福島第一原子力発電所から半径 20 ㎞圏内の住民に避難指示
3 月 15 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 ㎞以上 30 ㎞圏内の住民は外出せず、自宅など屋内に退避の指示
3 月 15 日～17 日	市がバスで市内の避難所から市外に避難を誘導（1,939 人）
3 月 18 日～20 日	市がバスで集団避難を誘導（2,725 人）
3 月 25 日	市がバスで集団避難を誘導（　142 人）
4 月 21 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 ㎞圏内を警戒区域に指示（4 月 22 日 0:00 警戒区域に設定）
4 月 22 日　9:44	福島第一原子力発電所から半径 20 ㎞以上 30 ㎞圏内に指示していた屋内への退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定
7 月 21 日 12:30	特定避難勧奨地点として 57 地点（59 世帯）を設定
8 月　3 日 12:00	特定避難勧奨地点として 65 地点（72 世帯）を追加設定
9 月 30 日 18:11	緊急時避難準備区域を解除
11 月 25 日 10:00	特定避難勧奨地点として 20 地点（22 世帯）を追加設定
平成 24 年	
4 月 16 日　0:00	警戒区域及び計画的避難区域を、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に見直し
平成 26 年	
12 月 28 日　0:00	特定避難勧奨地点を解除
平成 28 年	
5 月 27 日	国、県及び市で避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することに合意
5 月 31 日	国の原子力災害対策本部において、避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することを決定
7 月 12 日　0:00	居住制限区域及び避難指示解除準備区域を解除

（２）東日本大震災に伴う教育施設等の被災状況

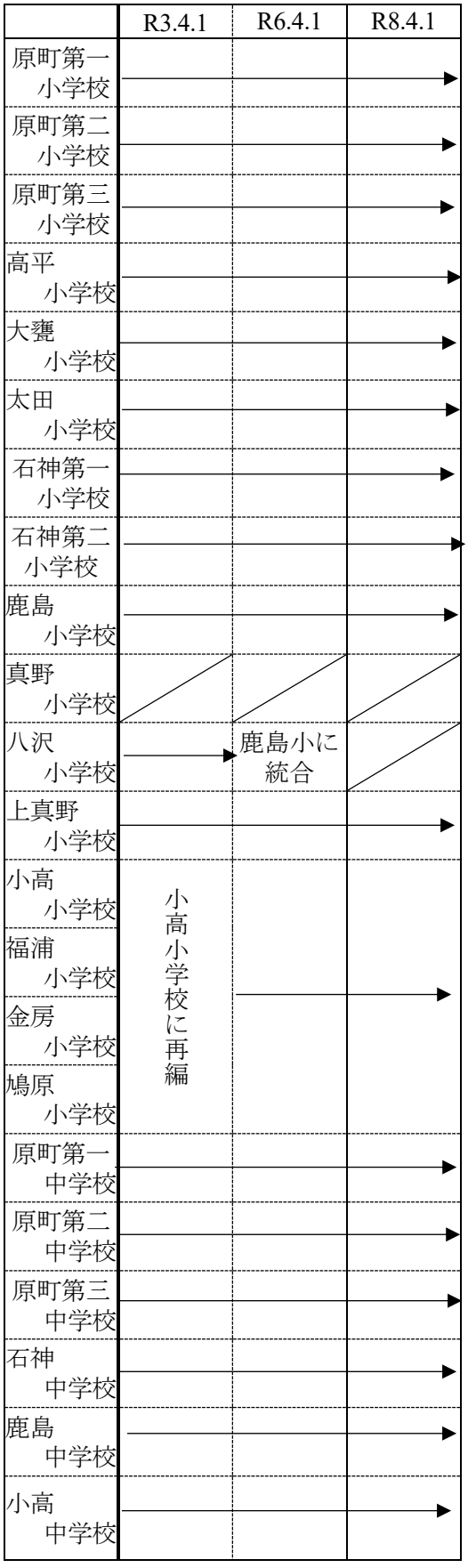
平成23年

３月１１日	**東日本大震災（震度６弱、大津波警報）**
	大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
４月２２日	緊急時避難準備区域指定
	（福島第一原発から半径２０ｋｍ～３０ｋｍ圏内は教育施設休止）
４月２２日	小・中学校の再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
	炊き出し昼食提供開始（２，５００食）
４月２５日	小学１年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
５月　６日	公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園）
	私立保育園の再開(原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区寺内地区に臨時園舎にて再開)
	児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢児童クラブ）
６月　１日	公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
８月　１日～	除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え
１１月　５日	及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く。）
８月　５日～	中央図書館・博物館施設除染作業
８月　７日	
８月　９日	中央図書館・博物館の再開
８月２５日	学校給食再開（３，３００食）
	鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（24教室～高平小・大甕小・原町一小・石神二小・小高小・金房小・鳩原小・原町二中）
	※＿＿は一部使用校
９月　１日	公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
１０月１１日	私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
１０月１７日	原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一中・原町二中）
	児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
１１月　１日	私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
１１月２１日	仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高中・鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
１２月　６日	鹿島図書館、市民情報交流センターの再開

平成24年	
１月１０日	原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小）
	児童クラブの再開（橋本町児童クラブ・高平児童館）
２月１５日～	小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
３月３１日	
２月２７日	原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中）
	児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
４月　１日	児童クラブの再開（石神第一児童クラブ）
	公立幼稚園の再開（高平幼稚園・大甕幼稚園）
４月　３日	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
４月　６日	小高・金房・鳩原小が鹿島小及びユニット教室から鹿島中仮設校舎へ引越し
７月　２日	児童クラブの再開(太田児童クラブ・仲町児童センター)
９月　３日	小高区児童(小高小、金房小）鹿島児童クラブから上真野児童クラブへ移動
平成25年	
４月　１日	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し
	真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し
	児童クラブの再開(原町第一児童クラブ、小高合同児童クラブ)
平成26年	
３月３１日	真野幼稚園の廃止
４月　１日	真野小を鹿島小に統合
９月　３日	新八沢児童クラブ開所
平成27年	
４月　１日	公立保育園の再開（原町あずま保育園）
平成28年	
４月　１日	小高区内４小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小）合同運営開始
４月２３日	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
７月１５日	小高図書館再開
	埴谷・島尾記念文学資料館再開
７月２１日	新鹿島児童クラブ開所
平成29年	
４月　１日	小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営)、小高中学校、
	小高幼稚園の本校・本園再開

（３）平成２３年度以降の各小・中学校の移転状況

	H23.4.22	H23.8.29	H23.10.17	H23.11.21	H24.1.10	H24.2.27	H24.4.6	H25.4.1	H26.4.1	H29.4.1
原町第一小学校	鹿島小校舎	一部鹿島小ユニット	本校再開	→	→	→	→	→	→	→
原町第二小学校	八沢小校舎	→	→	→	本校再開	→	→	→	→	→
原町第三小学校	鹿島小校舎	→	本校再開	→	→	→	→	→	→	→
高平小学校	八沢小校舎	八沢小ユニット	→	→	本校再開	→	→	→	→	→
大甕小学校	八沢小校舎	八沢小ユニット	本校再開	→	→	→	→	→	→	→
太田小学校	八沢小校舎	→	大甕小に同居	→	本校再開	→	→	→	→	→
石神第一小学校	前川原体育館	→	→	鹿島中内仮設校舎	→	本校再開	→	→	→	→
石神第二小学校	上真野小校舎	一部上真野小ユニット	→	→	→	本校再開	→	→	→	→
鹿島小学校	本　校	→	→	→	→	→	→	→	→	→
真野小学校	農村環境改善センター	→	→	鹿島小内仮設校舎	→	→	→	鹿島小校舎	鹿島小に統合	／
八沢小学校	本　校	→	→	→	→	→	→	→	→	→
上真野小学校	本　校	→	→	→	→	→	→	→	→	→
小高小学校	鹿島小校舎	鹿島小ユニット	鹿島小校舎	→	→	→	鹿島中内仮設校舎	→	→	本校再開
福浦小学校	八沢小校舎	→	八沢小ユニット	鹿島小内仮設校舎	→	→	→	鹿島中内仮設校舎	→	小高小合同運営
金房小学校	上真野小校舎	一部上真野小ユニット	鹿島小ユニット	→	→	→	鹿島中内仮設校舎	→	→	小高小合同運営
鳩原小学校	上真野小校舎	一部上真野小ユニット	鹿島小ユニット	→	→	→	鹿島中内仮設校舎	→	→	小高小合同運営
原町第一中学校	鹿島小体育館	→	自校再開	→	→	→	→	→	→	→
原町第二中学校	鹿島中校舎	鹿島中ユニット	自校再開	→	→	→	→	→	→	→
原町第三中学校	鹿島中校舎	→	鹿島中ユニット	鹿島中校舎	→	本校再開	→	→	→	→
石神中学校	鹿島中校舎	→	→	鹿島中内仮設校舎	→	本校再開	→	→	→	→
鹿島中学校	本　校	→	→	→	→	→	→	→	→	→
小高中学校	鹿島中校舎	→	→	鹿島小内仮設校舎	→	→	→	→	→	本校再開


R3.4.1
R6.4.1
R8.4.1
原町第一小学校
原町第二小学校
原町第三小学校
高平小学校
大甕小学校
太田小学校
石神第一小学校
石神第二小学校
鹿島小学校
真野小学校
八沢小学校
鹿島小に統合
上真野小学校
小高小学校
福浦小学校
金房小学校
鳩原小学校
小高小学校に再編
原町第一中学校
原町第二中学校
原町第三中学校
石神中学校
鹿島中学校
小高中学校

（4）東日本大震災に伴う児童・生徒の死亡及び行方不明者数、遺児・孤児数

（令和８年４月１日現在）

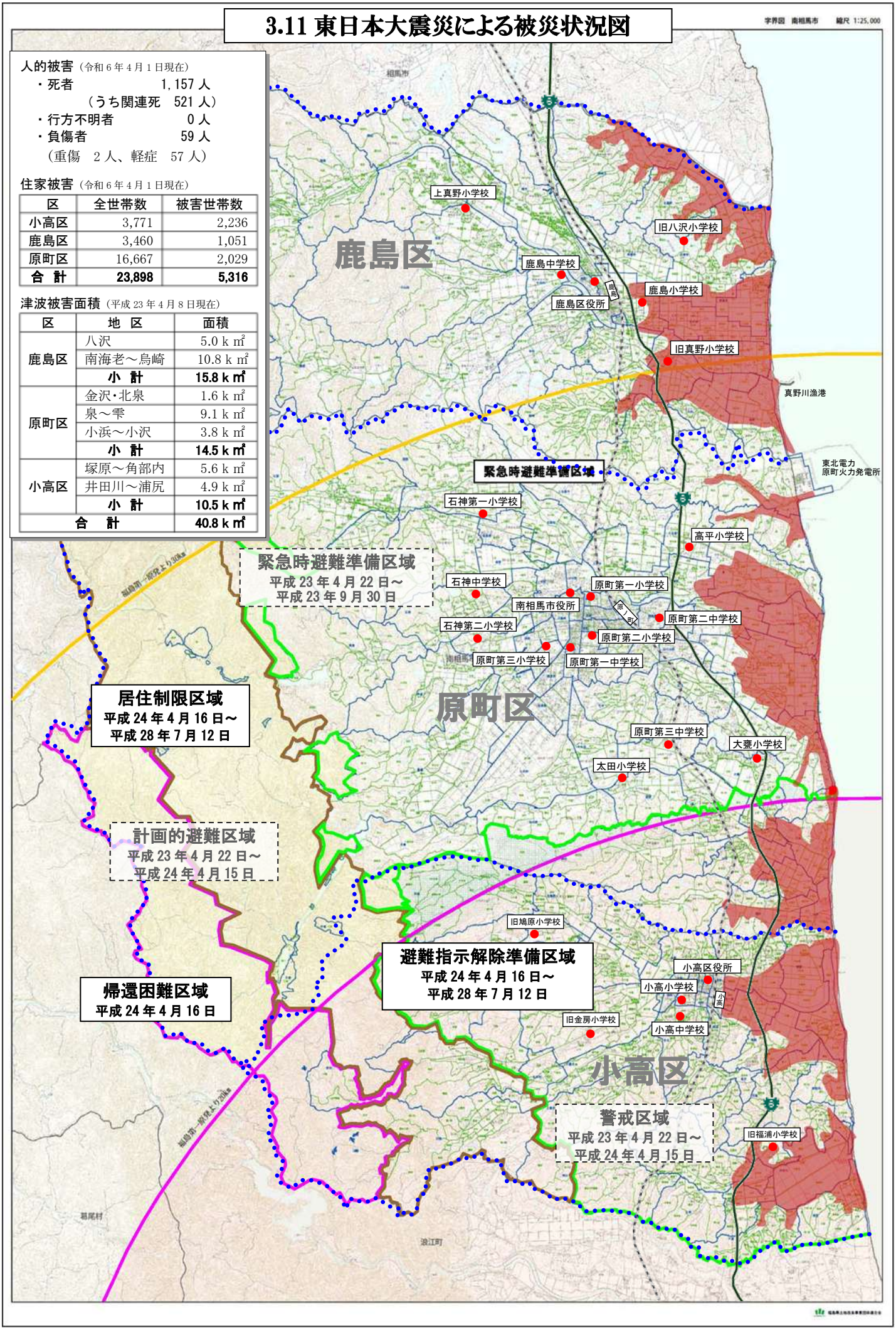
① 児童・生徒の死亡及び行方不明者

	死亡	行方不明	計
小学生	１１人	０人	１１人
中学生	８人	０人	８人
計	１９人	０人	１９人

② 遺児・孤児　　（　）内は昨年の人数

		遺児	孤児	計
区分別の内訳	未就学児等	０人（　０人）	０人（０人）	０人（　０人）
	小学生	０人（　０人）	０人（０人）	０人（　０人）
	中学生	２人（　３人）	０人（０人）	２人（　３人）
	高校生	８人（１１人）	０人（０人）	８人（１１人）
計		１０人（１４人）	０人（０人）	１０人（１４人）

3.11 東日本大震災による被災状況図



Ⅱ　教育行政

1　教育委員

教育長
伏見　伸一郎

教育長職務代理者
金子　まゆみ

教育委員
和田　菜子

教育委員
山邉　彰一

教育委員
百田　尊道

（令和8年5月1日現在）

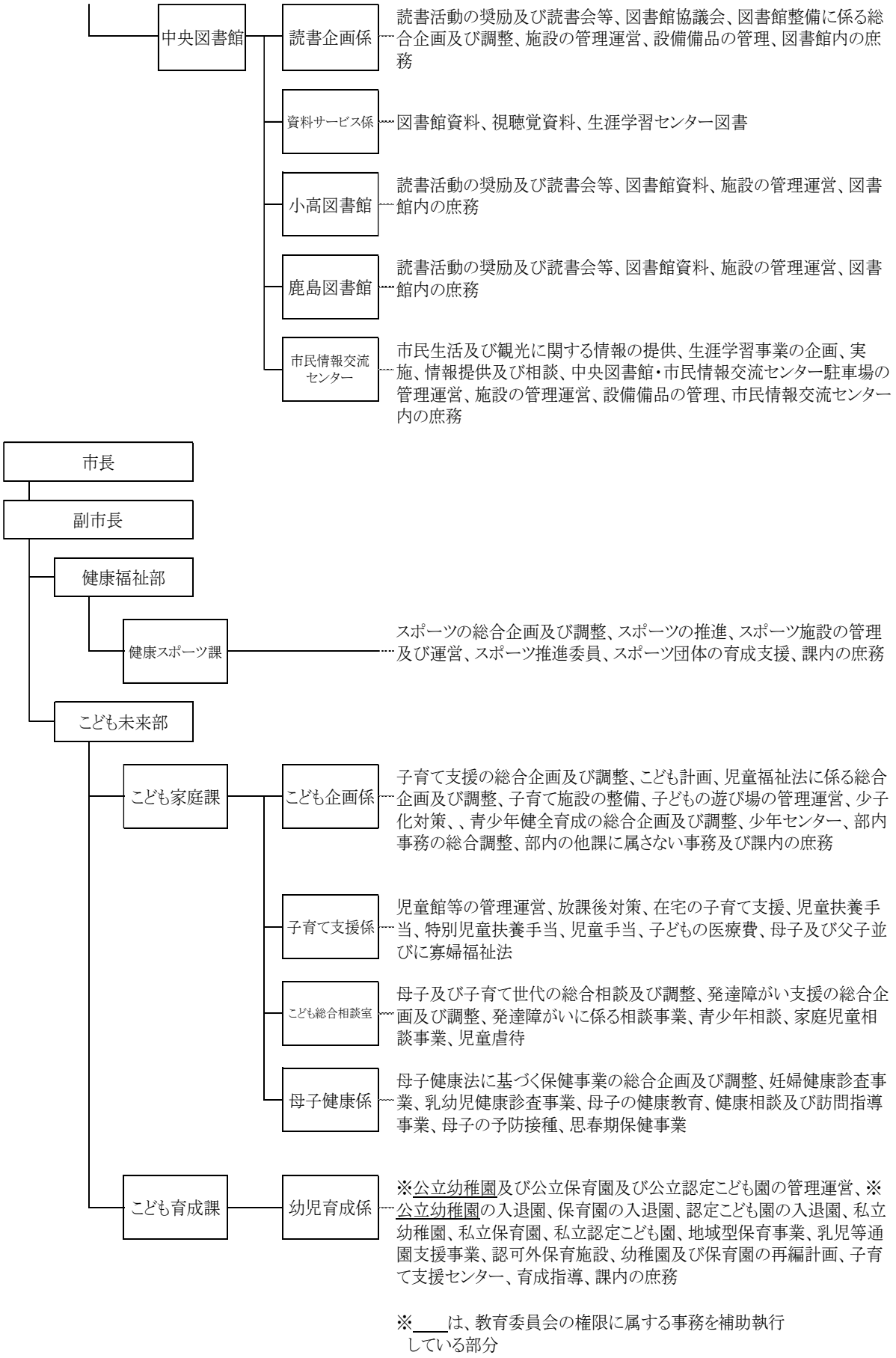
区　分	氏　名	就任年月日	任期年月日
教　育　長	伏見　伸一郎	R8．4．1	R9.3.31
教育長職務代理者	金子　まゆみ	R7.3.29	R11.3.28
委　　員	和 田　菜 子	R5.6.27	R9.6.26
委　　員	山 邉　彰 一	R6.3.29	R10.3.28
委　　員	百 田　尊 道	R8.3.29	R12.3.28

２　教育委員会の沿革

年 月 日	教 育 長	委 員 長	委　員　長 職務代理者	教 育 委 員
平成18.1.1	小高町・鹿島町・原町市の２町・１市が合併「南相馬市」となる			
平成18.1.1	青木　紀男（就任）	渡部　光明（就任）	荒川　登　（就任）	渡部　光明　（就任）
				荒川　　登　（就任）
				青木　紀男　（就任）
				菊地　清人　（就任）
				前田　英子　（就任）
平成18.3.29	青木　紀男（再任）	渡部　光明（再任）	横田　芳朝(就任)	横田　芳朝　（１年）
				菊地　清人　（２年）
				渡部　光明　（３年）
				青木　紀男　（４年）
				鎌田　芳子　（４年）
平成19.3.28				横田　芳朝　（退任）
平成19.3.29		渡部　光明（再任）	鎌田　芳子(就任)	
平成19.6.27				水谷　　隆　（就任）
平成20.3.28				菊地　清人　（退任）
平成20.3.29		渡部　光明（再任）	鎌田　芳子(再任)	大瀬　幸枝　（就任）
平成21.3.28				渡部　光明　（退任）
平成21.3.29		大石　力彌（就任）	鎌田　芳子(再任)	大石　力彌　（就任）
平成22.3.28				鎌田　芳子　（退任）
平成22.3.29	青木　紀男（再任）	大石　力彌（再任）	水谷　隆　（就任）	吉田 奈保美（就任）
平成23.3.29		大石　力彌（再任）	水谷　隆　（再任）	
平成23.6.27			水谷　隆　（再任）	水谷　　隆　（再任）
平成24.3.28				大瀬　幸枝　（退任）
平成24.3.29		大石　力彌（再任）	水谷　隆　（再任）	宮本　晴一　（就任）
平成25.3.29		大石　力彌（再任）	水谷　隆　（再任）	大石　力彌　（再任）
平成26.3.28				吉田 奈保美（退任）
平成26.3.29	青木　紀男（就任）	大石　力彌（再任）	水谷　隆　（再任）	髙野 惠以子（就任）
平成27.3.31	青木　紀男（退任）			

教育委員会制度改正により役職変更				
年 月 日	教 育 長	教 育 長 職務代理者	教 育 委 員	
平成27.4.1	阿部　貞康（就任）	大石　力彌（就任）		
平成27.6.26			水谷　　隆　（退任）	
平成27.6.27			渡辺　金作　（就任）	
平成28.3.28			宮本　晴一　（退任）	
平成28.3.29			濱須　弘仲　（就任）	
平成29.3.29		大石　力彌（再任）		
平成30.3.29			髙野 惠以子（再任）	
平成30.3.31	阿部　貞康（退任）			
平成30.4.1	大和田　博行（就任）			
令和元.6.27			渡辺　金作　（再任）	
令和 2.3.29			濱須　弘仲　（再任）	
令和 3.3.28			大石　力彌　（退任）	
令和 3.3.29		渡辺　金作（就任）	金子 まゆみ（就任）	
令和 3.4.1	大和田　博行（再任）			
令和 4.3.29			髙野 惠以子（再任）	
令和 5.6.26			渡辺　金作　（退任）	
令和 5.6.27		髙野 惠以子（就任）	和田　菜子　（就任）	
令和 6.3.28			濱須　弘仲　（退任）	
令和 6.3.29			山邉　彰一　（就任）	
令和 6.4.1	大和田　博行（再任）			
令和 7.3.29			金子 まゆみ（再任）	
令和 8.3.28		髙野 惠以子（退任）		
令和 8.3.29		金子　まゆみ（就任）	百田　尊道（就任）	
令和 8.3.31	大和田　博行（退任）			
令和 8.4.1	伏見　伸一郎（就任）			

3　教育委員会組織機構と事務分掌


中央図書館
読書企画係
読書活動の奨励及び読書会等、図書館協議会、図書館整備に係る総合企画及び調整、施設の管理運営、設備備品の管理、図書館内の庶務
資料サービス係
図書館資料、視聴覚資料、生涯学習センター図書
小高図書館
読書活動の奨励及び読書会等、図書館資料、施設の管理運営、図書館内の庶務
鹿島図書館
読書活動の奨励及び読書会等、図書館資料、施設の管理運営、図書館内の庶務
市民情報交流センター
市民生活及び観光に関する情報の提供、生涯学習事業の企画、実施、情報提供及び相談、中央図書館・市民情報交流センター駐車場の管理運営、施設の管理運営、設備備品の管理、市民情報交流センター内の庶務
市長
副市長
健康福祉部
健康スポーツ課
スポーツの総合企画及び調整、スポーツの推進、スポーツ施設の管理及び運営、スポーツ推進委員、スポーツ団体の育成支援、課内の庶務
こども未来部
こども家庭課
こども企画係
子育て支援の総合企画及び調整、こども計画、児童福祉法に係る総合企画及び調整、子育て施設の整備、子どもの遊び場の管理運営、少子化対策、、青少年健全育成の総合企画及び調整、少年センター、部内事務の総合調整、部内の他課に属さない事務及び課内の庶務
子育て支援係
児童館等の管理運営、放課後対策、在宅の子育て支援、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童手当、子どもの医療費、母子及び父子並びに寡婦福祉法
こども総合相談室
母子及び子育て世代の総合相談及び調整、発達障がい支援の総合企画及び調整、発達障がいに係る相談事業、青少年相談、家庭児童相談事業、児童虐待
母子健康係
母子健康法に基づく保健事業の総合企画及び調整、妊婦健康診査事業、乳幼児健康診査事業、母子の健康教育、健康相談及び訪問指導事業、母子の予防接種、思春期保健事業
こども育成課
幼児育成係
※公立幼稚園及び公立保育園及び公立認定こども園の管理運営、※公立幼稚園の入退園、保育園の入退園、認定こども園の入退園、私立幼稚園、私立保育園、私立認定こども園、地域型保育事業、乳児等通園支援事業、認可外保育施設、幼稚園及び保育園の再編計画、子育て支援センター、育成指導、課内の庶務
※＿＿は、教育委員会の権限に属する事務を補助執行している部分

教育機関等の所属

教育委員会部局

所　属	機　関　名
教育総務課	原町第一小学校、原町第二小学校、原町第三小学校、高平小学校、大甕小学校、太田小学校、石神第一小学校、石神第二小学校、鹿島小学校、上真野小学校、小高小学校、原町第一中学校、原町第二中学校、原町第三中学校、石神中学校、鹿島中学校、小高中学校
学校教育課	南相馬市学校給食センター
文化財課	南相馬市博物館、文化財整理室
南相馬市立中央図書館	南相馬市立中央図書館、南相馬市立小高図書館、南相馬市立鹿島図書館、南相馬市民情報交流センター
生涯学習課	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」、埴谷・島尾記念文学資料館、南相馬市就業改善センター、南相馬市小高コミュニティセンター、鹿島生涯学習センター、南相馬市鹿島農村環境改善センター、原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」、太田生涯学習センター、大甕生涯学習センター、高平生涯学習センター、石神生涯学習センター、ひがし生涯学習センター、ひばり生涯学習センター、南相馬市労働福祉会館、南相馬市民文化会館

市長部局

所　属	機　関　名
健康スポーツ課	南相馬市スポーツセンター、雲雀ケ原陸上競技場、夜の森公園テニスコート、南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、南相馬市野球場、南相馬市民プール、小川町体育館、南相馬市サッカー場、北新田第一運動場、北新田第二運動場、北新田野球場、南相馬市相撲場、栄町柔剣道場、南相馬市馬事公苑、小高体育センター、小高東部運動場、小高中部運動場、小高片草運動場、千倉体育館、前川原体育館、千倉グラウンド、前川原グラウンド、千倉テニスコート、みちのく鹿島球場、鹿島体育館、南相馬市パークゴルフ場
こども家庭課	東町児童センター、上町児童センター、橋本町児童センター、八沢児童クラブ、鹿島児童クラブ、石神第二児童クラブ
こども育成課	高平幼稚園、大甕幼稚園、鹿島幼稚園、かしま保育園、かみまの保育園、おだか認定こども園、原町子育て支援センター、かしま子育て支援センター

４　南相馬市教育振興基本計画後期計画

学校教育

施策１　豊かな心と体の育成
- （１）　郷土を愛し豊かな心を育む教育「ふるさと至誠学」を推進します。
- （２）　不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。
- （３）　運動の習慣化や正しい食生活を身につけ、健康な体を育む教育を推進します。

施策２　教育水準の向上
- （１）　教育指導体制を充実します。
- （２）　地域性を生かした魅力ある教育環境づくりを推進します。
- （３）　小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境を整備します。
- （４）　学校図書館及び図書館教育の充実を推進します。
- （５）　地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進します。

施策３　学びの環境整備・充実
- （１）　学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。
- （２）　地域と連携した登下校の安全確保や安全な通学手段を確保します。
- （３）　学校施設の環境整備・改善に取り組みます。
- （４）　安全・安心な学校給食を安定的に供給できる体制を整備します。
- （５）　学びのセーフティネットとしての支援に取り組みます。

生涯学習・スポーツ

施策１　生涯学習の充実
- （１）　市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。
- （２）　子育て世代や青壮年層が参加しやすい生涯学習機会の充実を図ります。
- （３）　読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。

施策２　芸術文化の充実
- （１）　芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備します。
- （２）　身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。

施策３　スポーツの振興
- （１）　スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。
- （２）　各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組みます。
- （３）　安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組みます。
- （４）　東京２０２０オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン相手国との相互交流を推進します。

文化

施策１　文化遺産の整備・活用
- （１）　文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。

施策２　ふるさと教育の充実
- （１）　子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。
- （２）　ふるさとに継承される報徳精神を活かしたまちづくり、ひとづくりを進めるため、報徳仕法の学びの場を充実します。

施策３　地域文化の継承
- （１）　民俗芸能や相馬野馬追の継承と活動の活性化に向けた支援、新たな保存伝承の仕組みづくりに取り組みます。
- （２）　震災資料を含めた歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用を推進します。

幼児教育

施策１　幼児教育の充実
- （１）　園児の可能性や特性を引き出す幼児教育を推進します。
- （２）　私立・公立保育園（所）・幼稚園等のあり方を検討します。
- （３）　保護者の経済的負担の軽減を図ります。
- （４）　保育者・幼稚園教諭等の人材確保に取り組みます。

施策２　子育て環境の充実
- （１）　多様化する子育て家庭のニーズに対応します。
- （２）　子育てに関する相談・支援体制や情報発信の充実を図ります。
- （３）　子育て家庭と地域、子育て支援機関の交流を図ります。

５　令和８年度南相馬市学校教育努力目標

【基本目標】

１　「確かな学力」の定着を図るとともに、「豊かな心」、「健やかな体」を培い、「知・徳・体」をバランスよく育成する教育活動を推進する。

２　予測困難な時代を生き抜く「生きる力」が身に付くよう、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

３　組織的・計画的に教育の質の向上を図る、カリキュラム・マネジメントを推進する。

４　「南相馬の授業スタイル」や「授業改善プラン」を基盤とした、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、子どもが主役の授業づくり、自ら学ぶ児童生徒の育成を推進する。

５　教職員の多忙化解消を図るために、教育活動の効率的・効果的な在り方を創意工夫する。

【具体目標】

１　確かな学力の育成（授業改善・学習活動の充実）

２　豊かな心の育成（道徳教育、生徒指導の充実）

３　健やかな体の育成（体育と健康に関する指導の充実）

４　特別支援教育の充実

５　開かれた学校づくりの推進

６　図書館教育の充実

１　確かな学力の育成（授業改善・学習活動の充実）

(1) 確かな学力を育成する教育活動の充実

①　「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に関する資質・能力をバランスよく育成する教育活動を展開する。

②　「南相馬の授業スタイル」及び「授業改善プラン」等に基づき、同一歩調で「主体的・対話的で深い学び」に視点をあてた授業改善に取り組む。また、各校の現職のテーマ「自ら学ぶ」を入れる。
（時代の変化に対応できる生きる力→子どもが主役の授業→「自ら学ぶ」）

③　ＩＣＴ機器を積極的に活用するとともに、ＴＴや習熟度別学習等、個別指導を充実させ、個別最適化した学び・協働的な学びの推進に努める。

④　学年や個々の実態を考慮し、授業と関連させた質の高い家庭学習への取組みを推進する。

(2) 体験的・問題解決的な学習の充実

①　生活科や総合的な学習の時間を要とした教科等横断的、探究的な学習活動の充実を図る。

②　一単位時間の弾力的な運用や柔軟な指導体制のもと、地域資源を生かした学習の充実を図る。

(3) 幼・小・中・高の円滑な接続・連携

①　幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の系統性を踏まえ、幼・小・中を見通した学習内容

や方法等を把握するとともに、園、学校種間での保育・授業参観交流、情報交換等を推進する。

② 小学校入学時においては、学校生活、学習活動へのスムーズな適応が図られるよう、スタートカリキュラムを創意工夫する。

(4) 外国語教育の充実

① 豊かな語学力・コミュニケーション能力を育成する外国語教育（英語）の充実を図る。

② フォニックスや英検受験等の機会を設け、英語力の向上を促進するとともに、ＡＬＴ-ＤＡＹ等の活動を通じて、英語を身近に感じることができる環境を構築する。

(5) 家庭教育の充実

① 学年や個々の実態を考慮し、授業と関連させた質・量の充実した家庭学習への取り組みを推進する。

② １人１台端末を活用したデジタルドリルアプリによる個別最適な学習の実現を図る。

２ 豊かな心の育成

(1) 道徳教育の充実

① 道徳科における多様な指導方法や学習形態の工夫・改善を図るとともに、「考える道徳」、「議論する道徳」を目指した授業を構築する。

② 「郷土愛」、「思いやり」の内容項目の育成に努める。（市重点内容項目）

③ 「ふくしま道徳教育資料集」や「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」（市発行）を道徳の授業をはじめとする学校の道徳教育や家庭教育において活用するよう努める。

(2) 生徒指導の充実

① 学校いじめ防止基本方針をもとに、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けた組織的な対応ができる指導体制を確立する。

② 不登校児童生徒の気持ちに寄り添い、個別支援や家庭との連携に努めるとともに、新たな不登校児童生徒を生じさせない指導体制、環境づくりに努める。

③ 個の特性やニーズに対応できる教育相談体制づくりや教職員間の連携に努めるとともに、ＳＣ、ＳＳＷ等につなぎ、子に応じた適切な支援にあたる。

(3) キャリア教育の充実

① 児童生徒一人一人の発達段階や特性に応じた適切な指導を行い、将来の生き方やビジョンを考え行動する能力や、学びに向かう力や態度を育成する指導の充実に努める。

３ 健やかな体の育成

(1) 体育・健康教育の充実

① 体育科の学習の充実に努め、体力・運動能力を向上させるとともに、体育への意欲や運動に親しむ習慣、健康に関する知識を身に付ける。

② 個々の健康面の課題を的確に把握し、生活習慣病（肥満、う歯等）の予防に努める。

③ 食に関する指導体制を確立させるとともに、実態に応じた食に関する指導の充実を図る。

④ 養護教諭との連携や外部講師の活用により、健康や性に関する正しい知識を身に付ける。

(2) 保健・安全・給食指導の充実

① 新型コロナウイルス感染症等、感染症の予防について実態に応じた指導を行う。

② 暑さ指数（WBGT）指標を参考とし、天候の変化や体調に留意しつつ熱中症の予防に努める。

③ 地震・津波・風水害等の被害状況を想定し、地域や関係機関との連携を図りながら防災意識を高め、児童生徒の生命や安全を確実に守る。

④ 危険等発生時対処要領（緊急時対応マニュアル）の見直し・改善に努め、学校事故の絶無を期す。

⑤ 校舎内外の安全点検や通学路点検を実施し、学校事故の未然防止に万全を期す。

⑥ 食物アレルギー対象児における対応を明確にし、緊急時には全職員が対応できるようにする。

(3) 放射線教育の充実

① 児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な指導を行うとともに、放射線や被ばくに関する正しい知識に基づいた合理的な判断ができるようにする。

4 特別支援教育の充実

(1) 個に応じた特別支援教育

① 一人一人の特性やニーズ、保護者の願いに応じた指導・支援、環境の構築に努める。

② 教育ソフトを用いた個別の指導計画・個別の教育支援計画の活用を段階的に図り、組織的・継続的な指導・支援を行う。

(2) 支援体制の整備

① 地域における医療、福祉、保健、教育等の関係機関が連携した支援に努める。

② 相談支援ファイル「かけはし」の活用を図り、一貫した支援に努める。

5 開かれた学校づくりの推進

(1) 学校評価の充実

① 学校の経営方針や教育活動について家庭や地域に広く発信するとともに、学校評議員等の一層の活用に努め、保護者や地域住民等の意見を学校経営に反映するように努める。

(2) 家庭や地域社会との連携

① 学校だよりの配付やホームページの閲覧を通して、学校情報の積極的な発信に努める。

② 学校と地域が連携・協働して資質・能力を育成する、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

Ⅲ　教育財政

１　令和８年度当初予算

（１）一般会計

歳入				歳出			
科目		予算額（千円）	構成比（%）	科目		予算額（千円）	構成比（%）
1	市税	10,067,007	20.6%	1	議会費	245,353	0.5%
2	地方譲与税	372,204	0.8%	2	総務費	9,726,548	19.9%
3	利子割交付金	24,000	0.0%	3	民生費	10,341,499	21.1%
4	配当割交付金	23,000	0.0%	4	衛生費	4,783,567	9.8%
5	株式等譲渡所得割交付金	63,000	0.1%	5	労働費	92,045	0.2%
6	法人事業税交付金	140,000	0.3%	6	農林水産業費	8,813,672	18.0%
7	地方消費税交付金	1,719,000	3.5%	7	商工費	1,807,357	3.7%
8	ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0%	8	土木費	3,258,476	6.7%
9	自動車取得税交付金	1	0.0%	9	消防費	1,216,159	2.5%
10	環境性能割交付金	3,000	0.0%	10	教育費	5,827,320	11.9%
11	地方特例交付金	33,003	0.1%	11	災害復旧費	2,974	0.0%
12	地方交付税	10,915,215	22.3%	12	公債費	2,758,622	5.6%
13	交通安全対策特別交付金	7,000	0.0%	13	予備費	80,000	0.1%
14	分担金及び負担金	245,198	0.5%				
15	使用料及び手数料	355,092	0.7%				
16	国庫支出金	4,467,779	9.1%				
17	県支出金	7,023,431	14.4%				
18	財産収入	292,786	0.6%				
19	寄附金	308,805	0.6%				
20	繰入金	5,454,318	11.2%				
21	繰越金	600,000	1.2%				
22	諸収入	1,148,553	2.4%				
23	市債	5,686,200	11.6%				
	合　　計	48,954,592	100.0		合　　計	48,954,592	100.0

（２）育英資金貸付特別会計

歳入				歳出			
科目		予算額（千円）	構成比（%）	科目		予算額（千円）	構成比（%）
1	貸付金回収金	23,521	55.5%	1	総務費	1,043	2.5%
2	使用料及び手数料	1	0.0%	2	貸付金	40,564	95.6%
3	財産収入	808	1.9%	3	基金積立金	808	1.9%
4	繰入金	18,082	42.6%				
5	繰越金	1	0.0%				
6	諸収入	2	0.0%				
	合　　計	42,415	100.0		合　　計	42,415	100.0

２　令和８年度教育費等予算

【歳出内訳】（単位：千円）

教育費

科目	予算額	前年度	比較
教育総務費	1,203,783	978,646	225,137
小学校費	455,867	421,459	34,408
中学校費	333,717	309,050	24,667
幼稚園費	295,054	321,966	△26,912
社会教育費	1,706,468	1,520,057	186,411
保健体育費	1,647,833	1,113,140	534,693
東日本大震災等教育対策費	184,598	17,904	166,694
原子力災害教育対策費		196,143	△196,143
合　　計	5,827,320	4,878,365	948,955

民生費（児童福祉費抜粋）

科目	予算額	前年度	比較
児童福祉費	3,969,229	3,909,611	59,618

【財源内訳】（単位：千円）

教育費			民生費（児童福祉費抜粋）		
特定財源	国県支出金	412,457	特定財源	国県支出金	2,436,962
	地方債	735,300		地方債	7,200
	その他	850,606		その他	178,409
一般財源		3,828,957	一般財源		1,346,658
合計		5,827,320	合計		3,969,229

Ⅳ　学校教育

1　学校一覧

（1）小学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一小学校	原町区東町二丁目 66	22-5166	山 本　秀 和	今 野　真 幸
原町第二小学校	原町区橋本町一丁目 101	22-4114	横 山　雄 彦	遠 藤　正 隆
原町第三小学校	原町区上町一丁目 13	22-4141	烏 中　雪 野	中 畑　真
高　平　小学校	原町区下北高平字古舘 22	22-3420	渡 邉　大 輔	門 馬　貞
大　甕　小学校	原町区大甕字鶴蒔 8	22-3881	鈴 木　和一郎	星 野　尊 乗
太　田　小学校	原町区益田字塩釜 236	22-3822	高 野　道 子	渡 辺　康 嗣
石神第一小学校	原町区北長野字北原田 288	22-2829	田 村　高 弘	鈴 木　聡
石神第二小学校	原町区大木戸字西原 1	22-2724	山 田　耕 人	角 田　健太郎
原　町　区				8校
鹿　島　小学校	鹿島区鹿島字広町 13	46-2240	村 上　潤 一	稲 葉　綾
上 真 野小学校	鹿島区浮田字一丁田 81	47-2226	山 田　徹	青 田　公 子
鹿　島　区				2校
小　高　小学校	小高区関場一丁目 77-1	44-2022	林　典 行	山 口　剛
小　高　区				1校
合　計				11校

（令和8年5月1日現在）

区分	学年別児童数・学級数								教職員数（本務者）							市職員	計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食	
児童	37	48	46	48	54	53	37	323	1	1	24	1	2	1	1	1	32
学級	2	2	2	2	2	2	5	17									
児童	28	25	23	36	23	32	30	197	1	1	14	1	2	1	1	1	22
学級	1	1	1	2	1	1	7	14									
児童	76	58	72	57	75	63	24	425	1	1	23	1	4	1	1	1	33
学級	3	2	3	2	3	2	4	19									
児童	10	15	10	15	17	23	10	100	1	1	10	1	1	0	1	1	16
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	15	15	17	20	16	12	5	100	1	1	9	1	1	0	1	0	14
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	6	4	2	4	11	8	0	35	1	1	5	1	0	0	1	0	9
学級	1	1		1		1	0	4									
児童	10	12	11	10	14	10	3	70	1	1	7	2	2	0	1	0	14
学級	1	1	1	1	1	1	1	7									
児童	52	49	47	66	55	55	28	352	1	1	20	2	2	1	1	0	28
学級	2	2	2	2	2	2	5	17									
児童	234	226	228	256	265	256	137	1602	8	8	112	10	14	4	8	4	168
学級	12	11	11	12	11	11	26	94									
児童	35	31	40	66	54	54	25	305	1	1	21	1	4	0	1	0	29
学級	2	1	2	2	2	2	5	16									
児童	8	10	12	8	16	11	0	65	1	1	7	2	1	0	1	0	13
学級	1	1	1	1	1	1	0	6									
児童	43	41	52	74	70	65	25	370	2	2	28	3	5	0	2	0	42
学級	3	2	3	3	3	3	5	22									
児童	17	17	16	19	12	15	10	106	1	1	12	1	0	1	1	0	17
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	17	17	16	19	12	15	10	106	1	1	12	1	0	1	1	0	17
学級	1	1	1	1	1	1	2	8									
児童	294	284	296	349	347	336	172	2078	11	11	152	14	19	5	11	4	227
学級	16	14	15	16	15	15	33	124									

（２）中学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一中学校	原町区南町三丁目 23	22-4144	矢内　信男	髙木　忠明
原町第二中学校	原町区桜井町一丁目 152	22-4188	佐藤　公一	山内　正俊
原町第三中学校	原町区下太田字川内前 12-2	22-3802	鈴木　一憲	清信　元博
石　神　中学校	原町区石神字北畑 47-1	22-3373	武口　隆行	福尾　淳
原　町　区				４校
鹿　島　中学校	鹿島区寺内字落合 28	46-2019	塙　広治	堀内　浩明
小　高　中学校	小高区吉名字中坪 1	44-2023	小林　喜徳	佐藤　拓也
合　計				６校

（令和8年5月1日現在）

区分	学年別生徒数・学級数					教職員数（本務者）							市職員	計
	1	2	3	特別支援学級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食	
生徒	105	88	122	14	329	1	1	24	1	2	1	1	0	31
学級	3	3	4	3	13									
生徒	53	51	49	11	164	1	1	19	1	1	0	1	0	24
学級	2	2	2	2	8									
生徒	26	16	26	0	68	1	1	7	2	0	0	1	0	12
学級	1	1	1	0	3									
生徒	64	51	48	12	175	1	1	15	1	3	0	1	0	22
学級	2	2	2	2	8									
生徒	248	206	245	37	736	4	4	65	5	6	1	4	0	89
学級	8	8	9	7	32									
生徒	72	55	77	9	213	1	1	18	2	1	1	1	0	25
学級	3	2	3	2	10									
生徒	9	9	10	2	30	1	1	7	1	2	0	1	0	13
学級	1	1	1	1	4									
生徒	329	270	332	48	979	6	6	90	8	9	2	6	0	127
学級	12	11	13	10	46									

2　児童・生徒数

（1）校種別

（令和8年5月1日現在）

区　分	小　学　校	中　学　校
校　数	１１	6

（2）学年別児童生徒数

区　　分	学　年	児童・生徒数
小　学　校	１学年	308(14)
	２学年	309(26)
	３学年	328(32)
	４学年	387(38)
	５学年	380(23)
	６学年	365(29)
	計	2,078(172)
中　学　校	１学年	348(19)
	２学年	293(23)
	３学年	338 (6)
	計	979(48)

※（　）の数字は特別支援学級の児童生徒数（内数）

（3）就学・転入学

令和８年度小中学校入学状況

区　　分	入学該当者 総　　数	入学者数	就学義務 猶予者数	就学義務 免除者数	特別支援学校等 入 学 者 数
小　学　校	312人	309人	－	－	3人
中　学　校	352人	349人	－	－	3人

令和７年度転入出・市内転校状況（＊転入出通知書送付件数）

区　　分	小　学　校	中　学　校	計
転　　入	29　件	5　件	34　件
転　　出	22　件	8　件	30　件
市　内　転　校	6　件	1　件	5　件
計	57　件	14　件	69　件

（４）中学校卒業生の進学就職状況

令和７年度

学校名	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率（%）
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
原町一中	47	44	91	45	44	89	0	0	0	2	0	2	98.0
原町二中	24	35	59	23	35	58	0	0	0	1	0	1	98.3
原町三中	11	10	21	11	10	21	0	0	0	0	0	0	100.0
石 神 中	26	28	54	26	26	52	0	0	0	0	2	2	96.3
鹿 島 中	46	43	89	45	43	88	0	0	0	1	0	1	98.9
小 高 中	3	7	10	3	7	10	0	0	0	0	0	0	100.0
計	157	167	324	153	165	318	0	0	0	4	2	6	98.1

年　度　別

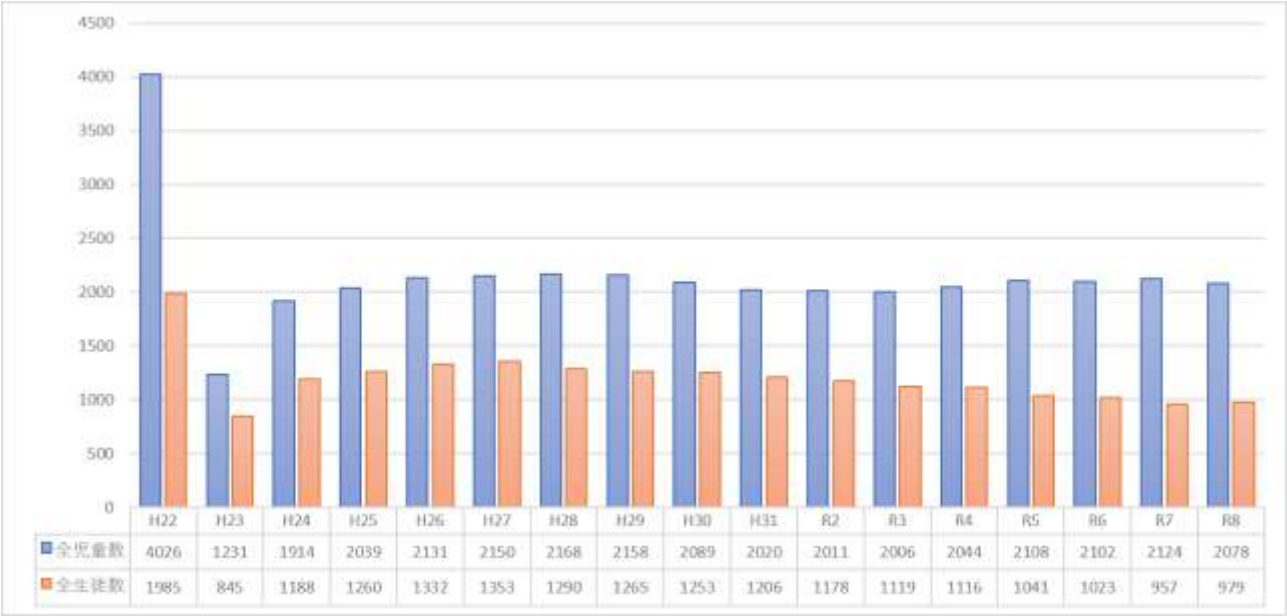
年度	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率（%）
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
H24	221	225	446	216	223	439	3	2	5	2	0	2	98.4
25	192	193	385	187	191	378	4	1	5	1	1	2	98.1
26	234	198	432	229	198	427	1	0	1	4	0	4	98.8
27	249	241	490	245	239	484	1	2	3	3	0	3	98.8
28	227	204	431	226	203	429	0	0	0	1	1	2	99.5
29	215	228	443	214	226	440	0	0	0	1	2	3	99.3
30	217	201	418	214	199	413	0	2	2	3	0	0	98.8
R1	195	217	412	194	214	408	0	0	0	1	3	4	99.0
2	230	197	427	227	196	423	0	0	0	3	1	4	99.1
3	189	180	369	187	176	363	0	0	0	2	4	6	98.4
4	191	201	392	190	196	386	0	0	0	1	5	6	98.5
5	207	157	364	200	154	354	1	0	1	6	3	9	97.2
6	172	191	363	169	188	357	0	0	0	3	3	6	98.3
7	157	167	324	153	165	318	0	0	0	4	2	6	98.1

（5）児童・生徒数の推移

学校名＼年度	H22	23	24	25	26	27	28	29
原町第一小学校	598	158	304	358	389	399	411	400
原町第二小学校	331	81	162	163	177	175	183	168
原町第三小学校	538	167	220	252	278	282	323	330
高平小学校	193	54	112	112	112	113	120	121
大甕小学校	204	52	89	100	107	118	115	123
太田小学校	133	24	59	60	53	50	51	43
石神第一小学校	187	70	83	88	83	73	69	63
石神第二小学校	486	184	204	220	248	260	275	292
鹿島小学校	317	195	264	268	329	337	327	368
真野小学校	75	35	47	43				
八沢小学校	120	72	87	83	88	93	84	78
上真野小学校	141	98	111	111	113	116	116	110
小高小学校	392	25	95	97	81	70	51	47
福浦小学校	105	16	33	30	31	31	18	8
金房小学校	143	11	29	34	32	25	17	4
鳩原小学校	65	10	21	18	11	8	6	3
計	4,028	1,252	1,920	2,037	2,132	2,150	2,166	2,158
原町第一中学校	506	197	308	316	331	329	313	342
原町第二中学校	318	119	193	225	259	275	248	238
原町第三中学校	163	60	93	93	100	104	93	82
石神中学校	319	162	197	233	228	252	238	252
鹿島中学校	297	240	297	303	310	293	309	286
小高中学校	382	41	101	91	103	101	89	66
計	1,985	819	1,189	1,261	1,331	1,354	1,290	1,266

（各年5月1日現在　単位：人）

30	R1	2	3	4	5	6	7	8
394	376	356	354	348	345	333	332	323
167	180	176	175	178	197	199	201	197
330	321	337	360	381	398	402	414	425
112	107	95	106	107	110	106	107	100
117	101	102	97	102	102	102	110	100
49	49	46	45	51	46	39	36	35
57	57	59	64	67	64	68	72	70
270	271	283	283	299	338	352	355	352
349	341	347	324	320	322	352	337	305
80	71	72	70	66	52			
96	88	74	66	64	58	62	62	65
50	42	46	61	62	78	87	98	106
11	9	7						
2	4	4						
6	4	7						
2,090	2,021	2,011	2,005	2,045	2,110	2,102	2,124	2,078
349	361	357	341	357	322	341	313	329
232	228	222	198	201	183	188	167	164
79	84	78	81	64	64	63	62	68
224	202	183	174	173	166	152	162	175
310	278	289	276	273	267	245	224	213
60	53	49	49	48	43	34	29	30
1,254	1,206	1,178	1,119	1,116	1,045	1,023	957	979



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全児童数	4026	1231	1914	2039	2131	2150	2168	2158	2089	2020	2011	2006	2044	2108	2102	2124	2078
全生徒数	1985	845	1188	1260	1332	1353	1290	1265	1253	1206	1178	1119	1116	1041	1023	957	979

3　教育指導

（1）令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
学校訪問	○学校教育の充実・向上を図る。 ○各学校（園）の教育課程の実施状況を図るとともに学習指導のあり方について指導・助言を行う。 ○学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察・聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○授業改善をねらいとした授業研究会を実施することにより、児童生徒の基礎的・基本的な内容の一層の定着と活用力の育成を図る。 ○全職員が自校の課題について共通理解を図り、共同歩調で授業実践・授業改善に取り組もうとする意識の一層の醸成を図る。	◇学校訪問 大甕小・大甕幼稚園　鹿島小・鹿島幼稚園　小高中　石神一小 原町一中　原町二小 ◇教育課程実施状況調査訪問 （全学級訪問・管理訪問） 石神中　石神二小　太田小 原町三中　高平小　小高小
教育支援アドバイザー配置事業	○児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	◇学校巡回相談 教育支援アドバイザーが、計画的に小･中学校を訪問し、就学指導等について指導・助言を行う。 年間８０日（２名体制） ◇定期学校訪問 教育支援アドバイザーが、学校訪問し、特別支援教育について指導、助言を行う。 年間６校程度
南相馬市教育支援委員会	○教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の教育的支援及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	◇第１回委員会　　８月１９日(水) 在学児童生徒の諮問 ◇第２回委員会　１０月２８日(水) 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ◇第３回委員会　１１月２５日(水) 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員会	○公立学校の学習指導の改善及び学校教育の振興に必要な諸問題の研究を推進する。	◇公立学校に関する各種の研究調査に関すること。 ◇市教育委員会の学校教育努力目標原案に関すること。 ◇公立学校の教育活動についての指導助言に関すること。 ◇市内公開モデル授業の実践に関すること。 ◇その他の指導に関すること。

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
教育先進地視察研修及び学力向上推進視察研修	○教育先進地（横手市）における研修や学習指導研究の先進地をモデルとして、教育課題への対応及び学力向上に向けた指導のあり方についての研修を深め、資質の向上を図るとともに各学校の教育活動の充実に資する。	◇教育先進地（横手市）への視察研修並びに教育先進地をモデルとした研修会の実施 ◇各校の計画による学力向上推進視察研修
学校教育支援センター	○教育に関する相談、不登校児童生徒等の支援、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。 ○不登校状態にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	◇登室を通して児童生徒の不登校状態の改善に向けて助言や支援を行う。 やすらぎ広場（原町区） さくら教室（鹿島区） 紅梅教室（小高区） ◇心のケア相談会 不登校や学校生活の悩みや心配事に対し、専門家（臨床心理士）による相談を行う。 年１０回（第３木曜日）開催 ◇来所相談・電話相談 学校・家庭生活などの悩みや心配事について助言を行う。 小中学生及び保護者対象 ◇巡回相談 不登校状態にある児童生徒についての改善に向けて指導・助言を行う。 ◇教育指導員による学校訪問 ◇教育関係職員の研修に関すること ◇教育に関する調査・研究に関すること ◇その他目的を達成するために必要と認められる事業 ・場　所　学校教育支援センター ・開設日　月～金曜日 ８時３０分から１６時００分まで
学習塾と連携した学力強化推進事業	○学習塾講師による中学校２・３年生希望者を対象にした数学チャレンジ学習講座を実施し、他校生徒と切磋琢磨する楽しさや学習に対する意識を高める。 ○市内全ての中学校において３年生を対象に学習塾講師による進学講演会を実施し、効率的な学習の仕方や意欲を高める。 ○学習塾講師による保護者対象の学習や進学に対する動画を作成し、保護者の学習に対する意識を高める。 ○学習塾講師による中学生希望者を対象にした英語力アップ学習講座を実施し、英検取得に向けた対策や英語の表現力の向上を図る。	◇数学チャレンジ学習講座 ・期　間　８月１９日～２０日 １月５日～６日 ・対　象　中学２・３年生希望者 ・内　容　塾講師による対面方式 ◇中学３年生の進学講演会 ・期　間　９月１日～７日 ・対　象　市内全ての中学３年生 ・内　容　塾講師による対面方式 ◇保護者対象セミナー ・内　容　塾講師による保護者対象の動画作成
高等教育機関連携事業	○高等教育機関と連携した専門的かつ先進的な授業を子どもたちに体験させ、キャリア形成と学習意欲の向上を図る。	◇高等教育機関連携 新潟大学及び福島大学の教員による授業実施 新潟大学の学生との交流活動の実施
中学生海外研修事業	○中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	◇海外研修の実施 ・研修先　①オーストラリア ②シンガポール ・対　象　①中学２年生　２０名 ②中学２年生　２５名 ・実施日　①８月６日～１２日 ②３月２４日～２８日

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
外国語教育推進事業	○児童生徒の国際理解教育の推進を図るとともに、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うため、習熟度に応じた継続的な英語教育を展開する。	◇外国語教育 ・東京ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｹﾞｰﾄｳｪｲ研修の実施 ：市内中学校の実施希望校３年生 ・フォニックス学習の実施 ：市内小学校、おだか認定こども園 ・多読用英語図書の整備 ：市内小学校 ・えいご発音あそびの実施 ：市内公立幼稚園、保育園、こども園 ◇外部検定受験の支援 ・英検受検支援：市内中学生の希望者 ・英検Jr受験支援:小高小５～６年生 ◇教員研修の実施 ・ﾌﾞﾘﾃｨｯｼｭ・ﾋﾙｽﾞ教員研修 ：小学校教員３名・指導主事１名 ◇外国語指導助手（ALT）の配置 ・市内小中学校へ１２名配置 ◇外国人との交流 ・ALT DAY：市内中学校で実施 ◇外国語教育推進アドバイザー事業 ・アドバイザー派遣　１名
国際バカロレア教育推進事業	○グローバル化や技術革新が急速に進展する社会の中で、本市の子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育成するとともに、教育の質の向上を図るため、国際バカロレア教育の導入を推進する。	◇PYP(小学校)導入に向けた取組の実施 ・ワークショップ参加、先進地視察 ・カリキュラム作成・試行授業実施 ・原三小多目的室整備 ◇MYP(中学校)導入に向けた取組の実施 ・ワークショップ参加、先進地視察 ・勉強会等の実施
学力向上教員配置事業	○指導環境を充実させることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上を図るため、市で独自採用した学力向上教員を配置する。	◇小学校への教員配置 ・科目　算数 ・採用予定人数　４名 ◇中学校への教員配置 ・科目　数学 ・採用予定人数　１名
プログラミング教育推進事業	○児童生徒の学習意欲の向上と論理的思考力の育成を図るため、ロボットやプログラミング学習ソフトを活用したプログラミング授業及び高等教育機関等と連携したプログラミング出前講座を実施する。 ○コンピュータやネットネットワークの仕組みと生成ＡＩ等、児童生徒の発達段階に応じた教育の在り方を、プログラミング教育検討会において検討する。	◇プログラミング教育の実施 ・全小学校でのあるくメカトロウィーゴを活用した授業実施 ・中学校でのライフイズテックレッスンを活用した授業実施 ・中学校での高等教育機関による出前講座の実施 ・プログラミング教育検討会における使用教材の選定、事業案の検討
公立学校適正化推進事業	○教育機会の均衡と教育水準の維持向上を図るため、小中学校の規模や配置の適正化を推進するとともに、小中学校の適正化に合わせ、小中一貫校や小規模特認校の制度研究を含め、特色と魅力ある学校づくりを目指す。	◇各地区における適正化の取組み ・小高区 地区懇談会 義務教育学校設立検討準備協議会 ・鹿島区 保護者懇談会 学校適正化検討協議会 学校間交流事業 ・原町区（大甕太田地区） 地区懇談会 学校適正化検討協議会 学校統合準備協議会

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		学校間交流事業

（2）令和７年度事業実施状況

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
学校訪問	○学校教育の充実向上を図る。 ○学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察、聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○各学校（園）の教育課程の実施状況を図る。	◇学校訪問 太田小　小高小・おだか認定こども園　高平小・高平幼稚園・石神二小　原町三中　石神中 ◇教育課程実施状況調査訪問 （全学級訪問・管理訪問） 原町三小　上真野小　原町一小 鹿島中　原町二中
学校不適応対策事業	○不登校又は不登校傾向にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	◇適応指導教室 登室者２３名 （学校復帰６名） （中学３年の進路　県立高校２名　私立通信制高校１名） ◇臨床心理士による心のケア相談会 年　間　　１０回開催 相談件数　延べ２６件 ◇来所相談・電話相談 来所相談　５９名 電話相談　６９名 訪問相談　１１名
スクールカウンセラー（就学指導アドバイザー）配置事業	○児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	◇学校巡回相談 就学指導アドバイザーが、８０日間で小中学校延べ６４校、保育園・幼稚園１５園を訪問し、就学指導等について指導・助言を行った。 ◇定期学校訪問 就学指導アドバイザーが、６校（小学校４校、中学校２校）を訪問し、特別支援教育について指導・助言を行った。
南相馬市教育支援委員会	○教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の教育的支援及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	◇　８月２１日（水）第１回委員会 在学児童生徒の諮問 ◇１０月３０日（水）第２回委員会 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ◇１１月２７日（水）第３回委員会 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員会	○基礎・基本の定着と活用力の向上を図るための実践的で効果のあがる学習指導改善の方策を構築し、市内小中学校で共通理解を図りながら授業実践を進めていく。	◇５月７日（水）第一回指導委員会 委員会の目的・日程・内容等確認 ◇１２月２４日（木）第二回指導委員会 校内の授業改善の状況、次年度の授業改善プラン（案）についての協議
教育先進地視察研修及び学力向上推進視察研修	○教育先進地（横手市）における研修や学習指導研究の先進地をモデルとして、教育課題への対応及び学力向上に向けた指導のあり方についての研修を深め、資質の向上を図るとともに各学校の教育活動の充実に資する。	◇教育先進地（横手市）視察研修 ・視察研修　９名参加 ◇各校の計画による学力向上推進視察研修 ・視察研修　４４名参加 ・オンライン研修　１名参加

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
学校教育支援センター	○教育に関する相談、学校適応指導、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	◇就学指導担当者等研修会　２回 ◇授業づくり研修会　１回 ◇学習支援員・介助員研修会　２回 ◇特別支援教育研修会　１回 ◇放射線教育研修会　１回 ◇小学校外国語教育研修会　２回 ◇教頭研修会　１回 ◇養護教諭研修会　１回 ◇生徒指導研修会　１回 ◇常勤講師研修会　３回 ◇小学校理科観察・実験講座　１回 ◇普通Ⅰ救命講習会　５回 ◇学校教育支援センター運営委員会　２回 ◇広報「はぐくみ」の発行　年３回 （６月、１１月、２月に発行） ◇教育相談、適応指導教室については、学校不適応対策事業で報告
学習塾と連携した学力強化推進事業	○学習塾講師による中学校２・３年生希望者を対象にした数学チャレンジ学習講座を実施し、他校生徒と切磋琢磨する楽しさや学習に対する意識を高める。 ○市内全ての中学校において３年生を対象に学習塾講師による進学講演会を実施し、効率的な学習の仕方や意欲を高める。 ○学習塾講師による保護者対象の学習や進学に対する講演会を行い、保護者の学習に対する意識を高める。	◇数学チャレンジ学習講座 ・期　間　８月２０日～２１日 １月６日～７日 ・対　象　中学２・３年生希望者 ・内　容　塾講師による対面方式 ◇英語力アップ学習講座 ・期　間　７月２８日～２９日 １０月１１日～１２日 ・対　象　中学１～３年生 ・内　容　塾講師による対面方式 ◇中学３年生の進学講演会 ・期　間　９月１日～１０日 ・対　象　市内全ての中学３年生 ・内　容　塾講師による対面方式 ◇保護者対象セミナー ・期　間　８月２日 ・対　象　市内保護者 ・内　容　塾講師による保護者対象のセミナー
公立学校適正化推進事業	○教育機会の均衡と教育水準の維持向上を図るため、小中学校の規模や配置の適正化を推進するとともに、小中学校の適正化に合わせ、小中一貫校や小規模特認校の制度研究を含め、特色と魅力ある学校づくりを目指す。	◇各地区における懇談会等の開催 ・小高区 義務教育学校設立検討準備協議会　６回 保護者懇談会　２回 ・鹿島区（上真野地区） あり方検討協議会　８回 保護者懇談会　１回 地区懇談会　１回 ・原町区（大甕・太田地区） ・太田小 あり方検討協議会　４回 保護者懇談会　１回 地区懇談会　１回 ・大甕小・太田小・原三中 学校適正化検討協議会　６回 保護者懇談会　１回
中学生海外研修事業	○中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、	◇海外研の実施 ・研修先　①オーストラリア ②シンガポール ・対　象　①中学２年生　１１名 ②中学２年生　９名 ・実施日　①７月３１日～８月６日

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
	思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	②３月２４日～２８日
外国語教育推進事業	○児童生徒の国際理解教育の推進を図るとともに、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うため、習熟度に応じた継続的な英語教育を展開する。	◇外国語教育 ・フォニックス学習の実施 ：市内小学校、おだか認定こども園 ・多読用英語図書の整備 ：市内小学校 ・東京ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｹﾞｰﾄｳｪｲ研修の実施 ：原一中３年生　８７名 ・えいご発音あそびの実施 ：市内公立幼稚園、保育園、こども園 ◇外部検定受験の支援 ・英検受検支援：市内中学生の希望者 受験者数７０３名 ・英検Jr受験支援：小高小５～６年生 受験者数２５名 ◇教員研修の実施 ・ﾌﾞﾘﾃｨｯｼｭ・ﾋﾙｽﾞ教員研修 ：小学校教員３名、指導主事１名 ◇外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置 ・市内小中学校へ１２名配置 ◇外国人との交流 ・ALT DAY：市内中学校で実施 ◇外国語教育推進アドバイザー事業 ・アドバイザー派遣　１名
国際バカロレア教育推進事業	○グローバル化や技術革新が急速に進展する社会の中で、本市の子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育成するとともに、教育の質の向上を図るため、国際バカロレア教育の導入を推進する。	◇PYP(小学校)導入に向けた取組の実施 ・校内 IB ワークショップ(原三小教職員 29 名参加) ・候補校申請、認定 ・カリキュラム作成・試行授業実施 ・導入校視察(原三小教員延べ 13 名、市教委延べ 14 名参加) ◇MYP(中学校)導入に向けた研究活動 ・導入校視察(市教委 4 名) ・IB ワークショップ参加(市教委 2 名) ・研究報告書作成
学力向上教員配置事業	○指導環境を充実させることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上を図るため、市で独自に採用した学力向上教員を配置する。	◇小学校への教員配置 ・科目　算数 ・配置人数４名（原一小、原三小、石二小、鹿島小） ◇中学校への教員配置 ・科目　数学 ・配置人数　１名（石神中）
プログラミング教育推進事業	○児童生徒の学習意欲の向上と論理的思考力の育成を図るため、ロボットを活用したプログラミング授業及び高等教育機関等と連携したプログラミング出前講座を実施する。 ○児童生徒の発達段階に応じた体系的なプログラミング教育を推進するため、プログラミング教育推進検討委員会を設置し、学習指導案の策定等を行う。	◇プログラミング教育の実施 ・あるくメカトロウィーゴを活用した授業の実施　１６６回 ・全中学校での高等教育機関による出前講座の実施　６校 ・プログラミング教育検討会の開催　３回

（3）南相馬市の特別支援教育の現状

特別支援学級に在籍する児童生徒数　（令和8年5月1日現在）

学　校	小　学　校							中　学　校				合計
学　年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
児童生徒数	１４	２６	３２	３８	３４	２９	１７３	１９	２３	6	４８	２２１

障がい別特別支援学級及び児童生徒数　（令和8年5月1日現在）

区分	設置校数	学級数	児童生徒数	設置校名（人数）
知的障がい学級	１３	２１	１１５	原一小(15)・原二小(17)・原三小(11) 高平小(5)　・大甕小(2)　・石一小(3) 石二小(17)・鹿島小(12)・小高小(6) 原一中(10)・原二中(6)　・鹿島中(6)
自閉症・情緒 障がい学級	１３	２１	１０１	原一小(22)・原二小(10)・原三小(14) 高平小(5)　・大甕小(3)　・石二小(11) 鹿島小(11)・小高小(4) 原一中(4)　・原二中(5)　・石神中(7) 鹿島中(3)　・小高中(2)
肢体不自由学級	1	1	2	鹿島小(2)
病弱・身体虚弱学級	1	1	2	原二小(2)
難　聴　学　級	1	1	1	原二小(1)
計	－	４５	２２１	

障がい別通級指導実施校及び児童生徒数　（令和8年5月1日現在）

区　　分	実施校数	児童・生徒数			実施校名 （指導教員数）
		自校	市内他校	市外	
言語	1	３７	３２	2	原町一小(3)
情緒	2	２１	１５	0	原町三小(2)
		5	１４	0	石神中(1)
ＡＤＨＤ	2	３２	6	0	石神二小(2)
		３９	5	0	鹿島小(2)

4　就学奨励

（1）要保護及び準要保護児童生徒就学援助

経済的な理由で就学困難な児童生徒に対し、就学援助の目的をもって学用品等を支給する。

（令和8年度当初予算）（単位：円、人）

区分／名称	小学校			中学校		
	1人年額	人員	給付額	1人年額	人員	給付額
通学用品費	2,270	214	485,780	2,270	89	202,030
学用品費（その他）	11,630	250	2,907,500	22,730	139	3,159,470
修学旅行費	22,690	1	22,690	60,910	1	60,910
	15,000	2	30,000	75,000	4	300,000
新入学学用品費（入学前支給を含む）	64,300	30	1,929,000	81,000	48	3,888,000
通学費	31,723	3	95,169	82,544	1	82,544
給食費	69879.6	6	419,277	78,057.6	5	390,288
				75,801.6	1	75,801
医療費	－	－	－	－	－	－
校外活動費(宿泊なし)	768	204	156,672	947.1	91	86,186
校外活動費(宿泊あり)	1,328.4	3	3,985	6,210	1	6,210
体育実技用具費	－	－	－	7,650	25	191,250
クラブ活動費	717.6	5	3,588	7,537.5	42	316,575
児童会・生徒会費	2,232	125	279,000	1,942.5	139	270,007
PTA会費	3,001.5	250	750,375	2,939.4	139	408,576
卒業ｱﾙﾊﾞﾑ代	11,000	44	484,000	10,000	48	480,000
ｵﾝﾗｲﾝ学習通信費	8,250	100	825,000	6,150	42	258,300
計（実人員）		250	8,392,036		139	10,176,147

※給付額は小数点以下切り捨て

（2）特別支援教育修学奨励

特別支援学級への就学の特殊事情にかんがみ、その就学にかかる保護者の経済的負担を軽減する。

（令和8年度当初予算）（単位：円、人）

区分／名称	小学校			中学校		
	1人年額	人員	給付額	1人年額	人員	給付額
学用品費	5,820	107	622,740	11,370	34	386,580
修学旅行費	15,000	18	270,000	75,000	4	300,000
新入学学用品費	28,530	19	542,070	31,500	15	472,500
通学費	31,723	2	63,446	82,544	2	165,088

区分 / 名称	小学校			中学校		
	１人年額	人員	給付額	１人年額	人員	給付額
給食費	－	－	－	38,613.6	30	1,158,408
				37,497.6	4	149,990
校外活動費（宿泊なし）	360	89	32,040	485.1	19	9,216
校外活動費（宿泊あり）	－	－	－	－	－	－
ｵﾝﾗｲﾝ学習通信費	4,200	37	155,400	3,500	7	24,500
計（実人員）		107	1,685,696		34	2,666,282

※給付額は小数点以下切り捨て

（３）遠距離通学費補助

通常の経路による通学距離が小学校にあっては片道４㎞以上、中学校にあっては片道６㎞以上の児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒等の保護者に対し、路線バス定期乗車券購入金額の全額又は月額800円を10カ月間（長期休業期間を除く）補助し、保護者負担の軽減を図る。

（令和8年度当初予算）

区分	小学校			中学校		
	１人年額(平均)	人員	給付額	１人年額(平均)	人員	給付額
バス利用者	31,723 円	13 人	412,399 円	82,544 円	4 人	330,176 円
その他の者	8,000 円	182 人	1,456,000 円	8,000 円	23 人	184,000 円
計		195 人	1,868,399 円		27 人	514,176 円

５　学校保健・安全

（１）学校医等の設置状況　　（令和8年5月末日現在）

区分	学校名	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医
小学校	原町第一小学校	小野田　昌敏	髙野　良真	青柳　優
	原町第二小学校	平田　慶肇	小林　貴樹	若盛　和雄
	原町第三小学校	樋口　利行	小林　貴樹	若盛　和雄
	高平小学校	小泉　祐功	髙野　良真	青柳　優
	大甕小学校	石原　開	小林　貴樹	若盛　和雄
	太田小学校	石原　開	小林　貴樹	若盛　和雄
	石神第一小学校	新道　譲二	髙野　良真	若盛　和雄
	石神第二小学校	新道　譲二	小林　貴樹	若盛　和雄
	鹿島小学校	田村　融彦	佐柄　英人	若盛　和雄
	上真野小学校	田村　融彦	佐柄　英人	若盛　和雄
	小高小学校	橋本　明彦	佐柄　英人	若盛　和雄
中学校	原町第一中学校	田部　周市	佐柄　英人	若盛　和雄
	原町第二中学校	猪又　とし子	髙野　良真	若盛　和雄
	原町第三中学校	石原　開	小林　貴樹	若盛　和雄
	石神中学校	駒場　正雄	佐柄　英人	若盛　和雄
	鹿島中学校	渡邉　善二郎	佐柄　英人	若盛　和雄
	小高中学校	橋本　明彦	佐柄　英人	若盛　和雄

区分	学校名	歯科医	薬剤師	養護教諭
小学校	原町第一小学校	板倉　良暢	熊川　匡崇	穂積　梨映子
	原町第二小学校	小林　礼樹	人見　順	三瓶　幸
	原町第三小学校	森岡奈保子	人見　順	佐藤七海
	高平小学校	松本　断	八牧将彦	廹田　菊女
	大甕小学校	熊耳隆洋	堀内由子	遠藤　東沙
	太田小学校	河田祥一郎	堀内由子	佐藤　榛華
	石神第一小学校	荒川二朗	八牧将彦	鈴木　洋美
	石神第二小学校	山田隆信	桃井秀世	坂下　絵美
	鹿島小学校	吉田　豊	佐藤伸二	舟山　芽唯
	上真野小学校	吉田　豊	伊藤剛伸	鎌田　真生
	小高小学校	今村隆一	望月雄太	今野　愛紗美
中学校	原町第一中学校	河田祥一郎	鈴木多佳子	渡辺愛里
	原町第二中学校	竹林　実	屋代万起子	加藤　奈保
	原町第三中学校	鈴木庸介	屋代万起子	杉　咲頼
	石神中学校	草野保之	桃井秀世	長谷川之子
	鹿島中学校	相良一也	伊藤剛伸	佐藤　泰子
	小高中学校	今村隆一	望月雄太	渡邊舞香

（２）身長・体重の平均値（令和７年度）

＊全国・県平均は、令和６年度全国学校保健統計より抜粋

（小学校）　　（単位：身長(cm)、体重(kg)）

区　　分		男子		女子	
		身長	体重	身長	体重
6歳	全国平均	116.7	21.4	115.8	21.0
	福島県平均	117.0	21.9	116.2	21.6
	南相馬市平均	116.8	21.8	116.6	21.7
7歳	全国平均	122.6	24.2	121.8	23.7
	福島県平均	122.9	24.7	122.2	24.4
	南相馬市平均	123.0	24.8	122.2	24.8
8歳	全国平均	128.5	27.6	127.7	26.9
	福島県平均	128.5	28.4	128.6	28.0
	南相馬市平均	128.0	28.1	128.2	27.8
9歳	全国平均	134.0	31.2	134.1	30.5
	福島県平均	134.5	32.4	134.3	31.3
	南相馬市平均	135.0	33.3	134.9	32.1
10歳	全国平均	139.7	35.2	141.1	35.0
	福島県平均	140.1	36.3	141.4	36.0
	南相馬市平均	140.0	36.9	141.6	35.7
11歳	全国平均	146.0	39.6	147.8	40.1
	福島県平均	146.7	41.9	148.1	41.5
	南相馬市平均	147.4	42.0	147.8	41.7

（中学校）　　（単位：身長(cm)、体重(kg)）

区分		男子		女子	
		身長	体重	身長	体重
12歳	全国平均	154.0	45.3	152.3	44.4
	福島県平均	154.3	45.8	152.5	45.9
	南相馬市平均	153.8	46.2	152.3	45.7
13歳	全国平均	161.1	50.5	155.0	47.5
	福島県平均	161.4	51.5	155.4	48.7
	南相馬市平均	161.6	50.4	154.8	48.5
14歳	全国平均	166.1	55.0	156.4	49.6
	福島県平均	166.1	56.5	156.6	50.5
	南相馬市平均	166.1	56.4	156.4	52.0

（３）小児生活習慣病健康診断結果

（令和７年度）

・小学４年生

実施人数　　（単位：人）

男　子	女　子	合　計
１５５	１７６	３３１

身体測定	血圧測定	生化学検査
３３１	３３１	３３１

検査所見別集計　　（単位：人、％）

性　別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖 尿 病		高コレステロール	
男　子	5	5.2	11	7.1	9	5.8	0	0.0	0	0.0	33	21.3
女　子	3	1.7	13	7.4	17	9.7	0	0.0	0	0.0	31	17.6
合　計	11	3.3	24	7.3	26	7.9	0	0.0	0	0.0	64	19.3

管理区分集計　　（単位：人、％）

性 別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正　常	
男　子	9	5.8	12	7.7	29	18.7	57	36.8	48	31.0
女　子	5	2.8	14	8.0	35	19.9	73	41.5	49	27.8
合　計	14	4.2	26	7.9	64	19.3	130	39.3	97	29.3

項目別平均値

性　別	身　長 (cm)	体　重 (kg)	肥　満　度 (%)	血　圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男　子	137.4	34.9	5.2	101.6 / 57.9	171.7
女　子	137.6	33.7	3.5	102.2 / 59.5	171.9

・中学１年生

実施人数　（単位：人）

男　子	女　子	合　計
１２５	１２４	２４９

身体測定	血圧測定	生化学検査
２４９	２４９	２４９

検査所見別集計　（単位：人、％）

性　別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖尿病		高コレステロール	
男　子	1	0.8	8	6.4	10	8.0	0	0.0	0	0.0	11	8.8
女　子	3	2.4	5	4.0	5	4.0	0	0.0	0	0.0	20	16.1
合　計	4	1.6	13	5.2	15	6.0	0	0.0	0	0.0	31	12.4

管理区分集計　（単位：人、％）

性　別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正　常	
男　子	1	0.8	9	7.2	15	12.0	63	50.4	37	29.6
女　子	3	2.4	8	6.5	20	16.1	59	47.6	34	27.4
合　計	4	1.6	17	6.8	35	14.1	122	49.0	71	28.5

項目別平均値

性　別	身　長 (cm)	体　重 (kg)	肥　満　度 (%)	血　圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男　子	154.2	46.4	3.9	107.6 / 57.9	159.2
女　子	152.3	45.2	0.0	104.6 / 60.1	171.1

（4）日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況　（令和8年度）

学校別／項目	小学校	中学校	合計
加入数	2，078人	979人	3，057人

加入対象学校と共済掛金　（令和8年度）

項目／種別	一般児童・生徒等	要保護児童生徒等
義務教育諸学校	935円 （内保護者負担460円）	55円 （内保護者負担0円）

６　学校給食

令和８年度の状況

小学校

区分 / 学校名	形態	回数	児童数	一人当たりの学校給食費(年)	回数	無徴収月
原町第一小学校	完全給食	１７７	３３２	６７，２６０	１０	４・３
原町第二小学校	完全給食	１７７	２０１	６７，２６０	１０	４・３
原町第三小学校	完全給食	１７７	４１４	６７，２６０	１０	４・３
高平小学校	完全給食	１７７	１０７	６７，２６０	１０	４・３
大甕小学校	完全給食	１７７	１１０	６７，２６０	１０	４・３
太田小学校	完全給食	１７７	３６	６７，２６０	１０	４・３
石神第一小学校	完全給食	１７７	７２	６７，２６０	１０	４・３
石神第二小学校	完全給食	１７７	３５７	６７，２６０	１０	４・３
鹿島小学校	完全給食	１７７	３３７	６７，２６０	１０	４・３
上真野小学校	完全給食	１７７	６２	６７，２６０	１０	４・３
小高小学校	完全給食	１７７	９８	６７，２６０	１０	４・３

中学校

区分 / 学校名	形態	回数	生徒数	一人当たりの学校給食費(年)	回数	無徴収月
原町第一中学校	完全給食	3年168 1.2年173	３１１	3年　70,560 1.2年　72,660	１０	４・３
原町第二中学校	完全給食	3年168 1.2年173	１６６	3年　70,560 1.2年　72,660	１０	４・３
原町第三中学校	完全給食	3年168 1.2年173	６２	3年　70,560 1.2年　72,660	１０	４・３
石神中学校	完全給食	3年168 1.2年173	１６２	3年　70,560 1.2年　72,660	１０	４・３
鹿島中学校	完全給食	3年168 1.2年173	２２４	3年　70,560 1.2年　72,660	１０	４・３
小高中学校	完全給食	3年168 1.2年173	２９	3年　70,560 1.2年　72,660	１０	４・３

※学校給食費は学校給食費無償化事業補助金により保護者負担なし。

7　学校施設一覧

小学校

学　校　名	校地面積（㎡）	市有地（㎡）	借用地（㎡）	校舎・屋体・プール等				
				校舎等（㎡）	屋体（㎡）	計（㎡）	水泳プール	給食室（㎡）
原　一　小	22,307	22,307		6,116	1,272	7,388	25m×13m 6コース	123
原　二　小	25,280	25,280		5,003	1,190	6,193	25m×13m 6コース	157
原　三　小	25,322	892	24,430	4,709	1,263	5,972	25m×10.7m 6コース	90
高　平　小	13,268	13,268		2,983	978	3,961	25m×11m 6コース	101
大　甕　小	19,153	19,153		2,804	1,158	3,962	25m×13m 6コース	101
太　田　小	15,730	15,730		2,593	981	3,574	25m×13m 6コース	129
石　一　小	19,115	19,115		2,899	1,125	4,024	25m×10.7m 6コース	113
石　二　小	18,965	18,965		4,343	1,100	5,443	25m×13m 6コース	113
鹿　島　小	20,718	20,718		3,806	1,258	5,064	25m×13m 6コース	－
上　真　野　小	12,419	12,419		2,372	1,027	3,399	25m×13m 6コース	－
小　高　小	22,079	22,079		5,296	1,373	6,669	25m×17 6コース	168
計	214,356	189,926	24,430	42,924	12,725	55,649		1,095

（令和8年4月1日現在）

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	生活	音楽	図工（技術）	美術	家庭	視聴覚	図書	特別活動	教室コンピュータ	教育相談	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
17	2	2	2	1	0	2	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	4	1	0
14	2	1	2	1	0	2	0	2	3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
19	1	0	1	1	0	1	0	2	2	0	0	1	2	1	1	1	0	1	0	0
8	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1
8	1	1	1	1	0	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	0	0	2	1	0
5	1	0	1	1	0	1	0	1	3	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0
7	1	1	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	0	2	0	1
17	1	1	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0
16	1	0	1	1	0	1	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
6	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	2	1	1	0	1	1	0	0	1	1
8	1	1	1	1	0	1	0	1	5	0	1	1	1	0	1	1	0	6	1	0
125	13	9	13	11	0	13	0	16	20	7	10	11	12	7	11	10	1	20	7	5

（小数点以下、四捨五入）

中学校

学　校　名	校地面積（㎡）	市有地（㎡）	借用地（㎡）	校舎・屋体・プール等				
				校舎等（㎡）	屋体（㎡）	計（㎡）	水泳プール	給食室（㎡）
原　一　中	31,815	31,815		6,326	1,777	8,103	25m×15m 7コース	107
原　二　中	29,522	29,522		6,217	1,708	7,925	25m×12.9m 6コース	192
原　三　中	34,606	34,606		3,676	1,708	5,384	25m×13m 6コース	127
石　神　中	29,729	29,729		4,135	1,762	5,897	25m×15m 7コース	116
鹿　島　中	51,812	51,812		5,261	1,405	6,666	50m×17m 8コース	－
小　高　中	38,028	38,028		6,045	1,350	7,395	50m×17.5m 7コース	158
計	215,512	215,512		31,660	9,710	41,370		700

（令和8年4月1日現在）

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	音楽	図工（技術）	美術	家庭	外国語	図書	特別活動	教室コンピュータ	教育相談	指導進路資料	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
13	2	2	2	1	2	0	2	7	1	3	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
8	2	2	2	1	2	0	1	8	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	5
3	1	1	1	1	2	1	1	5	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	3
8	2	1	2	1	2	0	1	5	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1
10	2	2	2	2	2	0	1	5	0	2	0	1	1	1	1	1	0	1	2	0
4	2	2	1	1	2	0	1	3	1	1	0	1	1	1	1	1	0	6	1	2
46	11	10	10	7	12	1	7	33	4	9	0	6	6	6	6	6	0	10	5	12

（小数点以下、四捨五入）

8　学校施設関連事業計画・実施状況

（1）令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
小学校施設営繕事業	○小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行う。	◇鹿島小体育館屋根サッシ防水改修工事 ◇鹿島小鉄棒設置工事 ◇高平小高圧ケーブル更新 ◇原一小電話設備更新 ◇原三小多目的ホール空調機器設置 ◇太田小・小高小プールろ過機ろ材交換整備 ◇小高小電気時計設備更新 ◇石一小プールろ過機自動化改修
小学校屋内運動場空調設備整備事業	○避難所として活用される学校体育館の機能を強化し、対災害性の向上及び教育環境の向上を図るため空調設備整備の設計業務を行う。	◇原二小屋内運動場空調設置工事設計 ◇原三小屋内運動場空調設置工事設計
中学校施設営繕事業	○中学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行う。	◇原二中体育館消防設備更新 ◇原一中電気時計更新 ◇原二中電話設備更新 ◇小高中プールろ過機ろ材交換整備 ◇鹿島中体育館北側軒天修繕 ◇原三中・石神中プール滅菌機更新
中学校屋内運動場空調設備整備事業	○避難所として活用される学校体育館の機能を強化し、対災害性の向上及び教育環境の向上を図るため空調設備整備の設計業務を行う。	◇鹿島中屋内運動場空調設備設置工事設計(繰越) ◇原二中屋内運動場空調設備設置工事設計 ◇小高中屋内運動場空調設備設置工事設計
（仮称）原町学校給食センター整備事業（継続費）	○小高区･原町区の小中学校における給食調理施設（自校方式）を集約し給食センター化するため、（仮称）原町学校給食センターの基本設計・実施設計、測量設計業務を行う。	◇（仮称）原町学校給食センター建設基本設計及び実施設計 ◇（仮称）原町学校給食センター測量設計

（2）令和７年度事業実施状況

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
小学校施設営繕事業	○小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため､教育施設の維持修繕を行った。	◇石一小屋内運動場屋根防水改修工事 ◇小高小体育館等改修工事
中学校屋内運動場空調設備整備事業	○避難所として活用される学校体育館の機能を強化し、対災害性の向上及び教育環境の向上を図るため空調設備整備の設計業務を行う。	◇原二中屋内運動場空調設備設置工事設計 ◇小高中屋内運動場空調設備設置工事設計
原町第二中学校テニスコート整備事業(繰越工事)	○テニスコート､駐車場等を整備するための工事を行った。	◇原町第二中学校テニスコート整備工事
（仮称）原町学校給食センター整備事業（継続費）	○小高区･原町区の小中学校における給食調理施設（自校方式）を集約し給食センター化するため、（仮称）原町学校給食センターの基本設計・実施設計、測量設計業務を行う。	◇（仮称）原町学校給食センター建設基本設計及び実施設計 ◇（仮称）原町学校給食センター測量設計

９　支援学校・高等学校・専修学校

県立支援学校

学　　校　　名	所　　在　　地	電　　話	校 長 氏 名
相馬支援学校	南相馬市鹿島区寺内字鷺内79	67-1515	小野　美花

県立高等学校

学　　校　　名	所　　在　　地	電　　話	校 長 氏 名
原　町　高　等　学　校	南相馬市原町区西町三丁目380	23-6196	小林　寿宣
相 馬 農 業 高 等 学 校	南相馬市原町区三島町一丁目65	23-5175	竹田　貴充
小高産業技術高等学校	南相馬市小高区吉名字玉ノ木平78	44-3141	永山　広克

県立専修学校

学　　校　　名	所　　在　　地	電　　話	校 長 氏 名
福島県立テクノアカデミー浜	南相馬市原町区萱浜巣掛場45-112	26-1555	山下　徹

（令和８年５月１日現在）

学　　科	学級数	生徒数	教職員数
小学部・中学部・高等部	27	112	64

学　　科	学級数	生徒数	教職員数
普　　通　　科	12	402	59
生産環境科・環境緑地科・食品科学科	9	237	62
機械科・電気科・産業革新科・流通ビジネス科	12	299	68

学　　科		学級数	生徒数	教職員数
職業能力開発短期大学校	ロボット環境・エネルギーシステム学科	2	7	33
職業能力開発校	機 械 技 術 科	2	13	
	自 動 車 整 備 科	2	19	
	建　　築　　科	2	8	

Ⅴ　幼児教育

１　幼稚園・保育園・こども園一覧

（１）幼稚園

市立幼稚園

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
高　平　幼　稚　園	原町区下北高平字古舘 278	24－0687	中　川　三起子
大　甕　幼　稚　園	原町区大甕字十日迫 26	22－7583	中　川　三起子
原町区　小計			
鹿　島　幼　稚　園	鹿島区鹿島字北千倉 24-2	46－4655	高　田　律　子
鹿島区　小計			
合　計			

私立幼稚園

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
青　葉　幼　稚　園	原町区二見町三丁目68-4	23-3306	安　川　　徹
合　計			

（令和8年5月1日現在）

定員	組数	教職員		３歳児	４歳児	５歳児	計
		専任	他				
105	2	5	3	6	7	15	28
140	3	5	3	9	12	11	32
245	5	10	6	15	19	26	60
160	3	6	2	14	18	13	45
160	3	6	2	14	18	13	45
405	8	16	8	29	37	39	105

（令和8年5月1日現在）

定員	組数	教職員		満３歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
		専任	他					
380	7	13	0	1	25	28	39	93
380	7	13	0	1	25	28	39	93

（2）保育園

市立保育園

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
かしま保育園	鹿島区西町三丁目 90	46-1717	齋　藤　由美子
かみまの保育園	鹿島区浮田字一丁田 67	47-2307	齋　藤　由美子
合　計			

私立保育園

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
北町保育所	原町区北町 373-124	22-8432	近　藤　啓　一
よつば保育園	原町区西町二丁目 34-1	24-6478	近　藤　真紀子
よつば乳児保育園西町園	原町区西町二丁目 32-1	24-4285	近　藤　智　之
みなみそうまペンギン国際幼児園	原町区大木戸字南東方 38-12	26-4020	藤　田　友　美
			合　計

（令和8年5月1日現在）

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
108	21	9	10	19	18	19	24	25	115
60	11	5		4	11	12	7	6	40
168	32	14	10	23	29	31	31	31	155

（令和8年5月1日現在）

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
60	14	5	4	13	10	14	14	15	70
150	22	8	18	16	6	32	42	42	156
50	13	4	4	17	36				57
50	13	5	9	10	9	11	10	10	59
310	62	22	35	56	61	57	66	67	342

（3）認定こども園

市立認定こども園

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
おだか認定こども園	小高区関場二丁目 21	26-6043	新田　奈々恵

私立認定こども園

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
原町聖愛こども園	原町区二見町一丁目 80-1	22-5090	寺　田　進
はらまち認定こども園聖桜	原町区高見町二丁目 22-6	26-6067	石　垣　慶　子
原町みなみこども園	原町区国見町一丁目 50	23-3650	中　澤　翔　平
さ ゆ り 幼 保 園	原町区大木戸字八方内 133	23-3439	鎌　田　文　代
			合　計

（4）小規模保育事業所

私立小規模保育事業所

園　　名	所　在　地	電　話	園長氏名
な か よ し 園	原町区二見町三丁目 67-3	23-3306	安　川　容　子
原町にこにこ保育園	原町区錦町一丁目 125	26-6836	高　田　真由美
ユニソンワールド保育園 ヨ ー ク タ ウ ン 原 町	原町区旭町三丁目 58－1	26-9726	鹿　頭　由　江
聖 愛 ち い ろ ば 園	原町区橋本町一丁目 47-1	32-0952	遠　藤　美保子
			合　計

（令和８年５月１日現在）

定員	教職員		０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
	専任	その他							
123	15	12	4	8	19	14	20	16	81

（令和８年５月１日現在）

定員	教職員		０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
	専任	その他							
90	19	4	6	9	13	16	22	24	90
120	17	3	8	17	19	22	21	25	112
130	21	5		11	16	29	28	24	108
100	12	4	5	10	17	25	27	24	108
440	69	16	19	47	65	92	98	97	418

（令和８年５月１日現在）

定員	教職員		０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
	専任	その他							
12	4	0		4	10				14
10	4	3	4	3	4				11
19	7	1	3	4	6				13
19	5	3	7	5	8				20
60	20	7	14	16	28				58

※公立・私立とも原発避難者特例法による児童の受け入れ有り。

２　園児数

（１）園種別　　（令和８年５月１日現在）

区　分	市立幼稚園	市立保育園	市立こども園
園　数	3	2	1

（２）学年別等園児数

市立幼稚園　　（令和８年５月１日現在）

学　年	園　児　数
３歳児	29
４歳児	37
５歳児	39
計	105

市立保育園　　（令和８年５月１日現在）

学　年	園　児　数
０歳児	10
１歳児	23
２歳児	29
３歳児	31
４歳児	31
５歳児	31
計	155

市立こども園　　（令和８年５月１日現在）

学　年	園　児　数
０歳児	4
１歳児	8
２歳児	19
３歳児	14
４歳児	20
５歳児	16
計	81

（３）　園児数の推移

市立幼稚園

園名＼年度	H22	23	24	25	26	27
高平幼稚園	62	0	33	51	57	60
大甕幼稚園	74	0	41	44	42	47
太田幼稚園	41	0	0	0	0	0
石神第一幼稚園	63	0	0	0	0	0
石神第二幼稚園	154	0	0	0	0	0
鹿島幼稚園	80	93	98	109	108	88
真野幼稚園	22	0	0	0		
八沢幼稚園	45	46	38	32	28	36
上真野幼稚園	39	44	28	25	23	20
小高幼稚園	48	0	0	0	0	0
福浦幼稚園	51	0	0	0	0	0
金房幼稚園	59	0	0	0	0	0
鳩原幼稚園	35	0	0	0	0	0
合計	773	183	238	261	258	251

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全幼稚園が休園しており、鹿島幼稚園・上真野幼稚園が6月1日、八沢幼稚園が9月1日に再開した。（平成23年度は各園の再開時園児数を記載）
※真野幼稚園が平成26年3月31日で廃園となった。
※上真野幼稚園は平成30年4月1日から休園。
※小高幼稚園が平成29年4月1日に再開し、令和2年3月31日で廃園となった。
※福浦・金房・鳩原幼稚園が令和3年3月31日で廃園となった。
※八沢幼稚園は令和6年3月31日で廃園となった。
※太田・石神第一・石神第二・上真野幼稚園は令和7年3月31日で廃園となった。

（各年5月1日現在　単位：人）

29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
57	72	81	78	70	68	54	47	36	28
59	63	71	66	66	55	44	41	36	32
0	0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0		
90	93	92	85	85	81	58	49	51	45
31	23	22	17	9	0	0			
8	0	0	0	0	0	0	0		
3	15	13							
0	0	0	0						
0	0	0	0						
0	0	0	0						
248	266	279	246	230	204	156	137	123	105

私立幼稚園

園名＼年度	H22	23	24	25	26	27	28
さゆり幼稚園	69	13	18	24	29	40	65
青葉幼稚園	205	22	62	100	111	127	130
原町みなみ幼稚園	164	27	48	72	84	94	95
小高教会幼稚園	27	0	0	0	0	0	0
合計	465	62	128	196	224	261	290

※平成23年度は、震災の影響により5月1日時点では全幼稚園が休園しており、青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園が10月11日、さゆり幼稚園が11月1日に再開した。（平成23年度は各園の再開時児童数を記載）
※小高教会幼稚園は令和6年3月31日で廃園となった。
※さゆり幼稚園・原町みなみ幼稚園は令和7年4月1日にさゆり幼保園・原町みなみこども園に移行した。

市立保育園・認定こども園

園名＼年度	H22	23	24	25	26	27	28
原町あずま保育園	145	0	0	0	0	66	75
原町なかまち保育園	119	0	0	0	0	0	0
かしま保育園	135	115	125	132	126	137	135
かみまの保育園	34	20	31	33	29	46	46
おだか認定こども園							
合計	762	135	156	165	155	249	272

（各年5月1日現在　単位：人）

29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
89	82	86	86	84	83	74	74		
137	152	159	160	147	144	138	134	114	93
98	100	96	102	95	93	92	93		
0	0	0	0	0	0	0			
324	334	341	348	328	320	304	301	114	93

（各年5月1日現在　単位：人）

29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
82	100	122	113	114	120	118	110		
0	0	0	0	0	0	0	0		
127	114	132	126	121	118	121	123	124	115
39	46	50	46	40	27	33	39	43	40
			46	60	81	70	78	81	81
290	329	400	406	397	384	342	350	248	236

私立保育園・認定こども園・小規模保育事業所

園名＼年度	H22	23	24	25	26	27	28
原町聖愛こども園	107	35	64	64	76	89	93
はらまち認定こども園聖桜							
原町みなみこども園							
さゆり幼保園							
北町保育所	74	18	51	57	60	59	53
よつば保育園	187	55	95	136	143	167	174
よつば乳児保育園西町園		15	27	40	44	50	51
みなみそうまペンギン国際幼児園							
なかよし園							6
原町にこにこ保育園							
ユニソンワールド保育園ヨークタウン原町							
聖愛ちいろば園							
合計	368	123	237	297	323	365	377

※「よつば保育園」は平成18年度に認可された。
※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全保育園が休園となっており、5月6日にかしま保育園、かみまの保育園が再開した。(平成23年度は各園の再開時園児数を記載)
※私立保育園は、平成23年5月6日から避難区域外の鹿島区において臨時保育園を開設。その後、平成23年9月30日で緊急時避難準備区域の解除により、平成23年10月11日から原町区の自園で通常再開した。
※「よつば乳児保育園西町園」は平成23年4月1日に認可されたが、震災の影響により平成24年1月からの開所となった。
※原町あずま保育園は、平成27年4月1日に再開、原町さくらい保育園は、平成28年4月23日に再開した。
※原町聖愛保育園は、平成28年4月1日から原町聖愛こども園に移行した。
※なかよし園は、平成28年4月1日認可・設置された。
※原町にこにこ保育園は、平成29年4月1日に認可・設置された。
※おだか保育園は、令和2年3月31日廃園。
※おだか認定こども園は、令和2年4月1日開園。
※みなみそうまペンギン国際幼児園及びユニソンワールド保育園ヨークタウン原町は、令和2年4月1日に認可・設置された。
※聖愛ちいろば園は、令和2年6月1日に認可・設置された。
※原町さくらい保育園は、令和6年3月31日で廃園となった。
※原町なかまち・原町あずま保育園は、令和7年3月31日で廃園となった。
※はらまち認定こども園聖桜は、令和7年4月1日に認可・設置された。
※さゆり幼稚園・原町みなみ幼稚園は令和7年4月1日にさゆり幼保園・原町みなみこども園に移行した。

（各年5月1日現在　単位：人）

29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
89	93	105	118	105	108	102	102	92	90
								109	112
								110	108
								98	105
59	63	68	68	71	70	73	72	71	70
189	189	191	200	179	170	177	163	159	156
70	62	54	50	63	62	58	60	60	57
			49	59	59	57	59	59	59
6	0	0	8	14	13	14	13	14	14
3	10	10	11	11	12	12	12	11	11
			18	17	14	17	16	15	13
				19	20	19	19	14	20
416	417	428	522	538	528	529	516	812	815

３　保健・安全

（１）医師等の設置状況

市立幼稚園　　（令和８年５月１日現在）

園　　名	内科医	眼科医	歯科医
高平幼稚園	小　泉　祐　功	髙　野　良　真	松　本　　断
大甕幼稚園	石　原　　開	小　林　貴　樹	熊　耳　隆　洋
鹿島幼稚園	菅　原　通　夫	佐　柄　英　人	吉　田　　豊

市立保育園

園　　名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
かしま保育園	鹿島厚生病院	佐　柄　英　人	相　良　一　也
かみまの保育園	鹿島厚生病院	佐　柄　英　人	相　良　一　也

市立こども園

園　　名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
おだか認定こども園	南相馬市立総合病院	佐　柄　英　人	今　村　隆　一

（２）日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況

学校別／種別	幼　稚　園	保　育　園	こども園
加　入　数	１０５人	１５５人	８１人

加入対象園と共済掛金

項目／種別	一般児童	要保護児童
幼稚園・こども園	２８５円（内保護者負担２００円）	―
保育園	３６５円（内保護者負担２１０円）	５５円（内保護者負担０円）

４　幼稚園給食

区分／園名	形態	回数（回）	給食単価（円）	年間一人当たり徴収金額（円）	
市立幼稚園	完全給食	１５５	３８０	０	※令和元年 10 月から免除

５　幼稚園・保育園・こども園施設一覧

市立幼稚園

園名	園地面積（㎡）	園				
		面積（㎡）	内			
			保育室（㎡）		遊戯室（㎡）	
高平幼稚園	2,179	517	4	210	1	118
大甕幼稚園	5,422	515	4	212	1	108
鹿島幼稚園	2,681	648	5	259	1	195

市立保育園

園名	園地面積（㎡）	園				
		面積（㎡）	内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
かしま保育園	6,007	1,407	6	361	1	268
かみまの保育園	1,757	337	2	89	1	99

市立こども園

園名	園地面積（㎡）	園				
		面積（㎡）	内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
おだか認定こども園	3,902	1,117	7	351	1	245

舎				
訳				
職員室（㎡）		保健室（㎡）		資料室その他（㎡）
1	24	1	9	156
1	28	1	10	157
1	34	1	12	148

（小数点以下、四捨五入）

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	32	1	5	1	33	84	624
1	20	1	13	1	20	14	82

（小数点以下、四捨五入）

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	58	—	—	1	71	22	370

（小数点以下、四捨五入）

６　放課後児童クラブ

（１）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営事業）

＜事業目的＞

小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に、児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

＜事業内容＞

①対象児童　南相馬市に在住または在学している小学校児童
　　定員を超えた応募があった場合は、１年生から３年生までの低年齢の児童を優先する。

②活動日時　月曜日～金曜日の下校時～１８時
　　土曜日及び春・夏・冬休みの期間は７時３０分～１８時
　　（日曜日、祝祭日、年末年始は休み）

③費　　用　スポーツ保険料　年８００円

（２）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）実施状況　（令和８年５月１日現在）

	クラブ名	所　在　地	電　話	設置年月	施設面積（㎡）
1	東町児童クラブ	原町区東町二丁目８２ （東町児童センター）	22－3202	H 9.4	306.27
2	原町第一児童クラブ	原町区東町二丁目６６ （原町第一小学校）	22－5300	H17.11	60.00
3	橋本町児童クラブ	原町区橋本町一丁目８３－４ （橋本町児童センター）	24－0436	H 9.4	308.61
4	上町児童クラブ	原町区上町二丁目３３ （上町児童センター）	24－0253	H 9.4	317.58
5	大甕児童クラブ	原町区大甕字鶴蒔８ （大甕小学校）	23－1706	H13.1	160.00
6	太田児童クラブ	原町区益田字塩釜２３６ （太田小学校）	23－4114	H13.1	120.00
7	石神第一児童クラブ	原町区北長野字北原田２８８ （石神第一小学校）	22－2870	H13.9	124.00
8	石神第二児童クラブ	原町区大木戸字西原１	24－0710	H13.9 R 3.9(移転)	775.00
9	鹿島児童クラブ	鹿島区鹿島字広町１３	46－4477	H12.9 H28.7(新築移転)	319.34
10	八沢児童クラブ	鹿島区南屋形字北原８－１	26－4122	H23.5 H26.9(新築移転)	107.03
11	上真野児童クラブ	鹿島区浮田字一丁田８１ （上真野小学校）	26－4567	H23.5	65.07
12	小高児童クラブ	小高区関場一丁目７７－１ （小高小学校）	44－4118	H13.6	190.00

≪児童クラブ登録児童数≫　　（令和８年５月１日現在）

	クラブ名	定員（人）	児童数（人）							支援員数(人)
			１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計	
1	東町児童クラブ１	40	23	0	0	16	0	0	39	3
2	東町児童クラブ２	40	0	0	23	0	17	0	40	3
3	原町第一児童クラブ	35	0	26	0	0	0	16	42	
4	橋本町児童クラブ１	40	21	27	0	0	0	0	48	2
5	橋本町児童クラブ２	40	0	0	14	20	11	3	48	3
6	上町児童クラブ１	40	23	24	0	0	0	0	47	2
7	上町児童クラブ２	40	0	0	12	20	15	3	50	2
8	大甕児童クラブ	50	7	8	14	11	10	6	56	2
9	太田児童クラブ	40	3	4	2	3	7	6	25	2
10	石神第一児童クラブ	40	9	8	6	6	8	5	42	2
11	石神第二児童クラブ１	40	38	0	0	0	0	0	38	2
12	石神第二児童クラブ２	40	0	32	0	0	0	0	32	2
13	石神第二児童クラブ３	40	0	0	31	0	0	0	31	2
14	石神第二児童クラブ４	40	0	0	0	38	16	4	58	1
15	鹿島児童クラブ１	40	22	18	0	0	0	0	40	3
16	鹿島児童クラブ２	40	0	0	22	30	0	0	52	3
17	八沢児童クラブ	30	0	0	2	0	8	6	16	
18	上真野児童クラブ	40	5	7	11	2	9	6	40	2
19	小高児童クラブ	50	12	12	11	18	7	6	66	2
	計	765	163	166	148	164	108	61	810	38

（3）児童の安全管理状況

児童クラブ共済保険内容

保険会社名	保険料	保険給付内容
（財）スポーツ安全協会	Ａ１型 登録児童１名あたり 保険料　８００円	傷害保険　死亡　３，０００万円 後遺障害　４，５００万円 賠償責任 対人・対物　合算１事故につき　５億円 （ただし、対人賠償は１人　２億円）

児童クラブ共済保険加入状況

区名	小高区	鹿島区	原町区
人数	６６人	１４８人	５９６人

（4）放課後児童健全育成事業費補助金事業

＜事業目的＞

社会福祉協議会、特定非営利活動法人トイボックスを実施主体とする仲町児童センター・高平児童館・錦町児童クラブ・けやき児童クラブ管理運営の円滑化を図る。

＜事業内容＞

小学校児童を対象として児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として運営経費金額を補助する。

（令和８年５月１日現在）

施設名	所在地	電話	施設面積（㎡）	定員（人）	児童数（人）							職員数（人）※
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
仲町児童センター	原町区仲町二丁目165	22-1803	413.34	60	22	6	20	7	7	7	69	7
高平児童館	原町区下北高平字古舘36-5	24-3557	188.00	40	5	9	5	9	5	8	41	4
錦町児童クラブ	原町区錦町一丁目125	26-6836	195.72	45	8	11	5	9	7	6	46	7
けやき児童クラブ	鹿島区鹿島字町80	32-1345	134.55	30	4	2	1	3	8	4	22	3
計				175	39	28	31	28	27	25	178	21

※ 職員数は非常勤職員の人数を含んでいる。

7　事業計画・実施状況

（1）令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	○保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材事前検査を実施する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食食材の事前検査に係る経費を助成。 ◇公立保育園 給食食材の事前検査を実施。
保育士・幼稚園教諭宿舎借り上げ支援事業補助金	○保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舎を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	◇事業者が借上げた宿舎の家賃補助（１か所月額４５千円又は７０千円上限）
保育体制強化事業補助金	○保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	◇保育支援者の配置に要する費用を助成。 （１園月額１６４千円上限） ・保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃 ・給食の配膳・後片付け ・寝具の用意・後片付け ・その他、保育士の負担軽減に資する業務
元気あふれる幼児育成推進事業	○子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	◇保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ◇幼保小連携研修会開催
民間保育所等給食食材費補助金	○子育て環境の充実を図るため、民間保育所等が提供する給食用食材費に対し、補助金を交付する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食用食材費を補助。 ・対象年齢 ３歳児～５歳児 ・補助額 月額上限一人 7,700 円
私立幼稚園給食費保護者助成金	○教育環境の充実を図るため、私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費に対し助成金を交付する。	◇私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費の助成。 ・助成額 月額上限一人 8,000 円

（２）令和７年度事業実施状況

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	○保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材事前検査を実施する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食食材の事前検査に係る経費を助成。 ◇公立保育園 給食食材の事前検査を実施。
保育士・幼稚園教諭宿舎借り上げ支援事業補助金	○保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舎を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	◇事業者が借上げた宿舎の家賃補助（１か所月額４５千円又は７０千円上限）
保育体制強化事業補助金	○保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	◇保育支援者の配置に要する費用を助成。 （１園月額１４５千円上限） ・保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃 ・給食の配膳・後片付け ・寝具の用意・後片付け ・その他、保育士の負担軽減に資する業務
元気あふれる幼児育成推進事業	○子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	◇保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ◇幼保小連携研修会開催
民間保育所等給食食材費補助金	○子育て環境の充実を図るため、民間保育所等が提供する給食用食材費に対し、補助金を交付する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食用食材費を補助。 ・対象年齢 ３歳児～５歳児 ・補助額 月額上限一人 7,700 円
私立幼稚園給食費保護者助成金	○教育環境の充実を図るため、私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費に対し助成金を交付する。	◇私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費の助成。 ・助成額 月額上限一人 8,000 円

Ⅵ　生涯学習・文化振興

1　生涯学習関係

（1） 事業計画

令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
生涯学習講演会開催事業補助金	○地域の中で、人としての優しさや豊かさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、市民が広く参加できる講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象　１団体 ・事業主体　生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額　８００千円 ・補 助 率　定額 ・期　　日　実行委員会にて決定 ・会　　場　鹿島生涯学習センター（さくらホール）予定 ・講　　師　実行委員会にて決定
生涯学習推進事業	○市民ボランティア講師及び行政職員等を派遣する出前講座のほか、地域団体における生涯学習指導者育成のための研修会開催など、生涯学習事業、社会教育事業の振興を図る。	◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対 象 者　市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数　約４００回 ・市民ボランティア３００回 ・行政、公共団体等１００回 ・メニュー表　２，８００部発行 発 行 日　令和８年６月予定 配 布 先　講師及び受講団体、関係機関・団体等 ・出前講座の継続にかかる意向調査予定 調査対象　市民ボランティア講師 ＮＰＯ・各種団体等 調査期間　令和９年２月 ◇地域学習団体における生涯学習指導者育成 ・研修会の開催
報徳精神がいきづくまちづくり事業	○報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。また、「報徳精神がいきづくまちづくり」推進に向け、推進委員会及びワーキンググループを開催、視察研修を実施する。	◇第３１回全国報徳サミット真岡市大会 ・期　　日　令和８年１１月２７日（金） ～１１月２８日（土）予定 ・会　　場　ＫＯＢＥＬＣＯ真岡いちごホール ◇同報徳サミット真岡市大会ツアー ・期　　日　令和８年１１月２７日（金） ～１１月２８日（土） ・会　　場　ＫＯＢＥＬＣＯ真岡いちごホール ・定　　員　２０人（ほか職員引率２人） ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版(改訂版)」の配布 市内全小学校新４年生児童・転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」授業の実施 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員への副読本概要版配付 報徳の教え「名札入れカード」全職員配付 報徳の教え「壁面貼付用」全課所室配布 ・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎（玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践ＤＡＹ」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 ・石神生涯学習センター　　年７回 ・ひがし生涯学習センター　年３回

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		・鹿島生涯学習センター　　年３回 ・高平生涯学習センター　　年１回 【高齢者学級・女性学級等による実施】 ・年１回（小高、原町、太田、大甕、ひばり） ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数　　２，０００部 ・配 布 先　　市内公共施設等 ◇「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」 副読本ダイジェスト版 ・印刷部数　１，５００部（日本語版） ３００部（英語版） ・配 布 先　市内公共施設等 ◇副読本「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」 ・印刷部数　　５００部 ・配 布 先　　市内小学校 ◇報徳精神がいきづくまちづくり推進委員会 ・開催時期　６月～２月 ・回　　数　２回 ◇報徳精神がいきづくワーキンググループ ・回　　数　４回 ◇全国報徳サミット南相馬市大会に向けた実行委員会準備会 ・開催時期　　７月～２月 ・回　　数　　会議３回、大会視察１回
高　等　学　校 開 放 講 座 事 業	○趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	◇相馬農業高等学校開放講座 ・開催時期　６～１２月 ・回　　数　年３回 ・定　　員　２０人 ◇原町高等学校開放講座 ・開催時期　６～１２月 ・回　　数　年２回 ・定　　員　未定
二十歳を祝う会 開　催　事　業	○二十歳に達した青年の自覚を促し、祝い励ますために二十歳を祝う会を開催する。	◇令和９年南相馬市二十歳を祝う会 ・期　　日　令和９年１月１０日（日） ・会　　場　南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対 象 者　４４６人 平成１８年４月２日～ 平成１９年４月１日までに生まれた方
家 庭 教 育 支 援 総 合 推 進 事 業	○子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。また、市内学習塾の情報を提供する南相馬市学習塾バンク事業を実施し、児童生徒の家庭学習の機会を支援していく。	◇子育て学習講座　２団体 ・企業、ＮＰＯ団体、子育てサークル等 ◇家庭教育講座　　５件 ・幼稚園、保育園、小中学校、相馬支援学校、ＰＴＡ等 ◇就学児童子育て講座　６件 ・市内小学校、相馬支援学校 ◇大学公開講座　　年１回 ◇南相馬市学習塾バンク事業 ・受付期間　令和８年４月～令和９年３月 ・公開場所　市ホームページ等
中学生職場体験等 支　援　事　業	○生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 ・担当者説明会 期　　日　令和８年５月１８日（月） ・職場体験活動取材 実 施 校　６中学校 実施期間　令和８年９月 ・令和９年度 事業所受入意向調査

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		調査期間　令和９年２月 ◇職場体験活動情報誌 「体験！Ｗｏｒｋｉｎｇ！」の発行（年１回） ・発 行 日　令和８年１２月 ・発行部数　２，５００部 ・配 布 先　市内小中学校、受入事業所 公共施設等 ◇中学生ボランティア活動 実施校　６中学校（１学年～３学年） 実施期間　令和８年５月～令和９年１月 体験日　土日祝日及び夏休み、冬休み ※夏休み及び冬休みは平日も可 体験内容　市が行うイベント
生涯学習講座事業	○自ら学ぶ楽しさを実感することができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小　高（２学級・３講座） ・鹿　島（２学級・４講座） ・原　町（３学級・１講座） ・太　田（３学級・２講座） ・大　甕（２学級・２講座） ・高　平（１学級・３講座） ・石　神（２学級・４講座） ・ひがし（２学級・３講座） ・ひばり（２学級・２講座） 合　計１９学級・２４講座 ◇生涯学習チャンネル配信事業 ・みなみそうまチャンネルを活用した動画配信による生涯学習講座　１２回
こども探検隊事業	○子どもに社会性や知識を身に付けられるよう、子ども同士が交流する機会を拡大するとともに、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	【親と子の絆づくり体験事業】 ・対　　象　小高小中学校の児童生徒・保護者 ◇ドローン操縦体験 ・期　　日　令和８年６月頃予定 ・会　　場　小高生涯学習センター予定 ・内　　容　ロボットを身近に感じられるよう、直接ミニドローンに触れ、操縦体験を行う。 ◇乗馬・法螺貝吹き体験 ・期　　日　令和８年９月頃予定 ・会　　場　小高神社境内予定 ・内　　容　馬の息づく街、一千有余年の歴史ある相馬野馬追の里「南相馬市」にちなみ、馬を身近に感じられるよう、馬とふれあう体験等を行う。 ◇餅つき体験 ・期　　日　令和８年１２月予定 ・会　　場　小高区内 ・内　　容　年末に新年の準備として行われる餅つきと鏡餅作りを行い、昔からある慣習を体験する。 【親子による自然科学体験】 ・対　　象　市内の児童・生徒とその家族 ◇ほたるの観察会 ・期　　日　令和８年６月予定 ・会　　場　市内ビオトープ ・内　　容　南相馬市内に生息する植物や昆虫に

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		触れながら、自然の中の生態を観察する。 ◇ドローン操縦体験 ・期　　日　令和８年７月予定 ・会　　場　福島ロボットテストフィールド ・内　　容　施設の見学とドローンの操縦を体験する。 ◇古代史探検隊 ・期　　日　令和８年１１月予定 ・会　　場　市内遺跡 ・内　　容　市内の遺跡と歴史を学ぶ。 ◇そば打ち体験 ・期　　日　令和８年１１月　１２月予定（２回開催） ・会　　場　原町生涯学習センター ・内　　容　体験を通し、日本の伝統食である和食への興味と知識を深める。 ◇スキー教室 ・期　　日　令和９年２月予定 ・会　　場　あだたら高原スキー場（二本松市） ・内　　容　冬の自然を体験する。 【青梅市交流事業】 ・内　　容　青梅市との交流により地域の自然や文化の知識を身に付け交流を深める。 ・対　　象　小学生親子５組１０名 【こども交流支援事業補助金】 招待交流事業実施に伴う経費の補助 ・補助団体　１団体 ・事業主体　ＮＰＯ法人南相馬こどものつばさ ・補助金額　１，５００千円 ・補 助 率　定額
学習活動団体育成支援事業	○自ら学ぶ楽しさを実感することができるよう、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催する。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小　高（１教室） ・鹿　島（１教室） ・原　町（２教室） ・太　田（１教室） ・大　甕（１教室） ・高　平（１教室） ・石　神（３教室） ・ひがし（２教室） ・ひばり（２教室）　　計　１４教室
地域学校協働活動事業	○地域における教育力の低下や家庭の孤立、学校を取り巻く問題の複雑化等の課題を解決するため、地域と学校がパートナーとして「連携・協働」し、地域ぐるみで子どもを育み、地域社会の活性化を図るため、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施する。	◇本部運営委員会 ・開催時期　６月～２月 ・内　　容　市全体の事業計画の確認 目標設定 評価・検証 ◇小高（小高小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　小高小学校児童 ・内　　容　放課後子ども教室を開催し、様々な体験活動を行う ◇鹿島（上真野小）地域学校協働本部

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		・開催時期　４月～２月 ・対　　象　上真野小学校全校児童 ・内　　容　田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行う ◇鹿島（鹿島小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　鹿島小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町南（太田小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　太田小学校全校児童 ・内　　容　田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行う ◇原町南（大甕小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　大甕小学校児童 ・内　　容　畑でさつま芋苗植えやさつま芋掘り等の体験を行う ◇原町東（高平小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　高平小学校児童 ・内　　容　地域と連携し夏休みや冬休み等の時間を利用し学習支援、体験学習等を行う ◇原町西（石一小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　石神第一小学校児童 ・内　　容　放課後子ども教室を開催し、放課後や夏休み等を利用し様々な体験型活動を行う ◇原町西（石二小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　石神第二小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町中央（原一小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　原町第一小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町中央（原二小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　原町第二小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町西（原三小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月 ・対　　象　原町第三小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町南（原三中）地域学校協働本部 ・開催時期　６月～２月 ・対　　象　原町第三中学校生徒 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		◇南相馬市地域学校協働活動事業情報紙 「つなぐ　まなぶ」の発行（年１回） ・発行日　令和９年３月予定 ・発行部数　７，０００部予定 ・配布先　市内小中学校、公共施設等

令和８年度社会教育施設等の修繕事業

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
生涯学習センター 施 設 営 繕 事 業	○施設利用者の安全性を確保し、円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ◇冷温水発生機操作盤更新修繕工事 ・対象施設　鹿島生涯学習センター ◇調理室空調機設置工事 ・対象施設　ひがし生涯学習センター 石神生涯学習センター ◇展示室、収蔵庫内空調機更新 ・対象施設　小高生涯学習センター ◇直流電源盤更新 ・対象施設　原町生涯学習センター ◇音響機器収蔵倉庫内空調機更新 ・対象施設　小高生涯学習センター ◇防災監視盤・非常用放送設備交換修繕 ・対象施設　小高生涯学習センター ◇屋上防水外改修設計業務委託 ・対象施設　小高生涯学習センター ◇多目的ホール系統空調設備更新工事 ・対象施設　ひばり生涯学習センター

（２）事業実施状況

令和７年度事業実施状況

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
生涯学習講演会開催事業補助金	○地域の中で、人としての温かさや優しさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象　１団体 ・事業主体　生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額　８００千円 ・期　　日　令和８年１月２５日（日） ・講　　師　フリーアナウンサー「直川貴博」 ・演　　題　「なんだべ、自分らしさって？～私が福島で教えてもらったこと～」 ・入場者数　４８８人
生涯学習推進事業	○市民ボランティア講師及び行政職員等を派遣する出前講座のほか、地域団体における生涯学習指導者育成のための研修会開催など、生涯学習事業、社会教育事業の振興を図る。	◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対 象 者　市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数　４４２回 ・市民ボランティア　３１２回 ・行政、公共団体等　１３０回 ・メニュー表　２，８００部発行 ・発 行 日　令和７年６月１日 ・配 布 先　講師及び受講団体、関係機関・団体等 ◇出前講座の継続にかかる意向調査 ・調査対象　市民ボランティア講師 ＮＰＯ・各種団体等 ・調査期限　令和８年２月 ・講師登録数　１１３人 ・講座メニュー数　４３７メニュー ◇生涯学習支援リーダー研修会 ・期　　日　令和８年２月１２日（木） ・会　　場　市民情報交流センター ・講　　師　松本　大　氏 （東北大学大学院教育学研究科准教授） その他事例発表者２名 ・参 加 者　５６名
報徳精神がいきづくまちづくり事業	○報徳仕法のいきづく本市において、時代を超えてその教えを継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。また、「報徳精神がいきづくまちづくり」推進に向け、推進委員会及びワーキンググループを開催、視察研修を実施する。	◇報徳のまちづくり講演会 ・期　　日　令和７年１１月６日(木) ・会　　場　サンライフ南相馬　集会室 ・講　　師　早田　旅人　氏 （平塚市博物館　学芸員） ・参 加 者　１５３人 ・対　　象　一般市民 ◇第３０回全国報徳サミット秦野市大会 ・期　　日　令和７年１０月３１日（金）～１１月１日（土） ・会　　場　メタックス体育館はだの ・参 加 者　教育長、副議長、随行職員 ◇同報徳サミット秦野市大会バスツアー ・期　　日　令和７年１０月３１日（金）～１１月１日（土） ・参 加 者　１７人、引率職員　２人 ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版（改訂版）」の配付（４月）　５０６部 市内全小学校新４年生児童・転入教諭 市内全中学校・支援学校転入教諭

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		・小中学校教育課程による「ふるさと教育」 授業の実施 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員等への副読本概要版配付　６６人 ・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎 （玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践ＤＡＹ」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する 学級・講座等の開催 【報徳講座】 （４センター　　１４７人） 石　神　　６講座／５９人 ひがし　　３講座／３５人 鹿　島　　３講座／４７人 高　平　　１講座／　６人 【高齢者学級・女性学級等による実施】 （５センター　　７１人） 小　高　　１学級／１１人 原　町　　１学級／２４人 太　田　　１学級／１３人 大　甕　　１学級／１５人 ひばり　　１学級／　８人 ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数　１，０００部 ・配 布 先　市内公共施設等 ◇「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」 副読本ダイジェスト版作成 副読本 ・印刷部数　５００部 ダイジェスト版 ・日本語版　印刷部数　５００部 ・配 布 先　市内公共施設等 ◇報徳精神がいきづくまちづくり推進委員会 ・期　　日　第１回　令和７年７月３日（木） 第２回　令和８年２月２０日（金） ・委　　員　１２人 ・内　　容 (1)今後の報徳精神がいきづくまちづくり事業 の進め方について (2)石神生涯学習センター周辺を中心とした報 徳の里づくりについて (3)本事業による市民の意識啓発、市民参加の 方策について (4)本事業による子どもたちへの教育の推進に ついて ◇報徳精神がいきづくまちづくり推進委員会 ワーキンググループ会議の開催 ・期　　日　第１回　令和７年１１月１２日(水) 第２回　令和７年１２月　３日(水)
高　等　学　校 開 放 講 座 事 業	○趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	【相馬農業高等学校開放講座】　参加者４８人 ◇第１回 ・期　　日　令和７年８月２日（土） ・会　　場　ひばりが原農場 ・参 加 者　９人

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		・内　　容　収穫まで楽しめる秋のじゃがいも プランター栽培講座 ・材 料 費　１，５００円 ◇第２回 ・期　　日　令和７年９月２７日（土） ・会　　場　相馬農業高等学校　製パン室 ・参 加 者　２０人 ・内　　容　焼き立てふっくらおいしいパン作り 講座 ・材 料 費　１，０００円 ◇第３回 ・期　　日　令和７年１２月２０日（土） ・会　　場　相馬農業高等学校　農業機械実習室 ・参 加 者　１９人 ・内　　容　新年の幸せスタートに ミニ門松づくり講座 ・材 料 費　１，０００円
二十歳を祝う会開催事業	○二十歳に達した青年の自覚を促すとともに、二十歳になった方を祝い励ますために、二十歳を祝う会を開催する。	◇令和８年南相馬市二十歳を祝う会 ・期　　日　令和８年１月１１日（日） ・会　　場　南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対 象 者　４３７人 ・参 加 者　３３６人（参加率：７６．８９%） 平成１７年４月２日～ 平成１８年４月１日までに生まれた方
家庭教育支援総合推進事業	○子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。	◇子育て学習講座 実　　績　２件　５１人 ・かしま子育て支援センター ・社会福祉法人福陽会 ◇家庭教育講座 実　　績　３件　１７５人 ・さゆり幼保園 ・青葉幼稚園 ・高平幼稚園 ◇就学児童子育て講座 実　　績　市内小学校で２件　１３５人 ・原町第二、第三小学校 ・大甕、太田小学校 ◇家庭教育大学公開講座 実　　績　１件　５８人 ◇南相馬市学習塾バンク事業 受付期間　令和７年４月～令和８年３月 公開場所　市ホームページ等 登録件数　２０件

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
中学生職場体験等 支　援　事　業	○生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 担当者説明会 ・期　　日　令和７年５月２３日(金) 職場体験活動取材 ・実 施 校　６中学校 ・実 施 日　令和７年９月３日(水) ～９月２６日(木) ・生 徒 数　５５３人（実数） ・受 入 れ　１９５事業所（延べ） 令和８年度事業所受入意向調査 ・調査件数　４９１事業所 ・調査期間　令和８年２月２４日（火） ～３月１３日（金） ◇職場体験活動情報誌 「体験！Ｗｏｒｋｉｎｇ！」の発行（年１回） ・発 行 日　令和８年２月発行 ・発行部数　２，５００部 ・配 布 先　市内中学校、市内小学校（教職員） 公共施設、事業所等 ◇中学生ボランティア活動（モデル事業） 実施校　　市内６中学校（１学年～３学年） 実施期間　令和７年６月８日（日） ～令和８年１月１１日（日） 体験内容　市や市内小学校が主催のイベント 実施件数　２５件
生涯学習講座事業	○自ら学ぶ楽しさを実感することができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小　高（２学級・３講座） ・鹿　島（２学級・４講座） ・原　町（３学級・１講座） ・太　田（３学級・２講座） ・大　甕（２学級・２講座） ・高　平（１学級・３講座） ・石　神（２学級・４講座） ・ひがし（２学級・３講座） ・ひばり（２学級・２講座） 合　計１９学級・２４講座 ◇生涯学習チャンネル配信事業 ・みなみそうまチャンネルや YouTube を活用した動画配信による生涯学習講座　　１３回
こども探検隊事業	○子どもに社会性や知識を身に付けられるよう、子ども同士が交流する機会を拡大するとともに、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	【親と子の絆づくり体験事業】 ・対　　象　小高小・中学校の児童生徒とその保護者 ◇乗馬・法螺貝吹き体験 ・期　　日　令和７年６月１日（日） ・会　　場　小高神社境内 ・内　　容　馬の息づく街、一千有余年の歴史ある相馬野馬追の里「南相馬市」にちなみ、馬を身近に感じられるよう、馬とふれあう体験等を行った。 ・参 加 者　１２人 ◇乗馬・法螺貝吹き体験 ・期　　日　令和７年９月２８日（日） ・会　　場　小高神社境内

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		・内　　容　春季と同様、馬を身近に感じられるよう、馬とふれあう体験等を行った。 ・参 加 者　１６人 ◇餅つき体験 ・期　　日　令和７年１２月２７日（土） ・会　　場　小高交流センター ・内　　容　年末に新年の準備として行われる餅つきと鏡餅作りを行い、昔からある慣習を体験した。 ・参 加 者　７３人 【親子による自然科学体験】 ・対　　象　市内の児童・生徒とその家族 ◇ほたるの観察会 ・期　　日　令和７年６月２１日（土） ・会　　場　原町区上太田地内 ほたるのふる里 ・内　　容　南相馬市内に生息する植物や昆虫に触れながら、自然の中の生態を観察した。 ・参 加 者　３４人 ◇ドローン体験 ・期　　日　令和７年７月２２日（火） ・会　　場　福島ロボットテストフィールド ・内　　容　東京都青梅市の「夏休み親子体験塾」との合同開催で、施設の見学とドローンの操縦を体験した。 ・参 加 者　１０人 ◇夏野菜収穫体験 ・期　　日　令和７年８月３日（日） ・会　　場　原町区金沢地内　ごろくファーム ・内　　容　自分たちで野菜を収穫することで野菜の知識を深めるとともに、食への興味を引き出した。 ・参 加 者　２４人 ◇古代史探検隊 ・期　　日　令和７年１１月３日（月） ・会　　場　小高区泉沢薬師前地内　薬師堂石仏 ・内　　容　市内の遺跡と歴史を学んだ。 ・参 加 者　２３人 ◇そば打ち体験 ・期　　日　令和７年１１月３０日（日） ・会　　場　原町生涯学習センター ・内　　容　体験を通し、日本の伝統食である和食への興味と知識を深めた。 ・参 加 者　３１人 ◇スキー体験教室 ・期　　日　令和８年２月８日（日） ・会　　場　あだたら高原スキー場（二本松市） ・内　　容　冬の自然を体験した。 ・参 加 者　２４人 【青梅市交流事業】 ・期　　日　令和７年７月２０日（日） ～２２日（火）

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		・内　　容　青梅市との交流により地域の自然や文化の知識を身に付け交流を深めた ・対　　象　小学生親子１０組２０名 【こども交流支援事業補助金】 ◇補助対象　１団体 ・事業主体　ＮＰＯ法人南相馬こどものつばさ 全国各地において、子ども同士や地域住民との交流の拡大を図るため、南相馬こどものつばさが実施する事業に対し、補助金を交付した。 ・補助金額　１，５００千円（当初） ・交 付 額　１，５００千円 ・事業実績 大学生との交流会　高校生会議（学習会）
学習活動団体育成支援事業	○自ら学ぶ楽しさを実感することができるよう、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催し、将来自立した活動ができるよう各種団体への組織化等の支援を行った。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小　高（１教室）　２８人 ・鹿　島（１教室）　１３６人 ・原　町（２教室）　２４７人 ・太　田（１教室）　９８人 ・大　甕（１教室）　２０６人 ・高　平（１教室）　７４人 ・石　神（２教室）　４３６人 ・ひがし（１教室）　１９８人 ・ひばり（１教室）　２２８人 計　１１教室　１，６５１人
地域学校協働活動事業	○地域における教育力の低下や家庭の孤立、学校を取り巻く問題の複雑化等の課題を解決するため、地域と学校がパートナーとして「連携・協働」し、地域ぐるみで子どもを育み、地域社会の活性化を図るため、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施した。	◇本部運営委員会 ・期　　日　①令和７年　６月２７日（金） ②令和７年１１月２０日（木） ③令和８年　３月１３日（金） ・内　　容　市全体の事業計画の確認 目標設定 評価・検証 ◇小高（小高小）地域学校協働本部 ・開催時期　４月～２月（全１６回） ・対　　象　小高小学校児童 ・内　　容　放課後子ども教室を開催し、文化・スポーツ等様々な活動を行った。 ◇鹿島（上真野小）地域学校協働本部 ・開催時期　４月～２月（全８回） ・対　　象　上真野小学校全校児童 ・内　　容　田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行った。 ◇鹿島（鹿島小）地域学校協働本部 ・開催時期　６月～３月（全２８回） ・対　　象　鹿島小学校児童（３～６年生） ・内　　容　探求学習（３～６年生）では地域の特性を学んだほか、５、６年生はミシンを使った作品作りを行った。 ◇原町南（太田小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月（全６回） ・対　　象　太田小学校全校児童 ・内　　容　田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行った。

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
		◇原町南（大甕小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月（全３回） ・対　　象　大甕小学校児童 ・内　　容　畑でさつま芋苗植えやさつま芋掘り等の体験を行った。 ◇原町東（高平小）地域学校協働本部 ・開催時期　６月～２月（全１７回） ・対　　象　高平小学校児童 ・内　　容　地域と連携し夏休みや冬休み等の時間を利用し、学習支援、体験学習等を行った。 ◇原町西（石一小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月（全８回） ・対　　象　石神第一小学校児童 ・内　　容　放課後子ども教室を開催し、文化・体験活動等様々な活動を行ったほか、学校支援を行った。 ◇原町西（石二小）地域学校協働本部 ・開催時期　６月～２月（全７回） ・対　　象　石神第二小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行った。 ◇原町中央（原一小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月（全４回） ・対　　象　原町第一小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行った。 ◇原町中央（原二小）地域学校協働本部 ・開催時期　６月～２月（全２回） ・対　　象　原町第二小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行った。 ◇原町西（原三小）地域学校協働本部 ・開催時期　５月～２月（全７回） ・対　　象　原町第三小学校児童 ・内　　容　学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行った。 ◇南相馬市地域学校協働活動事業情報紙 「つなぐ　まなぶ」の発行（年１回） ・発行日　令和８年３月 ・発行部数　８，０００部 ・配布先　市内小中学校、公共施設等
その他の事業	○市内で活動する生涯学習団体の支援をするため、登録制度を設けて、使用料の減免をする。	◇生涯学習施設等登録団体の支援（R8.3.31） ・登録団体数　２４８団体 小高区　　１３団体 鹿島区　　１８団体 原町区　　２１７団体

令和７年度社会教育施設等の修繕事業

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
生涯学習センター施設営繕事業	○施設利用者の安全性を確保するとともに円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ◇合併浄化槽設置工事 ・対象施設　石神生涯学習センター

２　生涯学習センター関係

（１）令和８年度事業計画

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおし、自ら学ぶ楽しさを実感することができるとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	春の寄せ植え教室、 顔ヨガ教室　他	5
うきふね学級 （高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	報徳講座、移動研修　他	5
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	そば打ち、味噌作り　他	9
認知症予防講座	認知症予防に関する知識と実践的な取り組みを学び、日々の生活に取り入れることで、心身の健康維持につなげる。	認知症予防講話、予防体操他	3
健康いきいき講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康的な身体つくりを目指す。	音楽レクリエーション、 健康体操講座　他	3
計			25

②鹿島生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	健康体操教室、 味噌づくり教室　他	5
ひこばえ学級 （高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ストレッチ教室、 移動研修　他	4
絵手紙講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙制作	5
パン＆洋菓子講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン、洋菓子づくり　他	6
健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	書道教室、健康料理　他	6
藍染め体験講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	苗植え、収穫、藍染め体験	3
計			29

③原町生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
成　人　大　学 （生涯学習共通事業）	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	薬の知識、方言学入門 移動研修　　他	10
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	防災対策教室、フラワーアレンジメント教室、移動研修　他	7
さ　わ　や　か　学　級 （高　齢　者　学　級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康講話、絵手紙教室　他	5
バ　ラ　エ　テ　ィ　講　座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	藍染教室、キムチの素作り 他	6
計			28

④太田生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ハウスバンドで作るバッグ 簡単おせち料理教室 移動研修　他	5
楽　ら　く　学　級	健康な身体作りを通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	体組成測定、ストレッチ 他	6
高　齢　者　学　級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	布ぞうり作り、移動研修 他	4
レ　ッ　ツ　ト　ラ　イ　講　座	「何でも見てやろう、何にでもトライしてみよう」という学習意欲を醸成していただくため、様々な分野の体験型・見学型講座を提供する。	スマホ教室、工場見学、図書館探検、ドローン体験 他	6
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	クラフトバンドで作る小物、パッチワーク　他	5
計			27

⑤大甕生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	茶道教室、チーズ作り、フラワーアレンジメント教室　他	5
は　つ　ら　つ　学　級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ストレッチ教室、報徳講座、健康体操教室　他	4
う　ま　い　生　き　方　講　座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	コーヒー教室　そば打ち教室　他	3
も　の　づ　く　り　講　座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	藍染教室、一閑張り教室、つまみ細工作り　他	8
計			20

⑥高平生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	メイクアップ講座、料理講座	2
子　育　て　講　座	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	英語体験、体操、 野菜収穫体験　他	4
高　平　成　人　講　座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	歴史講座、福島第一原子力発電所見学、料理講座	3
高平バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	フラワーアレンジ、体操 他	6
計			15

⑦石神生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
石　神　女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	みそ作り、夏・冬のスイーツ作り　他	4
石神しあわせ学級 （高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室、ロボットテストフィード見学　他	5
ふ　る　里　味　塾	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	みそ作り、辛味噌作り キムチの素作り　他	7
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	藍染め体験、木工体験　他	5
石神親子バラエティ講座	親子で主体的に学習できる場を提供し、体験をとおして知識と教養を高めることを目的とする。	流しそうめん、ミニ門松作り　他	4
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	飯館村の史跡を訪ねる、石神トロッコ軌道の記憶　他	4
計			31

⑧ひがし生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	スポーツ教室、教養講座 健康料理づくり　他	5
しらゆり学級 （高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	交通安全教室、 健康講座、教養講座　他	7
うまいもの講座	衣食住に役立つもの作りを体験し、創意工夫を凝らした暮らしづくりをめざす。	季節の料理 小物づくり　他	8
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	健康体操	7
ゆ　る　育　講　座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	フラワーアレンジメント、ヒップホップ、料理	3
計			30

⑨ひばり生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	予定回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	３Ｂ体操教室 キムチの素作り教室　他	6
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	音楽コンサート、樹木天然記念物巡り、稲穂飾り　他	6
人生１００年時代の学び直し講座	次世代型社会を皆で考え、実現していく講座。世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に生かしていくことを目的とする。	健康講座 移動講座（工場見学、特別支援学校訪問）　他	5
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	一閑張教室、切り絵教室	6
計			23

⑩生涯学習センター（共通）

事　業　名	事　業　目　的	配　信　内　容	
生涯学習チャンネル配信事業	みなみそうまチャンネルで生涯学習講座を配信し、いつでも、どこでも、誰でも自ら学ぶ楽しさを実感することができることを目的とする。	・おうちヨガ ・体操 ・工作 ・料理　他	
計		動画配信予定件数	12

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事　業　名	内　　容	実　施　時　期	予定回数
粘土細工教室	パン粘土を使い、インテリアとしての小物づくりを行う。	月１回６月～１月	8
計			8

②鹿島生涯学習センター

事　業　名	内　　容	実　施　時　期	予定回数
かしまヨガ教室	ヨガを学ぶ	月１回（第４火曜日）６月～11 月	6
計			6

③原町生涯学習センター

事　業　名	内　　容	実　施　時　期	予定回数
ペン習字教室	文字の書き方を基礎から学ぶ	月２回（第２・４火曜日）	20
韓国語講座	韓国語の読み書きを基礎から学ぶ	月２回（第１・３金曜日）	20
計			40

④太田生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	予定回数
太田ピクルス倶楽部	季節の野菜で漬物を作る	月１回（第４水曜日）	12
計			12

⑤大甕生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	予定回数
おおみか音楽レクリエーション教室	音楽にあわせて歌ったり、体操をする	月１回（第１木曜日）	10
計			10

⑥高平生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	予定回数
タカヒラフィットネス	ヨガ、ピラティス、体幹トレーニング、筋力トレーニングなど月ごとにトレーニングメニューを変え、運動機能を高める	月１回（第２日曜日）	12
計			12

⑦石神生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	予定回数
石神アクセサリー教室	ドライフラワーをレジン加工して様々なアクセサリーを作ります	月１回（第３水曜日）	10
はじめてのパソコン教室	日常を楽しむためにパソコンを基礎から学びます	月２回（第２・４水曜日）	24
石神健康フラダンス教室	踊りを楽しみながらフラダンスをとおして健康も目指す	月２回（第２・４水曜日）	24
計			58

⑧ひがし生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	予定回数
初級者陶芸教室	陶芸を基礎から学ぶ	月２回（第２・４木曜日）	20
エッグアート教室	卵の殻を利用した小物づくり	偶数月（第２木曜日）	6
計			26

⑨ひばり生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	予定回数
筆ペン教室（昼の部）	筆ペンを使った書き方を基礎から学ぶ	月２回（第２、４金曜日）	21
筆ペン教室（夜の部）	筆ペンを使った書き方を基礎から学ぶ	月２回（第１、３火曜日）	22
計			43

◆その他の事業（大会、展示会等）　（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1	1	1	1	8
パークゴルフ大会							2			2
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)				1			2			3
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業				1	1	1				3
夏まつり								1		1
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会		2								2
交流会・作品展				1				2		3
計	－	3	1	4	2	3	5	5	1	24

◆社会教育団体の育成等　（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体				1		2				3
青年団体										－
若妻団体										－
婦人団体			1	1		1		2		5
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体				1				3		4
計	－	2	1	4	－	4	1	6	－	18

◆その他の社会教育関係団体（事務局設置）　（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区行政区長会			○	○	○	○	○			5
計	－	－	3	3	3	3	3	－	－	15

（2）令和７年度事業実施状況

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおし、自ら学ぶ楽しさを実感することができるとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	実施回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習する。	春の寄せ植え教室、トールペイント、茶道教室　他	5
うきふね学級（高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	報徳講座、健康講話、移動研修　他	5
バラエティ講座	市民が生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	そば打ち、陶芸講座、味噌作り　他	8
健康いきいき講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康な身体づくりを目指す。	ZUMBA、バランスボールエクササイズ　他	3
一閑張り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座として開催する。	小物入れ作り	3
計			24

②鹿島生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	実施回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	寄せ植え教室、味噌づくり教室　他	5
ひこばえ学級（高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	防災教室、健康体操教室他	4
絵手紙講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙制作	5
パン・洋菓子講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン・洋菓子作り	6
健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	季節の料理	3
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	藍染め体験、ビーズアクセサリー教室　他	3
計			26

③原町生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	実施回数
成　人　大　学 （生涯学習共通事業）	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	方言学、生物学、コンサート、健康講話、社会学、歴史学　他	10
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	防災講座、ポーセラーツ、健康教室　他	7
さ わ や か 学 級 （高 齢 者 学 級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	寄せ植え、絵手紙、 パン粘土　他	3
バ ラ エ テ ィ 講 座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	お箏教室、キムチの素作り、絵手紙教室　他	6
計			26

④太田生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	実施回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ハウスバンドで作るバッグ クリスマスツリーのタペストリー、おせち料理 他	6
楽　ら　く　学　級	健康な身体作りを通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ニュースポーツ 体の健康について　他	6
高　齢　者　学　級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	クラフトバンドで作るかご、小物入れ	4
レ ッ ツ ト ラ イ 講 座	「何でも見てやろう、何にでもトライしてみよう」という学習意欲を醸成していただくため、様々な分野の体験型・見学型講座を提供する。	図書館探検、市内工場見学 簡単スマホ教室、市議会傍聴	5
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ＰＰバンドで作る初夏のバッグ、秋のバッグ	5
計			26

⑤大甕生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	実施回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	茶道教室、お料理教室、 お正月いけ花教室、和紙ひな人形作り　他	5
は つ ら つ 学 級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ほぐしストレッチ、音楽レクリエーション教室　他	5
う ま い 生 き 方 講 座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	陶芸教室、コーヒー教室、 そば打ち教室　他	4
も の づ く り 講 座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	多肉植物寄せ植え、そば打ち教室、一閑張り教室　他	7
計			21

⑥高平生涯学習センター

事　業　名	事　業　目　的	主な内容	実施回数
女　性　学　級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	浴衣着付け、クリスマススワッグ作り体験、パーソナルカラー講座	4
子　育　て　広　場	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	英語体験、体操、野菜収穫体験、味噌づくり体験　他	5
高 平 成 人 講 座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	歴史講座、福島第一原子力発電所見学、そば粉を活用した料理講座	3

バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	お灸体験、おせち料理、トールペイント体験	3
計			15

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
石神女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	アイアンフレームのフラワーインテリア、蝶々のブローチ作り、みそ作り　他	4
石神しあわせ学級（高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室　他	2
ふる里味塾講座	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	みそ作り、辛味噌作り キムチの素作り、おうちで作るロールケーキ　他	7
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	王冠で作るアンティークハロウィン、はじめてのパソコン講座　他	5
石神親子バラエティ講座	親子で主体的に学習できる場を提供し、体験をとおして知識と教養を高めることを目的とする。	流しそうめん体験、ミニ門松作り　他	4
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	相馬家霊堂（同慶寺）、陸軍飛行場跡と遺跡巡り　他	4
計			26

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	教養講座、健康講座、移動研修　他	5
しらゆり学級（高齢者学級）	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康講座、移動研修　他	7
うまいもの講座	衣食住に役立つもの作りを体験し、創意工夫を凝らした暮らしづくりをめざす。	パッチワーク 季節の料理　他	8
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	楽しくストレッチと歩き方の確認をしよう	7
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	エッグアート、親子でヒップホップ、親子で簡単おやつクッキング　他	3
計			30

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	絵手紙教室、キムチの素作り教室、報徳移動教室　他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	フルートミニコンサート、健康講話、稲穂飾り作り教室　他	6
人生100年時代の学び直し講座	世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に生かしていく事を目的とする。	いきいき血管講座、廃炉資料館見学、相馬農業高校訪問　等	5
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	筆ペン教室、こんにゃく作り教室、味噌作り教室　等	6
計			22

⑩生涯学習センター（共通）

事　業　名	事　業　目　的	配　信　タ　イ　ト　ル	
生涯学習チャンネル配信事業	みなみそうまチャンネルで生涯学習講座を配信し、コロナ禍の中でも自ら学ぶ楽しさを実感することができることを目的とする。	はじめてのフォニックス～英語の読み書きを学ぼう～IとPの発音編	
		きゅうりで簡単に韓国風の漬物を作ろう	
		マシュマロアイスクリームの作り方	
		地域の家庭料理「きゅうりの佃煮」の作り方	
		誰でもできる下半身強化トレーニング	
		タオルを使った血流改善ストレッチ	
		はじめてのフォニックス～英語の読み書きを学ぼう～KとNの発音編	
		毛糸で編まずにニット帽キーホルダーの作り方	
		木製の丸型のミニチュアのお花台を作ろう	
		かんたんに出来る竹細工の花入れを作ろう	
		セラピストが教えるシンプルハンドマッサージ（肘～肩編）	
		ひな祭りの家庭料理「おし寿司」の作り方	
		家庭でできる美味しいコーヒーの淹れ方	
計		動画配信件数	13

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
小高歌声教室	ギター伴奏で歌を学ぶ	月１回（第４木曜日）６月～３月	2
計			2

②鹿島生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
ヨガ教室	ヨガを学ぶ	６月～11 月（月２回第２・４火曜日）	10
計			10

③原町生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
ペン習字教室	ペン習字を基礎から学ぶ	月２回（第２・４火曜日）	20
韓国語教室	韓国語を基礎から学ぶ	月２回（第１・３金曜日）	16
計			36

④太田生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
太田ピクルス倶楽部	季節の野菜で漬物を作る	月１回（第４水曜日）	10
計			10

⑤大甕生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
ヨ　ガ　教　室	ヨガを学ぶ	月２回（第１・３月曜日）４月～3月	24
計			24

⑥高平生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
タカヒラフィットネス	ヨガ、ピラティス、体幹トレーニング、筋力トレーニングなど月ごとにトレーニングメニューを変え、運動機能を高める	月１回（第２日曜日）	9
計			9

⑦石神生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
石神健康フラダンス教室	踊りを楽しみながらフラダンスをとおして健康も目指す	月２回（第２・４水曜日）	24
石神ズンバ教室	ラテン系音楽のエクササイズダンス	月２回（第２・４木曜日）	24
計			48

⑧ひがし生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
初級者陶芸教室	陶芸の基礎を活かした作品づくり	月２回（第２・４木曜日）	21
計			21

⑨ひばり生涯学習センター

事　業　名	内　容	実　施　時　期	実施回数
筆ペン教室	筆ペンを使った書き方を基礎から学ぶ	月２回（第１、３火曜日）	21
計			21

◆その他の事業（大会、展示会等）　（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1		1	1	7
パークゴルフ大会							2			2
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)							1			1
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業				1	1	1				3
夏まつり								1		1
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会		2								2
交流会・作品展								2		2
復興支援コンサート										－
計	－	3	1	2	2	3	3	5	1	20

◆社会教育団体の育成　（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体				1		2				3
青年団体										－
若妻団体										－
婦人団体			1	1		1		2		5
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体				1				3		4
計	－	2	1	4	－	4	1	6	－	18

◆その他の社会教育団体の育成等（事務局設置）　（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区区長会			○	○	○	○	○			5
計	－	－	3	3	3	3	3	－	－	15

（3）令和７年度生涯学習施設の利用状況

小高区

区　　分	生涯学習センター	就業改善センター	コミュニティセンター	計
利　用　件　数	655	0	0	655
利　用　人　数	13,566	0	0	13,566

鹿島区

区　　分	生涯学習センター	農村環境改善センター	計
利　用　件　数	691	797	1,488
利　用　人　数	12,709	19,459	32,168

原町区

区　　分	原　町	太　田	大　甕	高　平	石　神	ひがし	ひばり	計
利　用　件　数	1,609	448	556	1,158	1,214	1,207	1,765	7,957
利　用　人　数	25,374	6,937	5,920	12,333	13,249	13,429	16,553	93,795

区　　分	原町生涯学習センター トレーニング室	労働福祉会館
利　用　件　数	－	736
利　用　人　数	15,143	9,456

※小高区の生涯学習施設の内、小高生涯学習センター「浮舟文化会館」は、平成 25 年 12 月 16 日に再開。
※南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンターについては、平成 28 年 3 月 31 日まで閉鎖。

３　南相馬市生涯学習施設一覧

小高区

施　設　名	所　在　地	建物構造	施　設　の　概　要
小　高　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー 「浮　舟　文　化　会　館」	小高区本町二丁目 89-1 ℡４４－３０４９	ＲＣ造２Ｆ 建物 2,463.77 ㎡ （1F 1,954.33 ㎡） （2F　509.44 ㎡）	ホール 298 席 第１研修室（91.59 ㎡） 第２研修室（91.59 ㎡） 第３研修室（15.91 ㎡） 第１和室［楽屋］（10 帖） 第２和室［茶室］（20 帖） 多目的室（89.04 ㎡） 創作室（64.229 ㎡） 小高図書館（161.2 ㎡） 埴谷・島尾記念文学資料館（98.54 ㎡） 資料収蔵庫（119.584 ㎡） 事務室（89.04 ㎡）
南相馬市就業改善センター	小高区飯崎字北原 125-1 ℡４４－３０４９ （小高生涯学習センター）	ＲＣ造２Ｆ 建物　544.32 ㎡ （1F　317.52 ㎡） （2F　226.80 ㎡）	事務室（22.68 ㎡） 健康相談室（22.68 ㎡） 娯楽室（22.50 ㎡） 他産業就業研修室（57.33 ㎡） 生活改善実習室（56.70 ㎡） 農業経営研修室（136.08 ㎡） 就業改善相談室（45.36 ㎡）
小高コミュニティセンター	小高区蛯沢字藤沼 50-1 ℡４４－３０４９ （小高生涯学習センター）	Ｒ造１Ｆ 建物　276.62 ㎡	多目的室（81.90 ㎡） 調理室（23.94 ㎡） 会議室（36.00 ㎡） 図書資料室（21.00 ㎡）

鹿島区

施　設　名	所　在　地	建物構造	施　設　の　概　要
鹿　島　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	鹿島区寺内字迎田 22-1 ℡４６－５１１６	ＲＣ造一部４Ｆ 建物　2,008.49 ㎡	ホール　504 席 研修室［控室］（15 ㎡） 研修室［リハーサル室］（50 ㎡） 和室（8 帖） 鹿島図書館（120 ㎡） ＩＴ室（48 ㎡） 相談室（23.12 ㎡） 事務室（51.87 ㎡）
鹿　島　農　村　環　境 改　善　セ　ン　タ　ー	鹿島区寺内字迎田 22 ℡４６－１０４０	ＲＣ造１Ｆ 建物　998 ㎡	大会議室（360 ㎡） 農事研修室（80 ㎡） 農産加工実習室（68 ㎡） 営農相談室（24 ㎡） 生活改善室（64 ㎡） 小会議室（48 ㎡） 事務室（15 ㎡）

原町区

施　設　名	所　在　地	建物構造	施　設　の　概　要
原　町　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー 「サンライフ南相馬」	原町区小川町 322－1 ℡２４－５３２２	ＲＣ造一部２Ｆ 1,889.47 ㎡	集会室　400 席（補助椅子 103 席含む） 会議室（66.5 ㎡） 研修室（66.5 ㎡） 和室(18 帖) 講習室１(54.0 ㎡) 講習室２(24.6 ㎡) 料理実習室（54.0 ㎡） 事務室
太　田　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	原町区益田字塩釜 26 ℡２２－３８２１	ＲＣ造１Ｆ 621.21 ㎡	和室研修室（87 ㎡） 大会議室（153 ㎡） 研修室（88 ㎡） 料理実習室（44 ㎡） 図書談話コーナー（76 ㎡） 資料室、事務室
大　甕　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	原町区大甕字十日迫 26 ℡２２－３８１０	ＲＣ造１Ｆ 598.44 ㎡	会議室［和室］(42 帖) 大会議室（149 ㎡） 会議室兼研修室（96 ㎡） 料理実習室（45 ㎡） 資料室（18 ㎡） 図書談話コーナー（22 ㎡） 事務室
高　平　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	原町区下高平寺前 155-1 ℡２２－２３０２	ＲＣ造１Ｆ 621.50 ㎡	大会議室（152 ㎡） 研修室［和室］(40 帖) 研修室［洋室］(88 ㎡) 料理実習室（48 ㎡） 図書談話コーナー（88 ㎡） 事務室
石　神　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	原町区石神字坂下 29 ℡２２－３４２１	ＲＣ造１Ｆ 617.28 ㎡ (建築年Ｓ５４年)	大会議室（182 ㎡） 研修室［和室］(48 帖) 研修室［洋室］(72 ㎡) 料理実習室（49 ㎡） 図書談話コーナー（31 ㎡） 事務室（54 ㎡）
ひ　が　し　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	原町区高見町二丁目 30-1 ℡２４－１４９０	ＲＣ造１Ｆ 497.96 ㎡	和室会議室（102.85 ㎡） 研修室［洋室］(96.5 ㎡) 料理実習室（43.5 ㎡） 陶芸室（119.25 ㎡） 図書談話コーナー（44.1 ㎡） 事務室
ひ　ば　り　生　涯 学　習　セ　ン　タ　ー	原町区本陣前三丁目 60-2 ℡２５－３５７７	鉄骨造１Ｆ 860.00 ㎡	エントランスホール（78 ㎡） メディアホール（60 ㎡） 学習室［和室］(99 ㎡) ボランティア室（30 ㎡） 学習室（72 ㎡） 多目的ホール（204 ㎡） 調理室（36 ㎡） 創作室（69.30 ㎡） 事務室
南　相　馬　市 労　働　福　祉　会　館	原町区北町 537 ℡２４－５３２２ (原町生涯学習センター)	鉄骨造２Ｆ 458.28 ㎡	会議室１(104.6 ㎡) 会議室２(81.2 ㎡) 和室１(10 帖) 和室２(10 帖)

4　図書館関係

（1）施設概要

施　設　名	所　在　地	建物構造	施　設　の　概　要
中　央　図　書　館 市　民　情　報 交　流　セ　ン　タ　ー	原町区旭町二丁目 7-1 ℡２３－７７８９ ℡２３－７７９６	ＲＣ一部 鉄骨造４Ｆ	（中央図書館） １階一般開架室（1,227 ㎡） 事務室（108 ㎡） １階児童開架室（297 ㎡） ２階一般開架室（740 ㎡） １～３階書庫（477 ㎡） 研修室（77.6 ㎡） 閲覧席　620 席 蔵書収容能力　597,000 点
			（市民情報交流センター） マルチメディアホール（180 ㎡） 大会議室（88 ㎡）　交流広場（173 ㎡） 中会議室（54 ㎡）　生涯学習広場（66 ㎡） 小会議室（31 ㎡）　事務室（27.5 ㎡） 総合案内（62 ㎡） クラフトルーム（78.6 ㎡）
小　高　図　書　館 （小高生涯学習センター「浮舟文化会館」内）	小高区本町二丁目 89-1 ℡６６－１０１１	ＲＣ造	開架室（161 ㎡） 閲覧席　23 席 蔵書収容能力　38,000 点
鹿　島　図　書　館 （鹿島生涯学習センター内）	鹿島区寺内字迎田 22-1 ℡４６－５１１６	ＲＣ造	開架室（120 ㎡） 閲覧席　13 席 蔵書収容能力　19,000 点

（2）開館日及び開館時間　　（令和８年４月１日現在）

施　設　名	開館時間		休館日
中　央　図　書　館	火曜日～金曜日	９時３０分～２０時００分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
	土・日・祝日	９時３０分～１７時００分	
小　高　図　書　館	全　日	１０時００分～１７時００分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
鹿　島　図　書　館	全　日	１０時００分～１７時００分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
市　民　情　報 交　流　セ　ン　タ　ー	火曜日～金曜日	８時３０分～２０時００分 （※９時００分～２０時００分）	毎週月曜日 年末年始
	土・日・祝日	８時３０分～１７時００分 （※９時００分～１７時００分）	

※センター施設の使用時間

（３）所蔵資料の現況　　（令和８年３月31日現在）

資料区分	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
一般図書	231,565 点	13,364 点	9,097 点	1,934 点	255,960 点
児童図書	64,546 点	7,606 点	5,301 点	3,087 点	80,540 点
郷土資料	14,459 点	552 点	353 点	2 点	15,366 点
参考資料	3,115 点	33 点	36 点	0 点	3,184 点
洋書	2,272 点	1 点	1 点	0 点	2,274 点
紙芝居	2,038 点	540 点	107 点	207 点	2,892 点
ＣＤ・ＤＶＤ等	13,984 点	585 点	263 点	329 点	15,161 点
雑　　誌	22,185 点	444 点	503 点	123 点	23,255 点
おもちゃ	363 点	2 点	0 点	1 点	366 点
絵　　画	266 点	6 点	2 点	9 点	283 点
地図資料	291 点	0 点	0 点	0 点	291 点
デイジー (録音図書)	212 点	3 点	0 点	0 点	215 点
ﾊﾟﾈﾙｼｱﾀｰ	40 点	0 点	0 点	0 点	40 点
その他	63 点	1 点	0 点	0 点	64 点
計	355,399 点	23,137 点	15,663 点	5,692 点	399,891 点

※「その他」は主に、館内で利用者に貸出している、再生機や眼鏡等の物品

（4）令和７年度図書館利用実績

・登録件数　32,889 件（団体登録を含む）

・入館者数・貸出利用人数・貸出点数

	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
入館者数	164,563 人	10,354 人	8,654 人	14,775 人	198,346 人
貸出利用人数	73,931 人	2,542 人	3,201 人	4,762 人	84,436 人
貸出点数	310,433 点	8,130 点	11,932 点	33,084 点	363,579 点

（5）令和７年度図書館利用促進事業

【1】定例事業

事業名	実施日・場所	内容	回数	対象	参加者数
ライブラリーシアター	毎月第２土曜日 マルチメディアホール	大型スクリーンで映画を楽しむとともに図書館利用促進のため映画会を開催	12 回	一般	381 人
おはなし会（市民団体主催）	毎月第３土曜日 おはなしの蔵	「絵本と童話の会」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施	12 回	３歳～小学生保護者	135 人（子ども 81 人、大人 54 人）
おはなし会（図書館主催）	毎週土曜日 おはなしの蔵	図書館職員により、読み聞かせや手あそびなどを実施	35 回	３歳～小学生保護者	460 人（子ども 254 人、大人 206 人）
おはなしのへや（市民団体主催）	毎月第２木曜日 ちいさなおはなしのへや	「ちゅうりっぷ文庫」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施	12 回	乳幼児保護者	256 人（子ども 131 人、大人 125 人）
ブックスタート	毎月１回 原町保健 ｾﾝﾀｰ	絵本をきっかけに、親子のふれあいと赤ちゃんの心と言葉の発達を手助けする事業として実施	12 回	10 か月児保護者	577 人
大人のゆったり絵本じかん	毎月１回 クラフトルーム	その月のテーマに沿った絵本を紹介しあう読書会を実施	4 回	一般	41 人

【２】こども読書週間特別企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
おすすめ本展示	4 月 23 日～ 5 月 31 日	乳幼児～高学年を対象に県立図書館の司書が厳選した子ども向けブックリストに掲載しているおすすめの絵本や物語を展示	児童	－
赤ちゃんの手形アート教室	4 月 27 日	赤ちゃんの手形・足形を取ったアート絵本を作るイベントを実施。あわせておはなし会も実施	乳幼児 保護者	17 組 (46 人)

【３】夏休み特別企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
毎日おはなし会	7 月 19 日～ 8 月 21 日	夏休み期間、毎日おはなし会を実施（計 26 回）	児童	474 人 （子ども 276 人、大人 198 人）
手づくり絵本コンテスト	7 月 19 日～ 10 月 7 日	児童（小学生）までを対象に手づくり絵本コンテストを開催 大賞・特別賞は印刷、製本し、公共図書館、学校図書館に所蔵	児童	20 作品 （16 人）
科学あそびワークショップキミも挑戦しよう！回る不思議をサイエンス！	7 月 20 日	科学読み物研究会所属の講師を招き、「キミも挑戦しよう！回る不思議をサイエンス！」と題した体験型の科学実験・観察ワークショップを開催	児童	89 人
小学生司書体験！	8 月 1 日、2 日	小学４年から６年を対象として、図書館司書の仕事を体験するイベントを開催	児童	7 人
子どもえいが会	8 月 9 日、23 日	子ども図書館で子ども向け映画会を実施 ９日：ふるさと日本の昔ばなし 怪談「番町皿屋敷」ほか ２３日：すみっこぐらし　ツギハギ工場のふしぎなコ	児童	９日：6 人 23 日：44 人
２０２５夏のおすすめ本	8 月 1 日 ～9 月 30 日	図書館職員のおすすめ本を紹介文と一緒に展示	一般	―
平和のおはなし会	8 月 16 日	戦争や平和をテーマとしたおはなし会を実施 （絵本と童話の会が読み手）	児童 一般	20 人 （子ども 9 人、大人 11 人）
絵本ライブ in 図書館	8 月 23 日	絵本専門士のいる団体「にじのかなた」を講師に、ウクレレやカホンなどを用いた絵本の読み聞かせや参加型の歌のプログラムを含めたおはなし会（絵本ライブ）を実施	児童 一般	63 人 （子ども 26 人、大人 37 人）
黒川みつひろさんワークショップ「恐竜の絵を描こう！」	8 月 31 日	恐竜の絵を描くワークショップと、本物の化石の観察、じゃんけん大会で原画をプレゼントするイベントを実施	児童	48 人 （子ども 31 人、大人 17 人）

【４】読書週間企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
Out of kidzania ふくしま相双 2025	10 月 25 日、26 日	同事業の仕事体験場所の１か所として、図書館司書の体験を行う事業を開催	児童	31 人
古本市	11 月 1 日、2 日	保存年限を超過した雑誌などの除籍資料を利用者に配布する古本市を実施 公共施設向け事前閲覧会 10 月 29 日、10 月 30 日	一般 児童	約 550 人

【５】冬休み特別企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
子どもえいが会	12 月 27 日	子ども図書館で子ども向け映画会を実施 ふしぎ駄菓子屋銭天堂　１１巻/歌う銭天堂　108 話～111 話	児童	37 人

【６】その他企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
図書館バッグ教室	6 月 28 日	布に書けるペンやクレヨン等を使用し、自分だけの図書館バッグを作るイベントを開催。あわせておはなし会も実施	児童	21 人
親子点字体験	11 月 22 日	点字資料の専門家であり、自身も視覚障がい者である福島県点字図書館職員を講師に、点字に対する説明と点字体験を実施	児童	9 人
南相馬ふるさと検定第４回公認検定	11 月 29 日	NPO 法人はらまちクラブとの共催で、南相馬ふるさと検定第４回公認検定を開催	一般	23 人
わたりむつこ・子ども読書応援事業「手づくり絵本でおはなし会」	12 月 14 日	子ども達の創作意欲や想像力を伝えるため、第２回手づくり絵本コンテストで受賞した８作品の読み聞かせを行うおはなし会を開催	児童 一般	18 人（子ども 9 人、大人 9 人）
手話で楽しむおはなし会	12 月 21 日	手話サークル「耳通口（みみずく）」と司書による、手話がついた絵本の読み聞かせを開催	児童 一般	23 人（子ども 8 人、大人 15 人）
ライブラリーコンサート～物語と音楽の世界～	1 月 31 日	当市在住の出演者による朗読とピアノ演奏を組み合わせたコンサートを開催	一般	100 人
第 20 回図書館連続講演会「図書館が日本を救う～図書館の可能性」	2 月 8 日	元浦安市立中央図書館長であり、日本図書館協会理事・事務次長も務めた常世田良氏を講師に招き、課題解決型図書館の可能性と、課題解決型図書館がこれからの自己決定、自己	一般	30 人

		判断を求められる社会にもたらす影響、その可能性について講演会を実施		
谷川賢作「ライブラリーコンサート」	2月11日	図書館の更なる利用促進を図るため、また施設の多様な活用を目的に、作曲家でありピアニスト谷川賢作氏によるピアノと朗読のコンサートを開催	一般 児童	100人
ボランティア向け読み聞かせ講座－子どもの心に不思議の種をまく　科学の本の読み聞かせ－	2月21日	科学読み物研究会所属の講師を招き、「子どもの心に不思議の種をまく科学の本の読み聞かせ」と題して、科学の本の魅力や楽しみ方、読み聞かせにおすすめの科学絵本、科学絵本を組み込んだおはなし会のプログラム作り等、読み聞かせについての手法や実践方法について学ぶ講座を開催	一般	26人
Mr.ジェリーのバイリンガルおはなし会	2月28日	絵本作家・翻訳家・絵本講師のジェリー・マーティン氏を講師に、英語と日本語のおはなし会を開催	児童	58人（子ども28人、大人30人）
Mr.ジェリーの絵本講座-絵本『てんこうせいガーきたひ』ができるまで-	2月28日	絵本作家・翻訳家・絵本講師のジェリー・マーティン氏を講師に、絵本が出来る過程を学べる講座を開催	一般	11人（大人10人、子ども1人）
家族いっしょにわらべうた	3月20日	わらべうたうたい坂野知恵氏による親子で楽しむわらべ歌のイベントを開催	児童 一般	39人（子ども15人、大人24人）
イチからつくる、錫のデザートスプーン溶かして流して叩いてつくろう	3月28日	東京藝術大学OB塚田尚三氏・伊良原満美氏による錫を利用し、デザートスプーンを作るワークショップ（小学5年生以上対象）を開催	一般	14人

（6）企画展示

	区　分	内　　容	
一般企画	通年企画	・東日本大震災 ・映画化、ドラマ化、原作本特集 ・大人の嗜み ・視覚・聴覚障がい資料 ・いま、輝ける自分 ・コメディカル ・ロボット	・原発事故 ・これからの南相馬を考える ・闘病記文庫 ・冠婚葬祭 ・デイジー図書（録音図書） ・資格試験 ・直木賞・芥川賞・本屋大賞
	タイムリー企画	・世界自閉症啓発デー（4月） ・苦手克服クエスト（4月～5月） ・素敵な科学技術の世界（4月～5月） ・相馬野馬追（5月） ・オタクって最強だ（6月～7月） ・ひとりきままに（6月～7月） ・車の本棚（6月～7月） ・やなせたかし（6月～9月） ・新書（7月～8月） ・戦争と平和（8月）	・小泉八雲（10月～3月） ・クリスマス（12月） ・東洋医学で整える（12月～1月） ・暦いろいろ（12月～1月） ・世界珍百景（12月～1月） ・大河ドラマ豊臣兄弟！（1月～） ・ライブラリコンサート（2月）

		・おすすめ本（8月～9月） ・お米のはなし（8月～9月） ・山（8月～9月） ・いざ、国勢調査（9月） ・認知症啓発週間（9月） ・原町第三中学校総合学習(9月) ・ビブリオバトル相双地区予選会（9月） ・書くと描く（10月～11月） ・今日もあなたのそばにいるよ「石」（10月～11月） ・読書の秋名作チャレンジ（10 月～11月）	・3.8 国際女性デー（2 月～3月） ・3月 3 日はうさぎの日（2 月～3 月） ・歩いて、走って、どこまでも（2 月～3 月） ・目が合ったら借りてください（2 月～3 月） ・東日本大震災から 15 年 あの日を振り返る（2 月～3月）
児童企画	通年企画	・SDG s ・本となかよし ・バリアフリー図書	
	タイムリー企画	・春（3 月～4 月） ・卒業・入学（3 月～4 月） ・こどもの読書週間（4 月～5 月） ・こいのぼり（4 月～5 月） ・運動会（4 月～5 月） ・お母さん（4 月～5 月） ・Nandary（ラジオ）で紹介された本（5 月～） ・雨（5 月～6 月） ・歯と口の健康週間（5 月～6 月） ・お父さん（5 月～6 月） ・七夕（6 月～7 月） ・夏（7 月～8 月） ・戦争・平和（7 月～8 月） ・自由研究・工作（7 月～8 月） ・読書感想文・作文・課題図書（7 月～8 月） ・学年別司書が選んだおすすめ本（6 月～8 月） ・恐竜の本（7 月～8 月） ・小学生司書おすすめ本(8 月～9 月) ・絵本づくりに役立つ本(7 月～9 月) ・月（8 月～9 月） ・秋（9 月～11 月） ・おじいちゃん・おばあちゃん(9 月)	・点字の本（10 月～11 月） ・ハロウィーン（9 月～10 月） ・読書週間（10 月～11 月） ・手作り絵本コンテスト結果（11 月～12 月） ・手話の本（12 月～1 月） ・冬（11 月～2 月） ・クリスマス（11 月～12 月） ・お正月・干支（12 月～1 月） ・手話の本（12 月～1 月） ・節分・鬼（1 月～2 月） ・バレンタイン・チョコ（1 月～2 月） ・科学えほんのおすすめ(2 月～3 月) ・ひなまつり（2 月～3 月） ・震災・防災（2 月～3 月） ・Mr.ジェリーの絵本（2 月～3 月） ・卒業・入学（3 月～4 月） ・わらべうたの本(3 月～4 月) ・絵本週間（3 月～4 月） ・春（3 月～5 月） ・ゴッホの本（3 月～5 月）

（７）学校図書館支援事業

①事業目的

小中学校の学校図書館における自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するために、各学校に配置された学校司書と連携して学校図書館の整備や利用促進を図った。

また、学校図書館サポート職員２名を置き、資料の搬送に係る連絡調整、学校図書館の巡回、学校図書館整備など業務の援助、研修等を行った。

②学校司書数（学校教育課所属）

14 名

③勤務校及び勤務日

【小学校】

学　校　名	勤　務　日
原町第一小学校	月・火・水・木・金
原町第二小学校	月・火・水・木・金
原町第三小学校	月・火・水・木・金
高 平 小 学 校	月・火・水・木・金
大 甕 小 学 校	月・火・水・木・金
太 田 小 学 校	月・火・水・木・金
石神第一小学校	月・火・水・木・金
石神第二小学校	月・火・水・木・金
鹿 島 小 学 校	月・火・水・木・金
上真野小学校	月・火・水・木・金
小 高 小 学 校	月・火・水・木・金

【中学校】

学　校　名	勤　務　日
原町第一中学校	月・火・水
原町第二中学校	月・火・水
原町第三中学校	木・金
石 神 中 学 校	木・金
鹿 島 中 学 校	月・火・水・木・金
小 高 中 学 校	木・金

※中学校の学校司書専任化のモデル事業として、鹿島中を週５日勤務とし、人員の不足分は原三中に週二回中央図書館の職員を派遣して補った。

④業務内容

・図書館資料の受入、装備、貸出
・レファレンスサービス
・資料選書の補助
・図書委員会活動の支援
・図書館情報等の広報活動
・予約、リクエスト
・利用案内の作成、掲示
・貸出統計、利用統計
・単元に基づく学習支援
・学校図書館支援事業報告書作成　など

⑤図書館からの支援
・学校司書研修の企画・実施
・外部講師による研修の企画・立案
・県立図書館などで開催される研修、先進地視察の図書館職員同行
・学校司書欠員の際、図書館職員の派遣
・学校図書館支援事業報告書の作成
・学校図書館整備の援助
・資料装備　など

⑥図書館から学校図書館への団体貸出

	令和７年度（令和６年度）
小学校	13,932 冊（13,435 冊）
中学校	3,055 冊（2,744 冊）

（８）移動図書館管理運営事業

移動図書館車を運行して、市民が身近なところで等しく図書館を利用できるアウトリーチサービスを実施した。

【１】運行場所　　公営住宅、幼稚園・保育園、図書館まで距離のある地域の拠点施設等

【２】運行日　　週４日（火曜日～金曜日）

【３】巡回日程

No.	区分	名称	巡回予定	区分別
1	幼稚園・保育園・こども園	大甕幼稚園（原町）	第2水曜日　10:00 ～ 11:00	17か所
2		青葉幼稚園（原町）	第2火曜日　13:00 ～ 13:30	
3		原町みなみこども園（原町）	第2火曜日　10:00 ～ 11:00	
4		さゆり幼保園（原町）	第4金曜日　10:00 ～ 11:00	
5		よつば保育園（原町）	第1火曜日　10:00 ～ 11:00	
6		原町聖愛こども園（原町）	第2金曜日　10:00 ～ 11:00	
7		聖愛ちいろば園（原町）	第2金曜日　11:00 ～ 11:30	
8		原町子育て支援センター（原町）	第4木曜日　10:30 ～ 11:30	
9		鹿島子育て支援センター（鹿島）	第1木曜日　10:30 ～ 11:30	
10		鹿島幼稚園（鹿島）	第3木曜日　10:00 ～ 11:00	
11		おだか認定こども園（小高）	第1水曜日　10:00 ～ 11:00	
12		かみまの保育園（鹿島）	第4火曜日　10:00 ～ 11:00	
13		かしま保育園（鹿島）	第4水曜日　10:00 ～ 11:00	
14		高平幼稚園（原町）	第2木曜日　10:00 ～ 11:00	
15		みなみそうまペンギン国際幼児園（原町）	第3水曜日　10:00 ～ 11:00	
16		※までいの里のこども園（飯舘）	第3火曜日　10:30 ～ 11:30	
17		はらまち認定こども園聖桜（原町）	第3火曜日　10:00 ～ 11:00	
18	公営住宅	西川原第一団地（鹿島）	第2・第4木曜日　14:30 ～ 15:15	10か所
19		西川原第二団地（鹿島）	第2・第4木曜日　15:15 ～ 16:00	
20		西町団地（鹿島）	第2・第4木曜日　13:30 ～ 14:15	
21		萱浜団地（原町）	第2・第4火曜日　14:30 ～ 15:15	
22		小高上町団地（小高）	第2・第4水曜日　13:30 ～ 14:15	
23		小高東町団地（小高）	第2・第4水曜日　14:30 ～ 15:15	
24		県営上町団地（原町）	第1・第3火曜日　13:30 ～ 14:15	
25		県営牛越団地（原町）	第1・第3火曜日　14:45 ～ 15:30	
26		県営南町団地（原町）	第1・第3木曜日　13:30 ～ 14:15	
27		県営北原団地（原町）	第1・第3木曜日　14:45 ～ 15:30	
28	集会所や公共施設	※高松ホーム（原町）	第3木曜日　14:30 ～ 15:30	15か所
29		※彩りの丘（小高）	第4水曜日　10:00 ～ 10:30	
30		※いろはデイサービス（小高）	第4水曜日　10:30 ～ 11:00	
31		太田生涯学習センター（原町）	第1・第3金曜日　10:00 ～ 11:00	
32		大甕生涯学習センター（原町）	第1・第3金曜日　14:30 ～ 15:30	
33		石神生涯学習センター（原町）	第1・第3水曜日　13:30 ～ 14:15	
34		高平生涯学習センター（原町）	第1・第3水曜日　15:00 ～ 15:45	
35		※かしま交流センター（鹿島）	第2・第4木曜日　13:30 ～ 14:15	
36		※前川原体育館前（鹿島）	第2・第4木曜日　14:45 ～ 15:30	
37		※小高区サロン（小高）	第3水曜日　10:00 ～ 11:00	
38		※鹿島区福祉サービスセンター（鹿島）	第4金曜日　13:30 ～ 14:00	
39		みんなの遊び場（鹿島）	第4金曜日　14:00 ～ 15:00	
40		※すみれデイサービス（鹿島）	第4金曜日　14:00 ～ 15:00	
41		※福寿園（原町）	第3水曜日　14:00 ～ 15:00	
42		NIKOパーク（小高）	第3金曜日　14:00 ～ 15:00	
※：配本車による運行				42か所

（9）令和７年度市民情報交流センター施設使用実績

区　　分	マルチメディアホール	大会議室	中会議室	小会議室	クラフトルーム	計
申請件数	８６件	１１５件	１４３件	２１３件	７８件	６３５件
使用人数	１０，００１人					１０，００１人

（１０）令和７年度埴谷・島尾記念文学資料館事業内容

【１】収蔵資料点数

① 埴谷雄高関係資料

種　類	点　数
書　　籍	1,307 点
原　　稿	16 点
書	4 点
書　　簡	57 点
写　　真	10,000 点
蔵　　書	7,803 点
ビ デ オ	204 点
レコード	157 点
※その他	1,002 点
合計	20,550 点

②島尾敏雄関係資料

種　類	点　数
書　　籍	1,090 点
原　　稿	5 点
書	9 点
衣　　類	10 点
手紙・はがき	190 点
※その他	84 点
合計	1,388 点

③小高の人物関係資料

種　類	点　数
鈴 木 安 蔵	164 点
半 谷 清 壽	19 点
大 曲 駒 村	7 点
半 谷 絹 村	4 点
豊田君仙子	112 点
天 野 秀 延	11 点
平 田 良 衛	13 点
杉山元治郎	6 点
合計	338 点

④その他

種　類	点　数
俳句関係	413 点
そ の 他	661 点
合計	1,074 点

※その他とは、新聞記事の切り抜き等の分類できない資料

【２】入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入館者	69	61	47	89	162	48	60	127	59	81	77	102	975

【３】企画展示

① 「社会運動家　杉山元治郎－生誕１４０周年を迎えて－」

〔概　　要〕　小高教会の牧師として小高に移住後、１０年にわたり生活し、農村伝道と小高教会の新築、農村教育などに尽力した杉山元治郎の生誕１４０周年を記念して、その業績を多くの方へ周知するため、小高伝道所から資料貸与の協力を得て、企画展を開催した。

〔開催期間〕　令和７年７月２９日（火）～８月３１日（日）

〔来館者数〕　１９３人

〔展示資料〕　展示資料数１３点　（内訳）著書１０点、直筆書３点

② 「生誕９０年若松丈太郎展　丈太郎さんの足跡」

〔概　　要〕　２０２１年４月に逝去した若松丈太郎氏の生誕９０年の節目を迎え、若松氏の、詩人、高校教師、郷土史家、当文学資料館の調査員としての業績や活動について称えるとともに、それらを、市民をはじめ多くの方へ周知するため企画展を開催し、関連事業として、若松氏と関係の深い３名の講師を招き、講演会・トークイベントを開催した。

〔開催期間〕　令和７年１１月１８日（火）～令和８年２月１日（日）

〔来館者数〕　２４５人

〔展示資料〕　展示資料数１００点　（内訳）著書１９点、金子光晴詩集１点、埴谷雄高からの直筆書１点、同人誌４７点、同人誌関係資料１１点、スケッチ４点、版画５点、掲載誌１２点

〔関連事業〕　講演会・トークイベント

事 業 名　生誕９０年若松丈太郎展―丈太郎さんの足あと―

開催日時　令和８年 11 月 22 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

会　　場　小高生涯学習センター「浮舟文化会館」第１・２研修室

講　　師　澤　　正 宏　氏（福島大学名誉教授）
菅野　俊之　氏（フリーライター、元福島県立図書館総括司書）
齋 藤　　貢　氏（福島現代詩人会会長）

参加者数　３６人

内　　容　若松丈太郎氏について「詩人」、「郷土歴史研究家」、「高校教諭・詩人としての先輩」という３つの観点から、その業績を市民等へ周知するために、若松氏と関係の深い３名の講師にご講演いただき、若松氏への思いについてトークイベントを開催した。

５　文化振興関係

（１）令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事 業 目 的	事 業 内 容
芸術文化協会等事業補助金	○市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇事業主体　南相馬市芸術文化協会 ・内　　容　文化祭、情報紙発行、芸能発表大会、短歌大会、各区芸術文化協会事業の開催 ・補助金額　１，７９７千円　／　定額 ※令和元年７月１７日に小高区芸術文化協会、鹿島区文化協会、原町区芸術文化協会が統合し「南相馬市芸術文化協会」を設立したことから、南相馬市芸術文化協会へ補助金を交付。
地域文化振興助成事業補助金	○市民の芸術文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇事業主体　市内の個人又は団体 ・補 助 率　全額又は１／２以内（補助額の上限及び回数制限あり） ・対象事業 成果発表、大会出場・出品・派遣、地区文化祭、文化財保護等 ※対象事業の拡充（文化財の保護事業の範囲に「相馬地方の民謡・民踊」を追加。） ◇文化団体の成果発表事業等への助成 地区文化祭　６件、成果発表　　９件 文化財　　２件、大会出場　　２件 計　１９件
学校等市民文化会館利用支援補助金	○学校等の芸術文化及び教育活動の振興を図るため、行事等で市民文化会館を利用する学校等に対し、利用料金の一部を補助する。	◇事業主体　市内の幼稚園、保育園、小中学校、高等学校等 ・補 助 率　全額又は１／２以内（回数制限あり） ・対象経費 学校行事、部活動で市民文化会館を利用した際の施設利用料金及び附属設備利用料金 ・予定件数　８件 （学校行事３件、部活動３件、園行事２件）
ふるさと民俗芸能伝承事業	○伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「民謡・盆踊り」の伝承事業に対する講師派遣支援
文化芸術ふれあい事業	○市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動拠点とする民間団体等や市民アートサポーターと協力しながら創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。	◇アーティスト・イン・レジデンスみなみそうま２０２６ ※招へいアーティストが市内に滞在し、市にちなんだアート作品を制作・展示する。 ※市民アートサポーターや市民との交流事業を実施する。 【作品制作・展示期間】 令和８年８月～１０月の２週間程度(予定) 【制作展示場所】 市内公共施設等 【アーティスト】 ４名程度を募集決定 【交流事業】 アート作品の一般公開、トークイベント等

事　業　名	事 業 目 的	事 業 内 容
第１９回南相馬市総合美術展覧会	○美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇第１９回南相馬市総合美術展覧会の開催 ・会　　期　令和８年１１月１４日（土） ～１７日（火）予定 ・会　　場　小川町体育館 ・部　　門 一　　般：日本画・洋画・書・彫刻工芸・写真 小中学生：平面・立体作品・書・技術家庭 ◇展覧会表彰式 ◇ワークショップの実施

（２）令和７年度事業実施状況

事　業　名	事 業 目 的	事 業 内 容
芸術文化協会等事業補助金	○市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇文化芸術団体が実施する文化事業に対する補助 ≪鹿島区文化協会≫ みちのくの万葉の里短歌大会【紙上大会】 ・応 募 数　６４首 ・　賞　最優秀賞１首　優秀賞５首 芸能発表大会 ・期　　日　令和７年６月２２日（日） ・出　　演　１３団体 ・入 込 数　４５３名 鹿島区文化祭 ・期　　日　令和７年１０月２５日（土） ～２６日（日） ・会　　場　鹿島農村環境改善センター （万葉ふれあいセンター） ・展 示 数　９８１点 ・入 込 数　７４８人 鹿島区加盟団体情報紙発行 ・発 行 日　令和８年３月１日 ≪原町区芸術文化協会≫ 情報紙　芸文協だより発行 （第８６号、第８７号） 機関紙　「会報」発行（第５７号） 文化祭 ・期　　日　令和７年１１月８日（土） ～９日（日） ・会　　場　市民文化会館（ゆめはっと） ・出演者数　２００人（出展数含む） ・入 込 数　１，１２０人 ≪小高区芸術文化協会≫ 芸術文化祭 ・期　　日　令和７年１０月１１日（土） ・会　　場　浮舟文化会館（大ホール） ・出　　演　１２団体 ・入 込 数　２１０人 文芸美術作品展 ・期　　日　令和７年１０月１１日（土） ～３１日（金） ・会　　場　小高区役所（市民ギャラリー） ・出　　展　２団体

事　業　名	事 業 目 的	事 業 内 容
地域文化振興助成事業補助金	○市民の文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇文化団体の成果発表事業等へ補助 地区文化祭　　６件 成果発表　　１０件 大会出場　　１件 文化財　　１件 計１８件
学校等市民文化会館利用支援事業補助金	○市内学校の芸術文化活動を支援するため、学校行事等で市民文化会館を利用する際の利用料金の一部を補助する。	◇市民文化会館施設利用料金及び附属設備利用料金の一部を補助 学校行事　　３件 部活動　　３件 園行事　　２件 計８件
ふるさと民俗芸能伝承事業	○伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「相馬流れ山踊り」ほか伝承事業に対する講師派遣 ・石神第一小学校 「相馬盆踊り（相馬盆唄）」 参加生徒　延べ　７２人
文化芸術ふれあい事業	○市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動の拠点とする民間団体等と協力しながら、創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。	◇トークイベント 【プレイバック AIR みなみそうま群青小高】 令和６年度に開催したアーティスト・イン・レジデンスの参加アーティストと市民アートサポーターによるトークイベントを開催した。 また、トークイベントは、南相馬市 YouTube でアーカイブにて配信した。 期　日　令和７年６月７日（土） 会　場　小高交流センター 参加者　令和６年度参加アーティスト３名 市民アートサポーター３名 ◇市民アートサポーターとアーティストの交流 ※市民アートサポーターとアーティストが交流しながら作品制作、展示等を行う。 【アーティスト・イン・レジデンス みなみそうま群青小高 2025】 市外アーティストを招へいし、小高区に滞在するなかで小高をイメージしたアート作品を制作し展示会等を開催。 ・作品制作及び展示等期間 令和７年８月から１０月中、アーティストの希望期間により、各々活動し作品制作及び展示等実施。 ・展示会　令和７年１０月１０日（金） ～１３日（日） ・招へいアーティスト　４名

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
第１８回南相馬市総合美術展覧会	○美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇展覧会 ・会　　期　令和７年１１月１５日(土) ～１８日(火) ・会　　場　小川町体育館 ◇表彰式 ・開 催 日　令和７年１１月１６日（日） ・会　　場　小川町体育館 ◇ワークショップ ・開 催 日　令和７年１１月１５日（土） ・会　　場　小川町体育館 ・内　　容　書ワークショップ

（3）文化施設一覧

施　設　名	所　在　地	建物構造	施　設　の　概　要
南相馬市民文化会館	原町区本町二丁目28-1 ℡２５－２７６３	ＲＣ造 (地上４階、地下１階) 7,536.71 ㎡	大ホール　客席　1階席 721 席 2階席 388 席 多目的ホール　椅子席　120 人 (スクール形式 80 人) 練習室　5室 楽　屋　6室 スタジオ　1室 ギャラリー　1スペース 事務室　2室
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田22-1 ℡４６－５１１６	ＲＣ造一部４Ｆ 建物　2,008.49 ㎡	ホール　504 席 研修室［控室］(15 ㎡) 研修室［リハーサル室］(50 ㎡) 和室（8 帖） 鹿島図書館(120 ㎡) ＩＴ室（48 ㎡） 相談室（23.12 ㎡） 事務室（51.87 ㎡）
小高生涯学習センター「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目89-1 ℡４４－３０４９	ＲＣ造２Ｆ 建物 2,463.77 ㎡ (1F 1,954.33 ㎡) (2F　509.44 ㎡)	ホール 298 席 第１研修室（91.59 ㎡） 第２研修室（91.59 ㎡） 第３研修室（15.91 ㎡） 第１和室［楽屋］(10 帖) 第２和室［茶室］(20 帖) 多目的室（89.04 ㎡） 創作室（64.229 ㎡） 小高図書館（161 ㎡） 埴谷・島尾記念文学資料館（98.54 ㎡） 資料収蔵庫（119.584 ㎡） 事務室（89.04 ㎡）

（4）芸術文化団体（南相馬市芸術文化協会）　（令和8年5月1日現在）

構成団体名 / 領域	小高区芸術文化協会		鹿島区文化協会		原町区芸術文化協会		計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
文　芸	1	17			1	29	2	46
生活文化			4	57	2	160	6	217
美　術	1	8	1	7			2	15
音　楽	1	4	7	85	6	71	14	160
舞　踊	8	95	1	7	5	68	14	170
趣　味								
演　劇								
研　究	1	39	1	21			2	60
ダンス	1	33	5	137			6	170
体　操	1	13	1	16			2	29
その他								
計	14	209	20	330	14	328	48	867

Ⅶ　歴史文化

１　文化財保護関係

（１）南相馬市の文化財

（令和８年５月１日現在）

国指定文化財

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所　有　者　等
1	刺繍阿弥陀名号掛幅	重要文化財（工芸品）	S35.6.9	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺
2	旧武山家住宅	重要文化財（建造物）	S46.3.11	原町区　北原	南相馬市
3	桜井古墳	史　跡	S31.11.7	原町区　上渋佐	南相馬市
4	羽山横穴	史　跡	S49.12.23	原町区　中太田	南相馬市
5	薬師堂石仏　附阿弥陀堂石仏	史　跡	S5.7.8	小高区　泉沢	慈徳寺ほか
6	観音堂石仏	史　跡	S5.7.8	小高区　泉沢	慈徳寺
7	真野古墳群	史　跡	S54.10.24	鹿島区　寺内、小池	個人ほか
8	浦尻貝塚	史　跡	H18.1.26	小高区　浦尻	南相馬市
9	泉官衙遺跡	史　跡	H22.2.22	原町区　泉	南相馬市ほか
10	横大道製鉄遺跡	史　跡	H23.2.7	小高区　飯崎	南相馬市ほか
11	相馬野馬追	重要無形民俗文化財	S53.5.22	南相馬市ほか	管理団体 相馬野馬追保存会

国登録有形文化財

No.	名　　称	種　別	登録年月日	所　在　地	所　有　者　等
1	朝日座	建造物	H26.4.25	原町区　大町	一般社団法人 朝日座
2	大谷家住宅東蔵・中蔵・門	建造物	H28.8.1	鹿島区　栃窪	個人
3	髙島家住宅コンクリート蔵、門及び塀	建造物	H29.10.27	小高区　上町一丁目	個人
4	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀	建造物	H30.11.2	小高区　耳谷	個人
5	太田家住宅主屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵	建造物	H30.11.2	原町区　信田沢	個人
6	鈴木家住宅主屋	建造物	H30.11.2	小高区　仲町一丁目	個人

国選択民俗文化財（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）

No.	名　　称	種　別	選択年月日	所　在　地	所　有　者　等
1	鹿島日吉神社のお浜下り	風俗慣習	S54.12.7	鹿島区　江垂	日吉神社のお浜下り保存会
2	浜通りのお浜下り	風俗慣習	R2.3.16	福島県浜通り	特定せず

県指定文化財

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所　有　者　等
1	木造十一面観音立像	重要文化財（彫刻）	S37.3.30	原町区　泉	泉行政区
2	地蔵菩薩立像板木	重要文化財（工芸）	S31.9.4	鹿島区　小島田	個人
3	刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅	重要文化財（工芸）	S54.3.23	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺
4	法然上人像板木	重要文化財（工芸）	S55.3.28	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所 有 者 等
5	大名婚礼調度品等	重要文化財（工芸）	S62.3.27	小高区　小高	同慶寺
6	大悲山文書	重要文化財（書跡）	S30.2.4	小高区　小高	個人
7	泉廃寺跡出土瓦	重要文化財（考古資料）	S31.9.4	原町区　博物館	南相馬市
8	杉阿弥陀堂　木造阿弥陀如来坐像	重要文化財（彫刻）	H30.4.6	鹿島区　江垂	江垂行政区
9	杉阿弥陀堂　木造毘沙門天立像	重要文化財（彫刻）	H30.4.6	鹿島区　江垂	江垂行政区
10	新祥寺　木造如意輪観音像	重要文化財（彫刻）	R7.3.28	原町区　本町	新祥寺
11	泉廃寺跡	史　　跡	S30.12.27	原町区　泉	個人
12	小高城跡	史　　跡	S33.8.1	小高区　小高	相馬小高神社ほか
13	横手廃寺跡	史　　跡	S33.8.1	鹿島区　横手	個人
14	横手古墳群	史　　跡	S53.4.7	鹿島区　横手	個人
15	大悲山の大スギ	天然記念物	S30.2.4	小高区　泉沢	慈徳寺
16	泉の一葉マツ	天然記念物	S30.12.27	原町区　泉	泉行政区
17	海老浜のマルバシャリンバイ自生地	天然記念物	S31.9.4	鹿島区　南海老	南相馬市
18	初発神社のスダシイ樹林	天然記念物	S44.4.11	原町区　江井	初発神社
19	鹿島御子神社の大ケヤキ	天然記念物	R4.5.17	鹿島区　鹿島	鹿島御子神社
20	相馬野馬追額	重要有形民俗文化財	S34.3.17	小高区　小高	相馬小高神社
21	蛯沢稲荷神社奉納絵馬地引大漁図及び和船模型	重要有形民俗文化財	H8.3.22	小高区　下蛯沢	蛯沢稲荷神社
22	旧修験日光院所蔵修験資料	重要有形民俗文化財	H9.3.25	鹿島区　小山田	日光寺
23	紙本著色野馬追図	重要有形民俗文化財	H12.3.31	原町区　博物館	個人
24	相馬野馬追図屏風	重要有形民俗文化財	H28.4.26	原町区　博物館	南相馬市
25	日吉神社のお浜下りと手踊	重要無形民俗文化財	S53.4.7	鹿島区　江垂	日吉神社
26	村上の田植踊	重要無形民俗文化財	H27.3.31	小高区　村上	村上の田植踊保存会

市指定文化財

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所 有 者 等
1	裏刳蓋付舟形刳抜石棺	有形文化財	S41.3.31	小高区　泉沢	南相馬市
2	平福穂庵筆神馬額	有形文化財	S42.8.29	原町区　博物館	相馬太田神社
3	藤田家所蔵文書	有形文化財	S42.8.29	原町区　博物館	個人
4	薮内の十一面観音	有形文化財	S43.2.1	小高区　上浦	共有
5	龍と唐獅子	有形文化財	S45.11.12	原町区　本町	三嶋神社
6	野馬追図屏風	有形文化財	S45.11.12	原町区　本町	個人
7	阿弥陀寺の善光寺式仏像	有形文化財	S48.12.20	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺
8	浮田の木造聖観音立像	有形文化財	S54.5.15	鹿島区　浮田	浮田行政区
9	深鉢「縄文前期関山式併行」	有形文化財	S57.9.20	県立博物館	南相馬市
10	上栃窪遺跡出土の縄文土器	有形文化財	S61.9.1	原町区　博物館	南相馬市
11	阿弥陀寺の銅鐘	有形文化財	S61.9.1	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺
12	高台寺式唐草模様懸盤漆塗膳椀	有形文化財	S61.9.1	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺
13	安養寺の十三仏	有形文化財	S62.12.15	鹿島区　小池	安養寺
14	一文字頭本縫丸胴具足	有形文化財	S62.12.15	原町区　博物館	個人
15	陣幕	有形文化財	S63.12.15	鹿島区　塩崎	塩崎行政区
16	北郷の四脚門一括	有形文化財	S63.12.15	鹿島区　北海老ほか	個人
17	中村迫の文殊菩薩座像	有形文化財	H2.2.14	小高区　上浦	金性寺

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所有者等
18	中村迫の虚空蔵菩薩座像	有形文化財	H2.2.14	小高区　上浦	金性寺
19	下岩崎の聖観音菩薩立像	有形文化財	H2.2.14	小高区　福岡	金性寺
20	曳覆曼荼羅版木	有形文化財	H6.6.9	鹿島区　北海老	宝蔵寺
21	牛王宝印版木	有形文化財	H6.6.9	鹿島区　北海老	宝蔵寺
22	弘法大師御影版木	有形文化財	H6.6.9	鹿島区　北海老	宝蔵寺
23	四日市文書	有形文化財	H7.7.13	鹿島区　南柚木	個人
24	中村城小書院板壁画	有形文化財	H7.7.13	原町区　博物館	個人
25	木造聖観音菩薩立像	有形文化財	H10.8.11	鹿島区　江垂	江垂行政区
26	木造薬師如来坐像	有形文化財	H10.8.11	鹿島区　大内	大内行政区
27	八幡大菩薩旗	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
28	能装束	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
29	伝相馬昌胤着用白羅紗地陣羽織	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
30	麻地錆浅葱色大紋	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
31	女房火事装束	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
32	野馬狩の告文	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
33	相馬家系図	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
34	小高城跡採集金鯱片	有形文化財	H11.2.17	小高区　小高	個人
35	火矢野原六字名号石碑	有形文化財	H11.6.25	鹿島区　小池	個人
36	大六天遺跡出土ヘラ書「少毅殿」土器	有形文化財	H11.6.25	原町区　博物館	南相馬市
37	銅製鰐口（正長元年鋳造）	有形文化財	H12.2.1	原町区　江井	個人
38	銅製鰐口（元禄九年鋳造）	有形文化財	H12.2.1	原町区　江井	個人
39	上渋佐７号墳出土銅鏡	有形文化財	H13.9.1	原町区　博物館	南相馬市
40	生駒家文書	有形文化財	H14.3.31	小高区　泉沢	個人
41	高平の板石塔婆	有形文化財	H14.11.5	原町区　上高平	白山神社ほか
42	荷渡大権現の板石塔婆	有形文化財	H14.11.5	原町区　北長野	泉龍寺
43	相馬太田神社の板石塔婆	有形文化財	H14.11.5	原町区　中太田	相馬太田神社
44	社号額「大明神」	有形文化財	H14.11.5	原町区　博物館	塩釜神社
45	火縄銃　銘中村住神尾久右衛門橘公宗	有形文化財	H17.3.31	原町区　押釜	個人
46	黒漆塗鳩胸五枚胴具足　附采配、具足櫃、櫃覆	有形文化財	H17.3.31	原町区　博物館	南相馬市
47	文禄四年「俵口橘左衛門宛相馬義胤書状」	有形文化財	H17.10.13	鹿島区　北右田	個人
48	牛河内の木造聖観音立像	有形文化財	S54.5.15	鹿島区　牛河内	牛河内行政区
49	陣太鼓	有形民俗文化財	S42.8.29	原町区　博物館	相馬太田神社
50	鳥毛槍	有形民俗文化財	S42.8.29	原町区　博物館	相馬太田神社
51	聖石	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　大甕	日祭神社
52	金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
53	紺糸威二枚胴具足の兜と大袖	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　栄町	個人
54	盛上本小札紺糸裾濃威胴丸	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
55	盛上本小札縹糸威二枚胴丸	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
56	切付盛上札色々威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
57	色々威胴丸	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
58	紺糸威丸胴および兜と袖	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
59	金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋	有形民俗文化財	S51.4.1	原町区　博物館	個人
60	測量具と量地三略版木	有形民俗文化財	H5.9.14	原町区　博物館	南右田神社
61	旧門馬家所蔵火伏せ資料、外火伏せ資料	有形民俗文化財	H10.8.11	原町区　博物館	南相馬市
62	小浜千石稲荷神社　地引網漁図絵馬	有形民俗文化財	H21.4.10	原町区　小浜	千石稲荷神社
63	北右田の屋敷林	有形民俗文化財	R3.4.23	鹿島区　北右田	南相馬市
64	相馬家墓地並びに相馬家霊堂	史　　跡	S41.3.31	小高区　小高	同慶寺
65	浪岩横穴古墳Ａ群 11 号	史　　跡	S41.3.31	小高区　泉沢	南相馬市
66	村上城跡	史　　跡	S41.3.31	小高区　村上	個人ほか

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所有者等
67	菖蒲沢の野馬土手・高木戸の野馬土手	史　　跡	S45.3.1	小高区　羽倉	個人
68	小谷津の貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　泉沢	個人
69	片草の貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　片草	個人
70	角部内南台の東貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　角部内	個人
71	角部内南台の南貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　角部内	個人
72	浦尻の神ノ前貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　浦尻	個人
73	浦尻の北向貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　浦尻	個人
74	浦尻の北原貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　浦尻	個人
75	上浦の加賀後貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　上浦	個人
76	上浦の宮田北貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　上浦	個人
77	上浦の宮田東貝塚	史　　跡	S46.5.31	小高区　上浦	個人
78	羽山岳の木戸跡	史　　跡	S47.7.1	原町区　上太田	個人
79	泉の舘跡	史　　跡	S48.6.1	原町区　泉	南相馬市ほか
80	岩屋堂の磨崖仏	史　　跡	S48.12.20	鹿島区　塩崎	個人
81	北原古墳群	史　　跡	S48.12.20	鹿島区　南海老	個人
82	日向横穴群１号墓	史　　跡	S57.9.20	小高区　塚原	個人
83	岩屋堂石仏並びに横穴墓群	史　　跡	H6.1.26	小高区　吉名	個人
84	桜井古墳群上渋佐７号墳	史　　跡	H12.2.1	原町区　上渋佐	南相馬市
85	野馬土手	史　　跡	H14.11.5	原町区　上渋佐	南相馬市ほか
86	片草古墳群一里段支群２号墳	史　　跡	R5.4.24	小高区　片草	南相馬市
87	行津の大杉	天然記念物	S43.2.1	小高区　行津	星神社
88	阿弥陀寺の大いちょう	天然記念物	S48.12.20	鹿島区　南屋形	阿弥陀寺
89	日吉神社の大杉	天然記念物	S48.12.20	鹿島区　江垂	日吉神社
90	宝蔵寺の楓と大モミ	天然記念物	S48.12.20	鹿島区　北海老	宝蔵寺
91	山田沼のモリガオガエル生息地	天然記念物	S48.12.20	鹿島区　上栃窪	個人
92	同慶寺のいちょう	天然記念物	S50.10.1	小高区　小高	同慶寺
93	飯崎のしだれ桜	天然記念物	S57.9.20	小高区　飯崎	南相馬市
94	冠嶺神社の樹林一括	天然記念物	H2.10.12	鹿島区　上栃窪	冠嶺神社
95	八坂神社のアカガシ樹林	天然記念物	H5.4.1	原町区　石神	八坂神社
96	上浦のキャラ	天然記念物	H6.1.26	小高区　上浦	個人
97	下大神宮のヒイラギ	天然記念物	H7.7.13	鹿島区　南柚木	下大神宮
98	恐竜の足跡化石産出地	天然記念物	H9.4.17	鹿島区　小山田	個人
99	（新種）裸子植物ソテツ目の絶滅種化石ニルソニオ・クレイダス・タイラエ／ニルソニオ・クレイダス・ジャポニカス	天然記念物	H9.4.17	原町区　博物館	南相馬市
100	大富のヒイラギ	天然記念物	H9.7.1	小高区　大富	個人
101	小林家のアカガシ	天然記念物	H13.6.4	鹿島区　小池	個人
102	裸子植物ベネチテス目の新種化石キムリエラ・デンシフォリア	天然記念物	R6.4.22	原町区　博物館	南相馬市
103	アンモナイト目の新種化石アウラコスフィンクトイデス・タイライの完模式標本	天然記念物	R8.4.20	原町区　博物館	南相馬市
104	アンモナイト目の新種化石ダルマシセラス・ムネオイの完模式標本	天然記念物	R8.4.20	原町区　博物館	南相馬市
105	カニ類の新種化石プラノプロソポン・カシマエンシスの完模式標本	天然記念物	R8.4.20	原町区　博物館	南相馬市
106	金谷の獅子舞	無形民俗文化財	S50.10.1	小高区　金谷	金谷地区
107	小池の獅子踊り	無形民俗文化財	S62.12.15	鹿島区　小池	小池地区
108	中村藩日置流印西派弓組	無形民俗文化財	S63.12.15	鹿島区　塩崎	中村藩日置流印西派弓組保存会
109	北萱浜の天狗舞	無形民俗文化財	H7.5.1	原町区　北萱浜	北萱浜神楽愛好会

No.	名　　称	種　別	指定年月日	所　在　地	所　有　者　等
110	馬場の神楽七芸	無形民俗文化財	H7.5.1	原町区　馬場	馬場民俗芸能保存会
111	鹿島御子神社の火伏せ祭りと天灯籠神事	無形民俗文化財	R4.4.25	鹿島区　鹿島	鹿島御子神社

（2）令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
文化財保護審議会	○文化財を指定し、保護・保存を図る。	◇市指定文化財候補を調査し、価値を有する場合は、文化財指定を行う。 ◇文化財保護審議会の開催　3回
文化財保護事業	○市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	◇建造物調査 小林眼科ほか ◇文化財保存事業補助金 県指定「鹿島御子神社の大ケヤキ」枯枝伐採
指定文化財保存管理事業	○指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	◇桜井古墳公園、浦尻貝塚縄文の丘公園等の保存管理 ◇泉の一葉マツの保存管理
文化財利活用推進事業	○「南相馬市歴史文化基本構想」に基づき文化遺産を適切に保存活用するため、案内看板の設置や史跡等パンフレット作成、文化遺産サポーターによる案内等を行う。	◇文化財案内、出前講座等の実施 ◇羽山横穴、旧武山家住宅の一般公開 年４回（4・5・9・10月） ◇案内看板の設置（下高平板石塔塔婆） ◇浦尻貝塚等パンフレット作成 ◇浦尻貝塚でのイベント（工作教室・土器づくり講座） ◇泉官衙遺跡公開のためトイレ等設置 ◇文化遺産サポーターによる案内等
民俗芸能保存伝承事業	○市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	◇第20回南相馬市民俗芸能発表会の開催 ◇ふるさと民俗芸能伝承事業謝礼
市内遺跡発掘調査事業	○市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	◇試掘調査 牛越城跡ほか 調査原因　浄水場整備、個人住宅、集合住宅等 ◇整理調査 梨木西館跡５次 ◇調査報告書１冊刊行　300部
泉官衙遺跡史跡公園整備事業	○国指定史跡である泉官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇保存整備指導委員会の開催　年１回 ◇郡庁院復元建物建設工事　79.38㎡（R7年度からの繰越） ◇郡庁院造成工事 6,074㎡（R7年度へ繰越） ◇後期整備基本設計 8,410㎡ ◇史跡用地買い上げ 1,552.71㎡
大悲山石仏保存修理事業	○国指定史跡である大悲山石仏の保存と活用を図るため、保存環境の改善を行う。	◇保存整備指導委員会の開催　年１回 ◇薬師堂石仏等環境調査
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	○県立特別支援学校建設に伴い、実施した発掘調査の成果周知のため、発掘調査報告書を刊行する。	◇調査報告書　1冊刊行　300部 （鷺内遺跡　調査面積約6,500㎡） （R7年度からの繰越）
相馬野馬追保存会	○相馬野馬追の保存伝承を図る。	◇甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ◇相馬流れ山踊の伝承公開　担当 小高郷（南相馬市小高区） ◇相馬野馬追保存会総会の開催　1回 ◇相馬野馬追保存専門委員会の開催　4回

（3）令和７年度事業実施状況

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
文化財保護審議会	○文化財を指定し、保護・保存を図る。	◇文化財保護審議会　３回 ◇アンモナイト目の新種化石アウラコスフィンクトイデス・タイライの完模式標本ほか２点の古生物標本を市天然記念物指定
文化財保護事業	○市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	◇新種化石にかかる調査
文化財活用事業	○市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	◇文化財案内、出前講座等の実施 ◇羽山横穴、旧武山家住宅、大悲山石仏の一般公開 年４回（4・5・9・10月）
指定文化財保存管理事業	○指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	◇桜井古墳公園等の保存管理 ◇泉の一葉マツ保存管理 ◇飯崎のしだれ桜保全対策 ◇浦尻貝塚枯木伐採 ◇大悲山石仏枯木伐採
文化財利活用推進事業	○「南相馬市歴史文化基本構想」に基づき文化遺産を適切に保存活用するため、案内看板の設置や史跡等パンフレット作成、文化遺産サポーターによる案内等を行う。	◇説明看板の設置（岩屋堂摩崖仏） ◇文化財パンフレット等作成 浦尻貝塚縄文の丘公園 フィールドノート　8,000部 ポケットマップ　10,000部 文化遺産マップ　5,000部 旧武山家住宅チラシ　3,000部 文化遺産活用ガイド　450部 羽山横穴パンフレット　1,000部 ◇浦尻貝塚イベント 工作教室・縄文土器づくり ◇文化遺産サポーターによる案内等 活動日数134日、活動人数349人
民俗芸能保存伝承事業	○市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	◇第19回南相馬市民俗芸能発表会 ◇「浜通りのお浜下り」調査 ◇相馬流れ山踊り伝承保存会(鹿島) ◇小高郷相馬流れ山踊り保存会(小高)
市内遺跡発掘調査事業	○市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	◇試掘調査 三島町遺跡ほか11件 調査原因　新庁舎建設、個人住宅建設ほか ◇整理調査 梨木西館跡５次ほか
浦尻貝塚史跡公園整備事業	○国指定史跡である浦尻貝塚の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇整備検討委員会の開催　年１回 ◇映像音声ガイダンス制作業務 ◇史跡名称柱設置業務 ◇公園台帳整備 ◇ガイダンス施設用備品購入 ◇史跡用地購入 1417.5㎡
泉官衙遺跡史跡公園整備事業	○国指定史跡である泉官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇保存整備指導委員会の開催　２回 ◇郡庁院造成工事 6,074㎡（R7年度へ繰越） ◇復元建物建設工事 79.38㎡（R7年度へ繰越） ◇ガイダンス施設基本設計（R6年度繰越） ◇史跡用地購入 1,190㎡（5/18） ◇史跡用地購入のための物件等調査
大悲山石仏保存修理事業	○国指定史跡である大悲山石仏の保存と活用を図るた	◇保存整備指導委員会の開催　年２回 ◇薬師堂石仏等環境調査 ◇薬師堂石仏発掘調査91㎡

事　業　名	事　業　目　的	事　業　内　容
	め、保存環境の改善を行う。	◇薬師堂石仏断面測量調査 ◇薬師堂石仏 3D データ解析画像作成 ◇観音堂石仏覆屋普及業務
旧武山家住宅保存修理事業	○国指定文化財「旧武山家住宅」の修理が必要であるため、保存修理工事基本計画策定業務を実施する。	◇保存修理工事基本計画策定業務
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	○県立特別支援学校建設に伴い、実施した発掘調査の成果周知のため、発掘調査報告書を刊行する。	◇原稿執筆等（R8 年度へ繰越） （鷺内遺跡　調査面積約 6,500 ㎡）
相馬野馬追保存会	○相馬野馬追の保存伝承を図る。	◇甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ◇相馬流れ山踊の伝承公開　担当：中ノ郷（原町区・飯舘村） ◇相馬野馬追保存会総会の開催　１回

２　博物館関係

・南相馬市博物館

（１）施設概要

施　設　名	所　在　地	建物構造	施　設　の　概　要
南相馬市博物館	原町区牛来字出口 194 ℡２３－６４２１	ＲＣ造	事務室（84 ㎡）、体験学習室（108 ㎡） 補修工作室（84 ㎡）、写真室（42 ㎡） 燻蒸室（12 ㎡）、シアター（78 ㎡） エントランスホール（82 ㎡） 常設展示室（593 ㎡）、特別展示室（176 ㎡） 展示ホール（82 ㎡）、収蔵庫（225 ㎡） 特別収蔵庫（70 ㎡）

（２）令和８年度事業計画

①展示事業

・企画展　　（令和８年４月１日現在）

展示会名	期　間	趣旨・目的等
物具ミュージアム	令和8年 ５月16日～ ８月９日	「物具(もののぐ)」とは、「道具」という意味だが、特に武士が身に着ける装具（おもに甲冑）を指す言葉として使用され、相馬地方には、それらが多く現存している。 本展示では、博物館開館以来の研究で見えてきた藩主相馬家の甲冑の特色や、近年発見された新資料（藩主相馬家所用甲冑の古写真、中村藩内で制作された兜）など、新知見を紹介しながら、甲冑を研究してきた博物館（物具ミュージアム）という、当館の特色の一端をあらわす展示とする。
指定文化財展～市制施行 20 周年記念（仮）	令和8年 ９月５日～ 11 月 23 日	平成18年（2006）１月1日に旧小高町・旧鹿島町・旧原町市が合併し、南相馬市が誕生した。南相馬市市制施行20周年を迎える令和８年度（2026）に、市制施行以降に指定された文化財や新たな知見が得られた文化財を中心に指定文化財展を企画する。 当市の歴史や自然、民俗を伝える代表的な指定文化財を展示することによって、市内外に当市の魅力を発信する。
相双の和紙づくりとくらし（仮）	令和8年 12月12日～ 令和９年 ３月 21 日	昭和30年代まで、相双地域では障子紙などの日用品として使われる和紙がつくられていた。和紙づくりは農家の副業の１つとして行われていたが、上川崎（二本松市）などの和紙名産地から紙漉き職人を呼んで紙漉きをすることもあった。 忘れられつつある相双の和紙づくりについて、実際の紙漉きのようすや暮らしの中の位置づけ、地域外との交流といった側面に注目する。

②調査研究事業

・『研究紀要』の刊行

学芸員の調査研究成果を掲載する学術雑誌の刊行。また、市公式ウェブサイト内の博物館サイトに掲載する。

・調査研究テーマと内容

テーマ	事業内容
１）戦後直後の野馬追の動向	近代、神社の神事として継承されてきた野馬追は、戦後、連合国軍政府の占領下において、戦中までの軍国的な要素を一掃し、馬事スポーツ色を強めた「平和的野馬追」として開催することで再開された。 ここでは、近年博物館の寄託資料の中から確認された、相馬野馬追騎馬会により作成された、昭和 21 年と 22 年の野馬追に関する一次資料「相馬野馬追事業成績書」から、戦後の混乱期における伝統行事継

テーマ	事業内容
	承の一端を明らかにする。
2）磐城無線電信局原町送信所（原町無線塔）の調査	高さ約200mのいわゆる原町無線塔は、大正時代の完成から数えて約60年市街地に聳えていたことから、市民の心象風景となり、関東大震災での活躍と併せて地元で語り継がれている。しかし、無線局としての公・民による業務分担への変化に加え施設が広域だったこと等もあり、その実像や全体像は見えづらかった。 ここでは、無線塔の再評価への足掛かりとして、原町無線塔についての一次資料（建設、運用、解体等の歴史）および現存する遺物・痕跡（副柱アンカー、電弧発振器、発電機等）の確認を行う。外部研究者との共同で調査を行う。
3）南相馬市の絶滅に瀕する野生生物生息地調査	現地調査および地元有識者、外部団体（野鳥の会、虫の会、植物の会）、県自然保護課などへの情報照会により、市内の絶滅危惧種のリスト、分布、生息環境を調査する。 調査成果は企画展「南相馬市の貴重な生き物」（仮）開催、シンポジウム開催等によって普及活動を行う。また、調査によって得られた情報は市ＧＩＳシステムを用いて全庁的に共有し、市内での希少生物の保全のための情報基盤とする。将来的には生活環境課等との連携による希少生物保全区域の設定に資するものとする。
4）南相馬市原町区に残存した湿性草地の植生	野馬追を構成するひとつの要素として欠かせないのが、野馬たちが生活を送り野馬追の舞台ともなった野馬原である。江戸時代から近代にかけて存在した野馬原の大部分を構成する草地環境は、現在はほぼ宅地等に造成され、その植生等について詳細を知ることは難しい。これまで上町で行ってきた調査に加え、原町区内の半自然草地を追加調査し、伝統行事である野馬追が行われてきた野馬原の景観解明の一助とする。
5）相双地方の焼き物調査	近世に開窯した大堀相馬焼は、中村藩の外貨獲得に貢献したほか、東北地方から関東地方まで広く流通し、特に東北地方の各窯に影響を与えたと言われている。 同窯の製品や作品の調査を行い、その優れた作品、技術等を紹介する展示につなげるための調査を行う。
6）歴史資料の整理と調査	資料の所蔵者の世代交代が進んでいることもあり、多くの資料が博物館に寄贈・寄託されているが、未整理のままとなっているものが多い。当地方の代表的な古文書群である石神の富田家資料や原町飛行場関係戦没者慰霊顕彰会から寄贈された史料などの整理と調査を行い、これまで公開されていない資料を公開する。敷居が高いと思われている古文書の魅力をさまざまな世代に向けて分かりやすく発信する。 また、世代交代が進んだことにより、戦争体験者からの聞き取り調査は難しくなった現状があるが、寄贈・寄託される資料の多くは戦争関係であり、直接戦争を体験していなくとも戦争当時のことを伝え聞いていることがあるため、それらを可能な限り聞き取りを行う。
7）中村藩に関する調査研究	近年刊行された相双地域の各自治体による自治体史には、数多くの新資料が掲載されるなど、多くの成果をもたらした。しかし、自治体史（特に資料編）は読み込むことが難しく、活用されているとはいいがたい状況にある。また、自治体史に掲載された資料は編纂の過程で収集された資料の一部に過ぎない。そこで、自治体史の編纂によって得られた成果を活用するため、中村藩の特徴と思われるテーマを設定して、研究する。
8）報徳仕法に関する調査研究	令和９年度の全国報徳サミットの開催地が南相馬市と決まった。これを機に、相馬地方の報徳仕法に関する企画展を開催できるよう、富田家資料を中心に調査する。
9）民俗資料の整理と調査	現在、当館所蔵の民俗資料には、呼称や由来、使用用途が判然とせず、十分な記録がされていないものが複数存在する。南相馬市内で営まれてきた生活のあり方をより詳しく明らかにし、令和８年度以降の特別展示等にて成果を生かしていきたい。

テーマ	事業内容
	なお、整理・調査活動には文化遺産サポーター制度の利用や市民ボランティアの動員を積極的に行い、作業の迅速化を図るとともに、民俗資料の意義について理解を広められるようにする。
10）南相馬市内の地域祭礼・民俗芸能の変容	社会状況の変化や地域人口の減少が進み、多くの地域祭礼・民俗芸能の実施が難しくなっていると推測される。そのため、市史・町史編纂事業に伴う調査が実施されて以降、どのような変化があったのか調査し、記録する。また、各祭礼・民俗芸能についてより詳細な情報が得られるようにする。 調査結果は一定の項目ごとにまとめ、研究紀要等での発信を行う。また、祭礼・民俗芸能の存続に向けた計画作成に生かせるようにする。
11）相双地域の郷土食調査	相双地域に伝わる郷土食は、当地の歴史的・環境的背景のなかで育まれてきた文化である。しかし、食生活の多様化や住民の高齢化、東日本大震災に伴う集落の流出や解体、住民の避難等による離散、材料となる食材の放射能汚染等により、地域の食文化の継承が危惧される状況にある。 郷土食の調査・記録・情報収集を継続的に行い、展示等により地域の人々に関心を持ってもらい、継承へつなげる。 令和８年度は、人生儀礼のほか、江戸時代や現代の野馬追でも食される赤飯と、東北地方を中心に葬儀等で供される白ふかしの食品レプリカを製作する。完成したレプリカはエントランスホール展示等で活用する。

③教育普及事業

・博物館講座

開催日	内　　容	担当・講師
令和８年 ５月　５日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏　ほか
５月３０日	史料をよむ①	岡田清一氏
７月　４日	甲冑師という仕事	高橋一幸氏
７月１８日	中村藩ミニ博物誌（仮）	二上裕嗣氏
７月２０日	史料をよむ②	岡田清一氏
７月２５日	東ヶ丘公園で昆虫観察&標本を作ろう	三田村敏正氏・吉井重幸氏・平澤桂氏
７月２６日	ふくしまの森林文化　映画上映・実演・体験	福島県森林計画課派遣講師
９月１２日	史料をよむ③	岡田清一氏
１１月　３日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏　ほか
１１月１４日	史料をよむ④	岡田清一氏
１１月２８日	南相馬のことば - 方言学の視点から -	小林初夫氏　ほか
令和９年 １月３０日	史料をよむ⑤	岡田清一氏
３月　６日	史料をよむ⑥	岡田清一氏

・体験学習

開催日	内　　容	担当・講師
令和８年 ６月　６日	化石を楽しもう①化石さがし	平宗雄氏・八巻安夫氏
６月　７日	化石を楽しもう②化石標本作り	平宗雄氏・八巻安夫氏
７月２５日	東ケ丘公園で昆虫観察&標本を作ろう	三田村敏正氏、平澤桂氏、吉井重幸氏
８月２２日	本物にさわって勾玉を作ろう	文化財課学芸員
１０月　３日	縄文かご作り	文化財課学芸員

１０月１７日	東ヶ丘公園の植物を観察しよう	当館学芸員
１０月１８日	秋のキノコを観察しよう！	本多隆氏、橋本和明氏、斎藤諒次氏
１１月２３日	卓上機織り体験	文化遺産サポーター
１２月２０日	正月飾り作り	高田求幸氏
令和９年 １月　９日	紙漉き体験①（仮）	二本松市和紙伝承館派遣講師
２月２７日	紙漉き体験②（仮）	伝統工芸遠野和紙･楮保存会派遣講師
３月１３日	野鳥を観察しよう（浦尻貝塚周辺）	外部講師
３月２０日	香りの宝石せっけんを作ろう	小林香代子氏

・バスツアー

開催日	内　　容	担当・講師
令和８年 ９月２７日	天然記念物巡りバスツアー	当館学芸員
１０月２４日	史跡めぐりバスツアー	当館学芸員

④その他の事業

・恐竜化石探索調査・教育普及事業

市内に分布するジュラ紀後期～白亜紀初期の相馬中村層群のうち、恐竜足跡化石をはじめ、植物食恐竜と関連性が深いとされるベネチテス類などの植物化石が多産する栃窪層を中心に、市内外の地質学・古生物学の専門家による調査を行い、恐竜化石産出の可能性を探る。あわせて、市内の地質および古生物に対する理解を深めるため、講演会、展示会等を開催する。

(1) 現地調査

栃窪層を中心とする地質学・古生物学の専門家による発掘調査を行う。

(2) 教育普及

恐竜時代への理解を深める講演会を実施。南相馬市の特徴的な地層とその堆積環境を解説・紹介する。そのほか、南相馬市の地質・化石について理解を深め、認知度を高めるための体験・イベントを実施する。

ア、講演会「(仮) 南相馬の恐竜時代を解き明かす！調査報告会」

講師（予定)：滝本秀夫氏（茨城県自然博物館学芸員)、

伊藤愼氏（千葉大学名誉教授)

恐竜時代の南相馬市がどのような環境だったのかを解説。市内ジュラ紀の地層から数々の新種植物化石を発表している滝本氏と、堆積学の第一人者・伊藤氏による講演。

イ、体験学習

・化石を楽しもう（化石採集、標本作り）　講師：平宗雄氏、八巻安夫氏

令和８年６月６日(土)・７日(日)

令和８年11月14日(土)・15日(日)

・化石のレプリカを作ろう　講師：八巻安夫氏、荒好氏ほか

令和８年８月15日(土)・16日(日)

ウ、出張イベント

・特設ブース「ジュラシックワールド南相馬　化石ふれあい体験」

化石にさわれるワークショップ、南相馬市産の化石プレゼント（抽選）
令和８年９月19日(土)・20日(日)　場所：セデッテかしま

・ジュラシックワールド南相馬を体験しよう！
南相馬の古生物に親しむワークショップ（化石レプリカ作り、フロッタージュ、プラ板作り、ピンバッジ作り等）
令和８年10月10日(土)・11日(日)　場所：道の駅南相馬

・文化財資料収蔵施設整備事業
本市の自然、歴史、民俗、文化の特徴を示す資料や美術工芸品及び震災資料を適切に保存するための収蔵施設を整備する。令和8年度の実施設計等の事業着手に向け、事業計画の策定を行う。

⑤各機関との連携

１）学校等との連携	ア　小学校・中学校・高等学校との連携・協力	・小学校社会科の単元（３年生「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」、６年生「日本の歴史」等）や理科の単元（６年生「土地のつくりと変化」等）への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習（探求）の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力 ・貸出資料セットのリスト配布
	イ　指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
	ウ　職場体験・博物館実習等の受入	・職場体験・博物館実習等プログラムの実施
２）各生涯学習関係機関等との連携	ア　生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ　生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	ウ　図書館との連携	・企画展と連動した展示コーナーの設置等
３）南相馬市文化遺産サポーターとの連携	ア　体験学習・講座および展示等、博物館活動への協力、支援を依頼し、共同で活動を行う。	・博物館活動への協力、支援（民俗資料（民具）整理、恐竜・化石関連のワークショップ補助） ・桜井古墳公園・浦尻貝塚などの保存、活用の補助 ・市内文化遺産のガイド ・文化財周辺の軽清掃、維持管理作業（旧武山家住宅燻蒸）　など
４）博物館・その他の機関との連携	・福島県博物館連絡協議会（事務局：県立博物館）への参加 ・他館との連携（相双地区博物館連絡協議会等） ・館蔵資料の貸出・提供 ・民間組織・団体・個人との連携	

（3）令和７年度事業実施状況

①利用状況

・観覧者数　（単位：人）

入館者数				開館日数
一般	高校生	小･中学生	合計	
６，４１０	８７	１，１６２	７，６３９	３０８

・その他利用者　（単位：人）

内容	回数・件数	人数
講座・体験学習・企画展関連事業	３７	９００
恐竜化石探索調査・教育普及事業	５	１，５１６
講師派遣　学校関係	２７	９０９
講師派遣　一般	３０	１，３０８
キッズミュージアム	１	３３
博物館実習受け入れ	２	２
職場体験受け入れ	３	５
その他機関との連携事業	２	１４２
レファレンス・取材等	１７８	１８８
合計	２８５	５，００３

②展示事業

・企画展

展示会名	期間	趣旨・目的等
野馬追トラベラーズ ※ふくしまプレＤＣ特別企画	令和７年 ４月 26 日 ～ ７月６日	江戸時代には中村藩主相馬家の年中行事として開催され、明治時代以降に神社の神事として継承されてきた野馬追は、伝統行事でありながらも“見もの”として人気があり、江戸時代から多くの旅人たちが野馬追見物のため当地方を訪れていた。それは明治以降も続き、野馬追は相馬名物として定着した。このような「観光資源」としての側面は、現代野馬追を継続する推進力のひとつとなっている。 ここでは「旅・観光」という視点から、民衆が野馬追をどのように見て、楽しんでいたのか、江戸時代から続く野馬追の観光資源としての側面を、資料（絵図、古文書、古写真等）によって紹介した。
近代の戦争と南相馬	８月２日 ～ 11 月３日	明治維新によって近代という新しい時代を迎えてから約80年間、日本は戊辰戦争・西南戦争という国内戦争を経て、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦・日中戦争・第二次世界大戦（太平洋戦争）という対外戦争を経験してきた。明治維新以降、人びとの日常は戦争に翻弄されつづけてきたということができる。 その後、昭和20年８月のポツダム宣言の受諾、９月の降伏調印文書の調印によって日本は敗戦し、第二次世界大戦はようやく終わりを迎えた。令和７年はそこからから80年の節目にあたる。そこで、戦争に関する企画展を開催し、戦争について考えるきっかけとした。 また、教科書にも記されるこれらの戦争を、南相馬という地域に大きな影響を与えた出来事として、私たちが意識することは少ない。そこで、地域にとって戦争が日

		常だった時代を、当館収蔵資料を中心に市内に残された数々の資料をとおして紹介する展示内容とした。
記憶を紡ぐ－南相馬市博物館 30 年	12 月 6 日 ～ 令和 8 年 3 月 22 日	南相馬市博物館は、平成７年（1995）８月、野馬追の里歴史民俗資料館という名称で旧原町市の博物館として開館し、今年、令和７年度で開館30周年を迎えた。 開館以来、当市を中心とした自然・考古・歴史・民俗、当地方の伝統行事「相馬野馬追」の資料収集・保管・調査研究をしながら、有史以前の地層や化石、生き物たちを育む山・川・海などの“大地の記憶”、原始・古代から現代までの資料や語り継がれてきた“先人たちの記憶”、そして東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などを経験した“私たちの記憶”を集積してきた。 これらの記憶を紡ぐため、当館が取り組んでき30年間の活動（企画展や調査研究）から、当館のあゆみと役割をあらためて見つめる機会とし、これからの博物館活動への期待や関心を深めていただくきっかけとした。

・ミニテーマコーナー

テーマ	展示期間	展　示　の　概　要
婚礼の装い－花嫁のすがた	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 5 月 6 日	昭和初期から中期に使われた花嫁衣裳を実物と写真で紹介／髪飾り、色打掛、白振袖
養蚕の道具	5月16日 ～	明治時代から昭和 50 年代までに使われた養蚕道具の実物を展示／種紙、カルトン、蔟折機、回転蔟

・エントランスホール展示

テーマ	展示期間
メダカ、ドジョウ（生態展示）	常設　＊令和5年8月に水槽増設
みなみそうま地域学術団体紹介コーナー　自然と歴史ぶんかの窓	常設
南相馬味めぐり　春編 2025	令和７年３月１８日～５月３１日
修復された木造聖観音菩薩立像	４月８日～３０日
甲冑	５月１日～７月２０日
相双のホッキガイ	６月１日～８月２１日
報徳仕法といもずいも	８月２２日～１１月１３日
あずきのチカラ　冬至と正月の食べもの	１１月１４日～ 令和８年１月２７日
新属・新種化石「オーハニエラ・タイロフォリア」	令和７年１２月２６日～ 令和８年４月１９日
相馬地方の焼き物	令和８年１月６日～
南相馬味めぐり　めぐる春、今年もみぃつけた　春の食卓編 2026	１月２８日～３月２８日
南相馬味めぐり　春の食卓編2026	３月２８日～
ポスターでみる博物館 30 年のあゆみ	令和７年１２月６日～ 令和８年４月１６日

③収蔵資料の状況　（令和８年３月３１日現在）

区　分	収集・寄贈等	購入	寄託	合計
人文科学資料				
古美術資料	６７６	４１	２	７１９
近代美術資料	５１	０	１	５２
考古資料	７，７０１	６	２，４７７	１０，１８４
民俗資料	７，３０８	１４６	２５９	７，７１３
歴史資料	１１，７４８	１６９	５，２５６	１７，１７３
その他	５４８	０	０	５４８
図書	１１，８８８	２５０	０	１２，１３８
写真	１，３３０	０	０	１，３３０
小計	４１，２５０	６１２	７，９９５	４９，８５７
自然科学資料				
動物資料	１，３１３	４０	４３	１，３９６
植物資料	１２１	５	０	１２６
地学資料	１１	０	１６	２７
その他	６４	０	０	６４
図書	３９７	３８	０	４３５
写真	１１６	０	０	１１６
小計	２，０２２	８３	５９	２，１６４
合計	４３，２７２	６９５	８，０５４	５２，０２１

④教育普及事業

・博物館講座

開催日	内　容	担当・講師	参加者数
令和７年 ５月　５日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏ほか	４０
５月１７日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界①」	岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授）	３５
６月　７日	野馬追の精神と藩政への影響について	二上裕嗣氏（元福島県立医科大学非常勤講師）	３４
７月１２日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界②」	岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授）	３５
７月２６日	ふくしまの森林文化講座－竹細工－	福島県森林計画課派遣講師	１１
９月１４日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界③」	岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授）	３６
１１月　３日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏ほか	１２
１１月１５日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界④」	岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授）	３１
１１月２９日	南相馬のことば―方言学の視点から―	小林初夫氏（奥羽大学図書館長）	２４
令和８年 １月１０日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界⑤」	岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授）	３４
３月　７日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界⑥」	岡田清一氏（東北福祉大学名誉教授）	３９
１１回	合　計		３３１

・体験学習

開催日	内　　容	担当・講師	参加者数
令和７年 ４月２７日	東ケ丘公園の植物を観察しよう	仲川邦広学芸員	１５
５月　４日	春の野鳥を観察しよう（浦尻貝塚周辺の野鳥）	増渕翔太氏（福島市小鳥の森レンジャー）、菊地一成氏（日本野鳥の会南相馬）	１０
５月　５日	香りの宝石せっけんを作ろう	小林香代子氏（ライブラ香りの学校・福島校）	１７
６月　７日	化石を楽しもう①－化石さがし	平　宗雄氏（博物館収集展示委員）、八巻安夫氏（相馬中村層群研究会）	１７
６月　８日	化石を楽しもう②－化石標本作り		１７
６月２２日	初夏のキノコを観察しよう！	本多　隆氏・橋本和昭氏・斎藤諒次氏（福島きのこの会）ほか	２０
８月　３日	東ケ丘公園で昆虫観察＆標本を作ろう	平澤　桂氏・三田村敏正氏・小吹歩生氏（福島虫の会）	２２
８月１６日	化石のレプリカを作ろう！	八巻安夫氏（相馬中村層群研究会）、文化遺産サポーター	８２
８月１７日	化石のレプリカを作ろう！		７７
８月１７日	本物にさわって勾玉を作ろう①	森幸彦学芸員、相澤桃子学芸員	１５
１０月１９日	南相馬のことば―かるた作り編―	小林初夫氏（奥羽大学図書館長）	4
１１月　８日	化石を楽しもう②－化石さがし	平宗雄氏（博物館収集展示委員）、八巻安夫氏（相馬中村層群研究会）	１８
１１月　９日	化石を楽しもう②－化石標本作り	平宗雄氏（博物館収集展示委員）	8
１２月　７日	野鳥を観察しよう（浦尻貝塚周辺の野鳥）	仲川邦広学芸員	8
１２月２１日	正月飾り作り	高田求幸（南相馬市博物館資料調査協力員）	１４
令和８年 ３月２２日	本物にさわって勾玉を作ろう②	森幸彦学芸員	8
１６回	合　　計		３５２

・キッズミュージアム

開催日	内　　容	担当・講師	参加者数
令和７年 １１月２３日	うらこちゃんづくり、化石ピンバッジづくり、まゆだまあそび、甲冑着付け体験、ミニ指旗づくり、紐より・機織り体験、野馬追絵図スタンプなど	文化遺産サポーターほか	幼児等 14 保護者 19
1回	合　　計		３３

・その他（講演会、バスツアー）

開催日	内　　容	担当・講師	参加者数
令和７年 １０月１１日	史跡巡りバスツアー	森幸彦学芸員、花里亜利沙文化財主事	２２
1回	合　　計		２２

⑤各機関との連携

1）学校等との連携 学校見学　１５回　６５５人 出前講座　２７回　９０９人 中学生職場体験　３回　５人 博物館実習　　２回　２人 貸出資料セット利用　１２回	ア　小中高等学校との連携・協力	・小学校３年生社会科の単元「古い道具と昔のくらし」への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力 ・貸出資料セットのリスト配布
	イ　指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
	ウ　職場体験・博物館実習等の受入	・職場体験・博物館実習等プログラムの実施
2）各生涯学習関係機関との連携 講師派遣（出前講座） ３０回　１，３０８人	ア　生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ　生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	ウ　図書館との連携	・図書館での出前展示
3）博物館・その他の機関との連携 各機関との連携 ２回　１４２人 資料貸出 ７件　　３０点 資料（写真）提供 １７件　４６点	ア　福島県博物館連絡協議会への参加	・事務局：県立博物館、当館：理事 県内の博物館および準ずる施設による相互の連携・協力を図る
	イ　相双地区博物館連絡協議会の再開	・事務局：当館、会長：当館 相双地区の博物館および準ずる施設による相互の連携・協力を図る。規約を一部改定し、震災後に設置された相双地区の博物館・博物館に準ずる施設（調査研究または展示の機能を有する組織を含む）へ加盟呼びかけを実施した。新加盟団体４団体を加えて９団体となり、情報交換を行った。
	ウ　各機関との連携	・各機関と協同の事業開催や、博物館ブースの出展
	エ　館蔵資料の貸出等	・他館の展示会への資料貸出や、メディア（書籍出版、テレビ、新聞）等への資料提供

Ⅷ　スポーツ

１　スポーツ関係

（１）令和８年度事業計画　　（令和８年４月１日現在）

事業名	事業目的	補助団体	事　業　内　容	開催期間
社会体育団体等補助事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市スポーツ協会	選手の強化育成支援事業 内　容：各競技の技術力の向上（8 競技） 参加者：南相馬市スポーツ協会加盟団体登録者・市民全般他　約 1,700 人 場　所：南相馬市内他	4 月～2 月
			第 20 回南相馬市総合スポーツ大会を中心とした各種事業 内　容：市民を対象とした各種競技大会（24 競技） 参加者：市民全般　約 1,900 人 場　所：南相馬市内他	6 月～1 月
		南相馬市レクリエーション協会	第 27 回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業（10 競技） 内　容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般　約 500 人 場　所：南相馬市内他	5 月～2 月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内　容：各種ニュースポーツ 12 教室の開催 参加者：市民全般　約 1,000 人 場　所：南相馬市内他	6 月～2 月
		南相馬市陸上競技協会	第 38 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内　容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー　計 24 人（選手 16 人・補欠 8 人） 場　所：白河～福島 96.3 ㎞　16 区間	11 月 15 日
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第 39 回野馬追の里健康マラソン大会・ 第 21 回ウオーキング大会 種　目：1.5 ㎞、2 ㎞、3 ㎞、5 ㎞、10 ㎞、ハーフ、親子ペア、ウオーキング 参加者：小学生～一般男女　約 3,000 人 場　所：雲雀ヶ原陸上競技場	12 月 6 日
	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。	野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第 36 回坂東市将門ハーフマラソン大会 種　目：3 ㎞、5 ㎞、10 ㎞、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ　約 50 人 会　場：茨城県坂東市	11 月 8 日

事業名	事業目的	補助団体	事　業　内　容	開催期間
交流・滞在型スポーツ事業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る	野馬追の里浮舟杯卓球大会実行委員会	野馬追の里　第51回浮舟杯卓球大会 第12回トップアスリート教室 種　目：卓球 場　所：まるさん・あったまるアリーナ	2月13日～ 2月14日
交流・滞在型スポーツ支援事業	滞在型スポーツ大会等を誘致し、スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	藤倉コンポジット株式会社	Fujikura 東北ジュニアカップ 2026 種　目：ジュニアゴルフ 場　所：鹿島カントリー倶楽部	4月2日
		相馬野馬追旗争奪近県剣道大会	第19回相馬野馬追旗争奪近県剣道大会 種　目：剣道 場　所：まるさん・あったまるアリーナ	4月19日
		日本ディスクゴルフ協会	第20回南相馬オープン ディスクゴルフトーナメント 第38回日本選手権 ディスクゴルフトーナメント 種　目：ディスクゴルフ 場　所：馬事公苑	開催なし 10月10日 ～ 10月12日
		東北学生卓球連盟	第78回東北学生卓球選手権大会 種　目：卓球 場　所：まるさん・あったまるアリーナ	6月13日～ 6月14日
		馬術連盟	第61回北日本学生馬術大会 種　目：馬術 場　所：馬事公苑 総合馬術大会 種　目：馬術 場　所：馬事公苑	 9月 3月
健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内　容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催（年１２回開催） 場　所：まるさん・あったまるアリーナ　他	4月～3月
	運動不足といわれる働き世代に向け、日常的に歩くことを促進するイベントを開催する	委託事業者	ジョイフルウォーク 内容：ウォーキングイベント開催（年４回） 場所：ウォークラリーコース　など	6月～2月

事業名	事業目的	補助団体	事　業　内　容	開催期間
スポーツ大会等出場激励金交付事業	全国大会並びに国際大会その他東北大会以上の規模で行われる各種スポーツ大会に出場する選手及び団体に対し、激励金を交付する。	個人・団体	全国スポーツ大会等出場選手への激励金交付 1件あたりの交付金額 国際大会　30,000円 全国大会（高校総体等）30,000円 全国大会（高校生以下）20,000円 全国大会（大学生以上）10,000円 東日本大会　7,000円 東北大会　5,000円	4月～3月
スポーツ少年団選手派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 39件　2,500,000円 1件あたりの交付金額（上限額） 【交通費】 県大会　5,000円 東北大会　6,000円 全国大会　15,000円 国際大会　30,000円 【宿泊費】 県大会　5,000円 東北大会　6,000円 全国大会　7,500円 国際大会　10,000円	4月～3月
南相馬市・杉並区スポーツ交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市少年野球連盟	杉並区との少年野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会　場：杉並区	8月
		南相馬市少年野球連盟	杉並区・取手市・南相馬市交流自治体少年野球大会 参加者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会　場：南相馬市	8月
		南相馬市野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市野球協会員 市内中学生選手等 会　場：杉並区	10月
		南相馬市サッカー協会	交流自治体少年サッカー交流大会派遣事業（サッカー） 派遣者：南相馬市サッカー協会員・選手等 会　場：杉並区 参加自治体：杉並区・取手市・南相馬市	2月
		南相馬市陸上競技協会	杉並区中学校対抗駅伝大会派遣事業 派遣者：南相馬市陸上競技協会員・市内中学生選手 会　場：杉並区	12月

（2）令和７年度事業実施状況

事業名	事業目的	補助団体	事　業　内　容	開催期間
社会体育団体等補助事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市スポーツ協会	競技力向上対策事業 内　容：各競技の技術力の向上（8 競技） 参加者：南相馬市スポーツ協会加盟団体登録者・市民全般他　1,735 人 場　所：南相馬市内他	4 月～2 月
			第 19 回南相馬市総合スポーツ大会を中心とした各種事業 内　容：市民を対象とした各種競技大会（24 競技） 参加者：市民全般　1,919 人 場　所：南相馬市内他	9 月～2 月
		南相馬市レクリエーション協会	第 26 回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業 内　容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般　10 種目　530 人 場　所：南相馬市内他	5 月～1 月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内　容：各種ニュースポーツ 12 教室の開催 参加者：市民全般　436 人 場　所：南相馬市内他	7 月～2 月
		南相馬市陸上競技協会	第 37 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内　容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー　計 24 人（選手 16 人・補欠 8 人） 場　所：白河～福島　96.3 ㎞　16 区間 結　果：総　合17 位／49 チーム 市の部10 位／13 市	11 月 16 日
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第 38 回野馬追の里健康マラソン大会・ 第 20 回ウオーキング大会 種　目：1.5km、2km、3km、5km、10km、ハーフ、親子ペア、ウオーキング 参加者：3,132 名 場　所：雲雀ケ原陸上競技場、雲雀ケ原祭場地	12 月 7 日
			野馬追の里健康マラソン大会交流会 2025 内　容：前日のレセプション及びマラソン大会当日に招待自治体として参加 参加者：59 名（3 自治体） 場　所：ホテル丸屋グランデ・雲雀ケ原陸上競技場	12 月 6 日 ～ 12 月 7 日

事業名	事業目的	補助団体	事　業　内　容	開催期間
	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。		第35回坂東市将門ハーフマラソン大会 種　目：3㎞、5㎞、10㎞、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ　37人 会　場：茨城県坂東市	11月9日
交流・滞在型スポーツ事業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る。	野馬追の里浮舟杯卓球大会実行委員会	野馬追の里　第50回浮舟杯卓球大会 第11回トップアスリート教室 種　目：卓　球 場　所：まるさん・あったまるアリーナ 参加者：69名	2月7日
健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る。	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内　容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催（12回開催） 場　所：まるさん・あったまるアリーナほか	4月～3月
スポーツ大会等出場激励金交付事業	全国大会並びに国際大会に出場する選手及び団体に対し激励金を交付する。	個人・団体	全国スポーツ大会等への派遣事業 67件　2,434,000円 国際大会　3件 全国大会（高校総体等）　6件 全国大会（高校生以下）　18件 全国大会（大学生以上）　15件 東日本大会　2件 東北大会　23件	4月～3月
スポーツ少年団選手派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 29件　2,908,000円 全国大会　6件 東北大会　3件 県大会　18件 その他　2件	4月～3月

事業名	事業目的	補助団体	事　業　内　容	開催期間
南相馬市・杉並区スポーツ交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市少年野球連盟	南相馬市・杉並区少年野球交流大会 会　場：杉並区 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ　28 人	8 月
		南相馬市少年野球連盟	杉並区取手市南相馬市交流自治体少年野球大会 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ　39 人 会　場：取手市	8 月
		南相馬市野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球大会派遣事業 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ　17 人 参加自治体：台湾・杉並区・南相馬市 会　場：台湾	10 月
		南相馬市バレーボール協会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業（家庭婦人バレーボール） 会　場：杉並区 ※参加人数不足により辞退	11 月
		南相馬市陸上競技協会	杉並区中学生駅伝大会派遣事業 会　場：杉並区 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ　16 人	12 月
		南相馬市サッカー協会	交流自治体少年サッカー交流大会派遣事業（サッカー） 派遣者：南相馬市サッカー協会員・選手等 会　場：杉並区 参加自治体：杉並区・取手市・南相馬市	2 月

（3）令和７年度スポーツ施設利用状況

【小高区】

社会体育施設等の利用状況　（単位：件、人）

施設名	利用件数	利用者数
小高体育センター	8,211	17,419
中部運動場	164	4,769
東部運動場	－	－
片草運動場	135	375
片草テニスコート	194	1,087
合計	8,704	23,650

学校体育施設開放事業の利用状況　（単位：件、人）

学校名	体育館		校庭		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
小高小学校	2	60	81	2,509	83	2,569
小高中学校	15	188	0	0	15	188
合計	17	248	81	2,509	98	2,757

【鹿島区】

社会体育施設等の利用状況　（単位：件、人）

施設名	利用件数	利用者数
千倉体育館	1,350	10,321
前川原体育館	305	2,049
千倉グラウンド	534	18,292
前川原グラウンド	118	2,234
千倉テニスコート	104	4,040
鹿島体育館	1,236	33,491
みちのく鹿島球場	92	8,128
南相馬市パークゴルフ場	－	52,728
合計	3,739	127,647

学校体育施設開放事業の利用状況　（単位：件、人）

学校名	体育館		校庭		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
鹿島小学校	182	2,888	0	0	182	2,888
上真野小学校	116	1,428	0	0	116	1,428
鹿島中学校	32	735	0	0	32	735
合計	330	5,051	0	0	330	5,051

【原町区】

社会体育施設等の利用状況　（単位：件、人）

施設名	利用件数	利用者数
南相馬市スポーツセンター	1,696	51,989
雲雀ヶ原陸上競技場	59	25,603
夜の森公園テニスコート	1	1,449
南相馬市テニスコート	510	35,811
南相馬市弓道場	174	4,107
南相馬市野球場	176	5,954
南相馬市民プール	－	62,592
小川町体育館	795	19,597
南相馬市サッカー場	65	2,383
北新田第一運動場	108	6,038
北新田第二運動場	11	1,688
北新田野球場	62	3,194
南相馬市相撲場	9	486
栄町柔剣道場	238	6,596
合計	3,904	227,487

学校体育施設開放事業の利用状況

（単位：件、人）

学校名	体育館		校庭		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
原町第一小学校	312	6,775	147	4,517	459	11,292
原町第二小学校	258	6,278	15	194	273	6,472
原町第三小学校	164	4,866	97	1,880	261	6,746
高平小学校	385	5,146	71	816	456	5,962
大甕小学校	148	3,725	2	50	150	3,775
太田小学校	55	753	0	0	55	753
石神第一小学校	243	5,000	0	0	243	5,000
石神第二小学校	261	5,205	28	650	289	5,855
原町第一中学校	0	0	0	0	0	0
原町第二中学校	350	5,287	0	0	350	5,287
原町第三中学校	195	3,807	0	0	195	3,807
石神中学校	302	3,480	0	0	302	3,480
合計	2,673	50,322	360	8,107	3,033	58,429

馬事公苑の利用状況

（単位：人、頭）

区分	入苑者延人数	馬匹延頭数
各種馬術大会	5,170	1,391
馬術競技合宿	205	134
個人乗馬練習	3,183	393
ディスクゴルフ	1,525	0
一般利用	6,419	7
自主事業ドローン・乗馬体験	114	0
合計	13,616	1,925

２　スポーツ施設一覧

小高区

施設名	所　在　地	競技種目	施設内容	利用料金
小高体育センター	小高区関場一丁目 77 ℡（44）6092	屋内競技	床面積 1,417.00 ㎡ バレーボール ２面 バドミントン ４面 バスケット ２面 卓球 ６面 テニス １面	競技場全面貸切利用（1 時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　1,140 円 市外　1,710 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　2,280 円 市外　2,850 円 営利目的の場合　3,990 円 競技場全半面貸切利用（1 時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　570 円 市外　850 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,140 円 市外　1,420 円 営利目的の場合　1,990 円 個人利用（1 回券） 大　人　100 円 高 校 生　50 円 小中学生　20 円 個人利用（回数券） 大　人（12 回）1,000 円 高 校 生（12 回）　500 円 小中学生（12 回）　200 円 〔個人利用時間区分〕 A．　9 時 ～ 12 時 B．　12 時 ～ 15 時 C．　15 時 ～ 17 時 D．　17 時 ～ 19 時 E．　19 時 ～ 21 時
小高東部運動場	小高区蛯沢字藤沼 50-1	屋外競技	敷地面積 10,844.00 ㎡ ソフトボール １面 野球場　１面 （夜間照明有） トイレ	運動場全面貸切利用（1 時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　無料 市外　630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　無料 市外　1,050 円 営利目的の場合　1,470 円 夜間照明料 1 時間　2,100 円
小高中部運動場	小高区関場二丁目 29	屋外競技 多目的広場 １面	敷地面積 4,251 ㎡	運動場全面貸切利用（1 時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　無料 市外　630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　無料 市外　1,050 円 営利目的の場合　1,470 円

施設名	所　在　地	競技種目	施設内容	利用料金
小高片草運動場	小高区片草字南原 46-1	屋外競技	敷地面積 13,285.38 ㎡ 多目的広場 １面 テニス ３面 （ナイター設備有） トイレ	多目的広場 運動場全面貸切利用（1 時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　無料 市外　630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　無料 市外　1,050 円 営利目的の場合　1,470 円 テニスコート 1 面貸切利用（1 時間） 非営利目的の場合 市内　1,050 円 市外　1,570 円 営利目的の場合　3,670 円 個人利用（1 回券） 大　人　2 時間　200 円 高 校 生　2 時間　100 円 小中学生　2 時間　50 円 個人利用（回数券） 大　人（12 回）1,000 円 高 校 生（12 回）　500 円 小中学生（12 回）　200 円 個人利用（年間利用券） 大　人 6,000 円 高 校 生 3,000 円 小中学生 1,500 円 夜間照明料　1 時間 200 円 〔個人利用時間区分〕 A.　9 時 ～ 11 時 B.　11 時 ～ 13 時 C.　13 時 ～ 15 時 D.　15 時 ～ 17 時 E.　17 時 ～ 19 時 F.　19 時 ～ 21 時

鹿島区

施設名	所　在　地	競技種目	施設内容	利用料金
千倉体育館	鹿島区鹿島字北千倉20 ℡（46）1215	室内競技	バレーボール ２面 バスケットボール １面 バドミントン ３面 卓球 ５台 アリーナ ３２ｍ×２３ｍ	競技場全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　1,140円 市外　1,710円 体育競技以外を目的とする場合 市内　2,280円 市外　2,850円 営利目的の場合　3,990円 競技場全半面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　570円 市外　850円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,140円 市外　1,420円 営利目的の場合　1,990円 個人利用（1回券） 大　人 100円 高校生　50円 小中学生　20円 個人利用（回数券） 大　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～12時 B.　12時～15時 C.　15時～17時 D.　17時～19時 E.　19時～21時
前川原体育館	鹿島区角川原字前川原69-1	室内競技	バレーボール ２面 バスケットボール １面 バドミントン ３面 アリーナ ６４４㎡	
鹿島体育館	鹿島区横手字川原186-1	室内競技	アリーナ面積 1,050㎡ バドミントン ６面 バレーボール ２面 バスケットボール １面 ２階多目的室	
千倉グラウンド	鹿島区鹿島字北千倉24-1	屋外競技	競技場面積 17,895㎡ ソフトボール ２面 野球　他 夜間照明有	グラウンド全面貸切利用 （1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　無料 市外　630円 体育競技以外を目的とする場合 市内　無料 市外　1,050円 営利目的の場合　1,470円 千倉グラウンド夜間照明料 30分　1,050円
前川原グラウンド	鹿島区角川原字前川原69-1	屋外競技	競技場面積 14,496㎡ ソフトボール １面 野球　他	

施設名	所　在　地	競技種目	施設内容	利用料金
千　　倉 テニスコート	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	テ ニ ス	競技場面積 1,368 ㎡ ハードコート 2面 (ナイター設備2面)	1面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　1,050円 市外　1,570円 営利目的の場合　3,670円 個人利用（1回券） 大　人　2時間　200円 高校生　2時間　100円 小中学生　2時間　50円 個人利用（回数券） 大　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 夜間照明料（1時間） 1面　200円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～11時 B.　11時～13時 C.　13時～15時 D.　15時～17時 E.　17時～19時 F.　19時～21時
みちのく鹿島球場	鹿島区南右田字榎内 146-1	野　球 そ の 他	競技場面積 13,980 ㎡ 両翼　100m 中堅　122m 収容人員　3,000人 本部室、審判室 救護室、放送室 スコアボード	野球場全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　700円 市外　1,050円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,400円 市外　1,750円 営利目的の場合　2,450円
南相馬市 パーク ゴルフ場	鹿島区川子字大迫地内	パーク ゴルフ	コース面積 52,580 ㎡ 6コース　54ホール 管理棟、東屋、トイレ棟、駐車場261台	個人利用（1回券） 大　人　1回　500円 高校生以下　1回　250円 個人利用（回数券） 大　人　12回　5,000円 高校生以下　12回　2,500円 付属備品利用料金 クラブ　1回　500円 ボール　1回　50円

原町区

施　設　名	所　在　地	競技種目	施　設　内　容	利用料金
夜の森公園テニスコート	原町区三島町一丁目88	ソフトテニス	競技場面積 7,051㎡ クレーコート 5面 管理棟・物品庫 トイレ	1面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　260円 市外　390円 営利目的の場合 910円 個人利用（1回券） 大　人　100円 高校生　50円 小中学生　20円 個人利用（回数券） 大　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 個人利用（年間利用券） 大　人 3,000円 高校生 1,500円 小中学生　600円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～12時 B.　12時～17時
雲雀ヶ原陸上競技場	原町区中太田字天狗田96	陸上競技	競技場面積 21,996㎡ 400mトラック （第3種公認） トイレ	全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　520円 市外　780円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,040円 市外　1,300円 営利目的の場合　1,820円 個人利用（1回券） 大　人　1回　100円 高校生　1回　50円 小中学生　1回　20円 個人利用（回数券） 大　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 個人利用（年間利用券） 大　人3,000円 高校生1,500円 小中学生　600円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～12時 B.　12時～17時

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
南相馬市野球場	原町区桜井町二丁目252	野球 その他	競技場面積 17,367㎡ 両翼　100m 中堅　119m 収容人員　5,000人 本部席・審判席 内野席(両翼)864席 夜間照明　6基	全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　520円 市外　780円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,040円 市外　1,300円 営利目的の場合 1,820円 夜間照明料（1時間） 全灯　6,940円 半灯　3,470円
南相馬市サッカー場	原町区高見町一丁目5	サッカー	競技場面積 10,050㎡ コート(芝)　1面 (70m×105m)	全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　1,050円 市外　1,570円 体育競技以外を目的とする場合 市内　2,100円 市外　2,620円 営利目的の場合　3,670円
南相馬市テニスコート	原町区高見町一丁目5	テニス	競技場面積 10,130.8㎡ 砂入り人工芝14面 (ナイター設備14面) 管理棟 139.12㎡ 物品庫	1面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　1,050円 市外　1,570円 営利目的の場合　3,670円 個人利用（1回券） 大人　200円 高校生　100円 小中学生　50円 個人利用（回数券） 大人（12回）2,000円 高校生（12回）1,000円 小中学生（12回）　500円 個人利用（年間利用券） 大人　6,000円 高校生　3,000円 小中学生　1,500円 夜間照明料（1時間） 1面　200円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～11時 B.　11時～13時 C.　13時～15時 D.　15時～17時 E.　17時～19時 F.　19時～21時

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
南相馬市スポーツセンター	原町区桜井町二丁目200 ℡（22）8951～2 FAX（22）8953	室内競技	総面積 6,135㎡ 1階 4,061㎡ 2階 1,862㎡ バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン １０面 テニス 2面 卓球 ２６台 体操・トレーニング 収容人員 1階　3,000名 2階（固定席） 1,716名	競技場全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　1,890円 市外　2,830円 体育競技以外を目的とする場合 市内　3,780円 市外　4,720円 営利目的の場合　6,610円 競技場半面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　940円 市外　1,410円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,880円 市外　2,350円 営利目的の場合　3,290円 ステージ（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　630円 市外　940円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,260円 市外　1,570円 営利目的の場合　2,200円 多目的室（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　230円 市外　340円 体育競技以外を目的とする場合 市内　460円 市外　570円 営利目的の場合　800円 会議室（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　170円 市外　250円 体育競技以外を目的とする場合 市内　340円 市外　420円 営利目的の場合　590円 アリーナ冷暖房（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　1,400円 市外　2,100円 体育競技以外を目的とする場合 市内　2,800円 市外　3,500円 営利目的の場合　4,900円 観客席冷暖房（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合

施　設　名	所　在　地	競技種目	施　設　内　容	利用料金
				市内　300円 市外　450円 体育競技以外を目的とする場合 市内　600円 市外　750円 営利目的の場合　1,050円 個人利用（1回券） 大　人　100円 高校生　50円 小中学生　20円 個人利用（回数券） 大　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～11時 B.　11時～13時 C.　13時～15時 D.　15時～17時 E.　17時～19時 F.　19時～21時
南相馬市 弓道場	原町区三島町一丁目 67-1	弓　道	競技場面積 880㎡ 6人立射場 会議室・練習場 更衣室 トイレ	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内　520円 市外　780円 営利目的の場合　1,820円 個人利用（1回券） 大　人　100円 高校生　50円 小中学生　20円 個人利用（回数券） 大　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 個人利用（年間利用券） 大　人　3,000円 高校生　1,500円 小中学生　600円 〔個人利用時間区分〕 A.　9時～12時 B.　12時～17時 C.　17時～21時

施　設　名	所　在　地	競技種目	施　設　内　容	利用料金
北　新　田 第一運動場	原町区北新田字諏訪 231-1	少年野球 ソフト ボール	競技場面積 11,387 ㎡ 少年野球 2面 ソフトボール 2面 （157m×78m） 管理棟・物品庫 トイレ	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　630 円 市外　940 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,260 円 市外　1,570 円 営利目的の場合　2,200 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　310 円 市外　460 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　620 円 市外　770 円 営利目的の場合　1,080 円
北　新　田 第二運動場	原町区北新田字諏訪 68-1	屋外競技	競技場面積 7,758 ㎡ ゲートボール 物品庫	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　420 円 市外　630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　840 円 市外　1,050 円 営利目的の場合　1,470 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　210 円 市外　310 円 体育競技以外を目的とする場合 市内　420 円 市外　520 円 営利目的の場合　730 円 個人利用（1 回券） 大　人　100 円 高 校 生　50 円 小中学生　20 円 個人利用（回数券） 大　人（12 回）1,000 円 高 校 生（12 回）　500 円 小中学生（12 回）　200 円 個人利用（年間利用券） 大　人　3,000 円 高 校 生　1,500 円 小中学生　600 円

施　設　名	所　在　地	競技種目	施　設　内　容	利用料金
北新田野球場	原町区北新田字諏訪241-7	野　　球 ソフト 　ボール	競技場面積 7,780 ㎡ 両　　翼　85m センター　90m 外野フェンス H＝3.00m バックネット H＝10.00m 倉　庫　2 足洗場　1	全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　520円 市外　780円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,040円 市外　1,300円 営利目的の場合　1,820円
南相馬市馬事公苑	原町区片倉字畦原4-1 ℡（24）4511 FAX（24）4518	馬　　術 ディスク 　ゴルフ	競技場面積　28ha 障害馬術馬場 馬場馬術馬場 覆馬場 走　路 直線坂路 みどりの広場 管理棟	個人利用（2時間） 学生以下　100円 一　般　200円 （回数券12回） 学生以下　1,000円 一　般　2,000円 個人利用（半日又は夜間1回） 学生以下　300円 一　般　610円 （回数券12回） 学生以下　3,000円 一　般　6,100円 貸切使用料 全面 １日　50,970円 半日　25,480円 １施設ごと １日　16,310円 半日　8,150円
栄町柔剣道場	原町区栄町二丁目42 ℡（24）2810	柔　　道 剣　　道 囲　　碁 会　　議	総面積　781 ㎡ １階　320 ㎡ ２階　461 ㎡ 柔道場　96畳 剣道場　19m×20m 講和室　2 更衣室　2	講和室全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　1,050円 市外　1,570円 営利目的の場合　3,670円 講和室半面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　520円 市外　780円 営利目的の場合　1,820円 柔剣道場全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　1,050円 市外　1,570円 営利目的の場合　3,670円 柔剣道場半面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　520円 市外　780円 営利目的の場合　1,820円 個人利用（1回券） 大　　人　100円 高校生　50円 小中学生　20円 個人利用（回数券） 大　　人（12回）1,000円 高校生（12回）　500円

施　設　名	所　在　地	競技種目	施　設　内　容	利用料金
				小中学生（12回）　200円 個人利用（年間利用券） 大　　人　3,000円 高 校 生　1,500円 小中学生　　600円 〔個人利用時間区分〕 A.　　9時～12時 B.　12時～17時 C.　17時～21時
南相馬市相撲場	原町区桜井町二丁目333	相　撲	土俵　　1面 更衣室、トイレ	全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内　　710円 市外　1,060円 営利目的の場合　2,480円 個人利用（1回券） 大　　人　110円 高 校 生　60円 小中学生　30円 個人利用（回数券） 大　　人（12回）1,100円 高 校 生（12回）　600円 小中学生（12回）　300円 個人利用（年間利用券） 大　　人　3,300円 高 校 生　1,800円 小中学生　　900円 〔個人利用時間区分〕 A.　　9時～12時 B.　12時～17時 C.　17時～21時
小川町体育館	原町区小川町322-1	室内競技	総面積 1,269㎡ バスケットボール 2面 バレーボール 2面 バドミントン 6面 卓　球 10台 フロアー 35m×30m 2階多目的ホール	競技場全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　1,140円 市外　1,710円 体育競技以外を目的とする場合 市内　2,280円 市外　2,850円 営利目的の場合　3,990円 競技場半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内　570円 市外　850円 体育競技以外を目的とする場合 市内　1,140円 市外　1,420円 営利目的の場合　1,990円 個人利用（1回券） 大　　人　100円 高 校 生　50円 小中学生　20円 個人利用（回数券） 大　　人（12回）1,000円 高 校 生（12回）　500円 小中学生（12回）　200円 多目的ホール1区画貸切利用

施　設　名	所　在　地	競技種目	施　設　内　容	利用料金
				（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 　市内　210円 　市外　310円 体育競技以外を目的とする場合 　市内　420円 　市外　520円 営利目的の場合　730円 〔個人利用時間区分〕 A.　　9時～12時 B.　12時～15時 C.　15時～17時 D.　17時～19時 E.　19時～21時
南　相　馬 市民プール	原町区桜井町二丁目166 ℡（26）9380	屋内プール	建築面積 1,685.47㎡ 25mプール 8コース （25m×10m） 幼児プール	1コース貸切利用 非営利目的の場合 　市内　1,250円 　市外　1,870円 営利目的の場合4,370円 個人利用（1回券） 　大　　人　500円 　高校生　200円 　小中学生　100円 個人利用（回数券） 　大　　人（12回）5,000円 　高校生（12回）2,000円 　小中学生（12回）1,000円 個人利用（年間券） 　大　　人（年間）22,500円 　高校生（年間）　9,000円 　小中学生（年間）　4,500円 〔利用時間〕 10時00分～20時30分

3　学校体育施設開放

小高区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
小高区内小中学校	校庭 多目的ホール 屋内運動場	サッカー バレーボール 卓球 剣道　など	(火) 午後 5:00～午後 7:00 (水、金) 午後 7:00～午後 9:00 (土) 第１・第３土曜日　午前 9:00～正午 第２・第４土曜日　午前 9:00～午後 5:00

鹿島区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
鹿島区内小中学校	校庭	サッカー　など	(月～金) 開放しない (土・日・祝日及び長期休業日) 午前 8:30～午後 5:00
	屋内運動場	バレーボール バドミントン 剣道　など	(月～金) 午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日及び長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00

原町区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目		開放する日時
原町区内小中学校	校庭	ソフトボール サッカーなど	5 月 1 日～10 月 31 日まで	(月～金) 午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00
			上記以外の日	(土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 5:00
	多目的ホール 屋内運動場	バレーボール 卓球　など		(月～金)午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00

使用料（各区共通）

施設等	使用料	摘要
多目的ホール	1 時間につき 520 円	普通券及び回数券の 1 回の使用時間は、1 時間とする。
屋内運動場	1 時間につき 520 円	
	普通券　1 回　520 円	
	回数券　12 回　5,200 円	
校庭	夜間照明を使用する場合 1 時間につき 200 円	
	夜間照明を使用しない場合 無料	

Ⅸ　各種委員会等名簿

南相馬市生涯学習推進委員

職　名	氏　　名	所　　属　　等	選　出　区　分
委員長	飯　塚　　宏	学識経験者	小高区
副委員長	塙　　龍　太　郎	学識経験者	鹿島区
委　員	佐　藤　公　一	南相馬市小中学校長会 （原町第二中学校）	関係機関
委　員	細　田　剛　啓	南相馬市スポーツ協会	関係機関
委　員	目　黒　道　崇	原町青年会議所	関係機関
委　員	杉　　重　典	学識経験者	小高区
委　員	水　谷　祐　子	学識経験者	小高区
委　員	瀬　下　智　美	学識経験者	小高区
委　員	鎌　田　博　信	学識経験者	鹿島区
委　員	今　野　秀　幸	学識経験者	鹿島区
委　員	佐　藤　こ　ゆ　る	学識経験者	鹿島区
委　員	大　場　盛　子	学識経験者	原町区
委　員	富　田　　恵	学識経験者	原町区
委　員	西　　チ　イ　子	学識経験者	原町区
委　員	遠　藤　友　彦	学識経験者	原町区

任期　令和８年４月１日から令和１０年３月３１日まで

南相馬市文化財保護審議会委員

役　職　名	氏　　名	所　属　等	専門分野
委　　員	伊　賀　和　子	学識経験者	自　然
委　　員	猪　狩　正　志	学識経験者	歴　史
委　　員	岩　崎　真　幸	学識経験者	民　俗
委　　員	岡　田　清　一	学識経験者	歴　史
委　　員	川　延　安　直	学識経験者	美　術
委　　員	竹　谷　陽　二　郎	学識経験者	自　然
委　　員	玉　川　一　郎	学識経験者	考　古
委　　員	丹　野　香　須　美	学識経験者	民　俗
委　　員	二　上　裕　嗣	学識経験者	歴　史
委　　員	山　本　富　士　夫	学識経験者	歴　史

任期　令和８年４月１日から令和１０年３月３１日まで

南相馬市スポーツ推進審議会委員

No.	氏　名	所　属	役　職
1	細　田　　剛　啓	南相馬市スポーツ協会	会長
2	片　山　義　雄	南相馬市スポーツ協会	副会長
3	江　本　節　子	南相馬市レクリエーション協会	会長
4	堀　　耕　平	南相馬市スポーツ少年団本部	本部長
5	伊　藤　　絵　美	相双教育事務所	社会教育主事
6	安　達　大　晃	相双地区高等学校体育連盟	理事長 （相馬高等学校）
7	鈴　木　　和　一　郎	南相馬市小中学校長会	大甕小学校校長
8	西　　祥　一	スポーツ施設指定管理者協議会	会長
9	山　本　啓　史	一般社団法人原町青年会議所	総務広報委員会副委員長
10	中　村　博　之	スポーツ国際交流経験者	
11	塙　　龍　太　郎	南相馬市ＰＴＡ連絡協議会	鹿島中学校ＰＴＡ会長

任期　令和７年４月１日から令和９年３月３１日まで

南相馬市スポーツ推進委員

No.	氏　名	性別	住 所	役職名・グループ名	No.	氏　名	性別	住 所	役職名・グループ名
1	百 井　茂	男	南相馬市原町区	会 長	21	佐 藤 朝 生	男	南相馬市原町区	
2	境 原　祥 友	男	南相馬市原町区	副会長	22	臼 井 規 之	男	南相馬市鹿島区	
3	岡 﨑　真奈美	女	南相馬市小高区	副会長	23	杉　安 子	女	南相馬市原町区	
4	岡 本 慶 子	女	南相馬市鹿島区	会 計	24	今 野 治 己	男	南相馬市原町区	
5	米 津　とき子	女	南相馬市原町区	監 事	25	門 馬　裕	男	南相馬市鹿島区	
6	小 屋　進	男	南相馬市鹿島区	監 事	26	佐々木　貴子	女	南相馬市原町区	
7	丸 山　千賀子	女	南相馬市原町区	女性代表	27	佐 藤 恵 美	女	南相馬市原町区	
8	秩 父 重 弘	男	南相馬市鹿島区		28	平　優	女	南相馬市原町区	
9	佐 藤　実	男	南相馬市原町区		29	大 土　幹 子	女	南相馬市鹿島区	
10	松 野　たつ子	女	南相馬市原町区		30	三 春 花 織	女	南相馬市原町区	
11	小 倉 陽 一	男	南相馬市鹿島区						
12	荒　義 裕	男	南相馬市鹿島区						
13	三本松　裕子	女	南相馬市原町区						
14	和 泉 ひ で 子	女	南相馬市鹿島区						
15	濵 野 和 人	男	南相馬市原町区						
16	阿 部 秀 子	女	南相馬市小高区						
17	佐 藤 文 彦	男	南相馬市原町区						
18	髙 玉 雅 利	男	南相馬市原町区						
19	鈴 木　美奈子	女	南相馬市原町区						
20	草 野 禎 夫	男	南相馬市鹿島区						

任期　令和８年４月１日から令和１０年３月３１日まで

南相馬市立図書館協議会

役職名	氏名	所属
会長	森岡こう	社会教育関係
副会長	松永雄一	学識経験者
委員	田村高弘	学校教育関係（石神第一小学校）
委員	矢内信男	学校教育関係（原町第一中学校）
委員	近藤能之	社会教育関係
委員	蒔田志保	家庭教育関係
委員	今野聡	学識経験者
委員	金谷清子	学識経験者
委員	鈴木久美子	社会教育関係
委員	伏見香代	社会教育関係

任期　令和８年４月１日から令和１０年３月３１日まで

南相馬市立博物館協議会

役職名	氏名	所属
委員	栗村文夫	学識経験者（民俗）
委員	西チイ子	南相馬市生涯学習推進委員会
委員	安川徹	南相馬市立幼稚園協会
委員	高野道子	南相馬市私立幼稚園協会
委員	塙広治	南相馬市中学校長会（鹿島中学校）
委員	小林寿宣	福島県立原町高等学校
委員	岩崎真幸	学識経験者（民俗）
委員	岡田清一	学識経験者（歴史）
委員	竹谷陽二郎	学識経験者（自然）
委員	吉野高光	学識経験者（考古）

任期　令和８年４月１日から令和１０年３月３１日まで

X　教育史年表

小高町

年	沿　　革
昭和 29	町村合併促進法により、旧小高町、福浦村、金房村の一町二カ村が合併して小高町となる 町村合併により福浦村立福浦小学校を小高町立福浦小学校、金房村立金房小学校を小高町立金房小学校と改称 金房小学校から独立し、小高町立鳩原小学校となる 小高中学校特別教室（理科室・技術実習室）完成
31	小高小学校プール完成
34	小高小学校校舎の老朽化により改築、第一校舎完成
37	塚原分教場廃止 金房小学校学校給食開始　給食室完成 小高中学校屋内運動場落成式
39	小高小学校 12 月 8 日、火災により校舎全焼　改築の第 1、第 3 校舎は類焼をまぬがれ、2・4 校舎を完成
40	小高中学校プール関連施設完成
43	金房小学校プール完成 鳩原小学校町立幼稚園併設
44	小高小学校町立幼稚園併設 鳩原小学校プール完成
45	福浦小学校体育館完成、校門舗装並びに校庭柵新設、吊輪設置
47	小高、金房、福浦三中学校を統合
48	小高中学校新校舎第 1 期工事開始
49	小高中学校新校舎第 2 期工事開始
50	小高中学校新校舎第 3 期工事開始
51	小高中学校体育館完成
52	小高小学校米食給食開始 小高中学校プール完成
53	金房小学校新校舎第 1 期建築工事着工（旧金房中学校校舎へ移転）同完成（995 ㎡）
54	金房小学校新校舎第 2 期建築工事着工（1,171 ㎡）　新校舎完成 金房小学校教育振興会結成
55	福浦小学校旧校舎解体開始　校舎新築起工式
56	福浦小学校新校舎落成式、同祝賀会
57	福浦幼稚園舎、校地内に新築 鳩原小学校校舎改築工事、新校舎への移転
58	鳩原小学校屋内運動場建築工事完成
61	金房小学校給食室新築（100 ㎡）　プール配管修理
平成　2	金房小学校プール改修工事完成
3	小高小学校校舎改築第 1 期工事着工
4	小高小学校校舎改築第 1 期工事完成　校舎改築第 2 期工事着工、同完成
5	小高小学校体育館プール工事着工、同完成　小高小学校新築落成式
13	福浦小学校プール改修工事完成

鹿島町

年	月	沿　　革
昭和 29	3	町村合併促進法により、旧鹿島町、真野村、八沢村、上真野村の一町三カ村が合併し鹿島町となる 町村合併により、鹿島町立真野小学校、鹿島町立上真野小学校と改称
32	3	北右田分校廃止
34	12	上真野小学校学校給食開始
35	12	真野小学校学校給食開始
37	1	鹿島小学校学校給食開始
39	10	町村合併により鹿島町立八沢小学校と改称
40	3	上真野小学校新校舎第 1 期工事　4 教室完成
41	3	真野小学校屋内運動場新設 上真野小学校新校舎第 2 期工事　4 教室完成
42	3	上真野小学校新校舎第 3 期工事　4 教室完成
	7	鹿島小学校プール完成
43	2	鹿島小学校屋内運動場完成
		真野小学校北校舎とりこわし
	4	給食センター開設、給食センターによる給食開始
	6	真野小学校特別教室新設（4 教室）
44	3	栃窪分校廃校
	4	烏崎分校を真野小学校に統合　特殊学級設置
45	2	八沢小学校校舎鉄筋改築　プール完成　南柚木分校を本校へ統合、スクールバスを運行
	3	小池分校廃校
	7	真野小学校プール完成
46	1	上真野小学校プール新築
	12	八沢小学校屋内体育館完成
47	4	鹿島小学校に鹿島幼稚園を併設
48	3	上真野小学校に上真野幼稚園併設
49	9	真野小学校新校舎建築着工
50	3	真野小学校新校舎完成
51	4	鹿島幼稚園を新設し移転
52	9	八沢小学校給食へ米飯給食取り入れ
53	4	真野小学校に真野幼稚園併設
54	9	鹿島小学校新校舎落成式典
	12	鹿島日吉神社のお浜下り国選択民俗文化財となる
56	3	上真野幼稚園新園舎完成移転
	4	真野幼稚園独立園舎完成
58	4	鹿島中学校・上真野中学校を統合し、鹿島町立鹿島中学校となる
59	3	鹿島幼稚園新園舎完成移転
60	3	鹿島中学校屋外部室完成
61	1	鹿島中学校柔剣道場完成・道場開き
平成 4	3	真野小学校体育館新設
	4	上真野小学校校舎大規模改造工事完成
	9	鹿島中学校校庭を整地
5	10	鹿島中学校プール専用水道配管工事完成
	11	体育館道路フェンス完成
6	2	上真野小学校校舎大規模改造内装工事完成
6	3	鹿島中学校南校舎内壁塗装工事完成
7	3	八沢小学校プール西側及び北側フェンス改修工事完成
	7	上真野小学校プール修理工事完成
8	3	鹿島中学校北校舎内壁塗装工事完成

年	月	沿　　革
10	3	八沢小学校プール改築工事完成
11	3	鹿島小学校プール完成
12	6	真野小学校プール改修工事完成
15	3	鹿島小学校屋内運動場工事完成
17	5	八沢小学校新校舎完成

原町市

年	月	日	沿　　革
昭和	3	20	原町、太田村、大甕村、高平村の一町三カ村が合併して原町市となる
29	4	1	原町第二小学校を設置（原町第一小学校に併設、９月２２日から橋本町１丁目）
	5	6	原町市教育委員会傍聴人規則を制定（教規２）
	6	20	太田中学校体育館完成
		28	原町市公立施設等の使用に関する条例を制定（条 29）
	11	19	原町市公立学校通学区域に関する規則を制定（教規 10）
	12	27	原町市社会教育委員の定数及び任期に関する条例が制定される（条 63）
30	12	27	「泉の一葉松」福島県の天然記念物に指定される
		〃	「泉廃寺跡」福島県の史跡に指定される
	12	30	太田中学校校舎増築
31	5	15	原町市営夜の森テニスコート完成（三島町１丁目地内）
	8	21	原町第二小学校校舎完成
	9	4	「泉廃寺跡出土瓦一括 26 点」福島県の重要文化財に指定される
		30	石神村が原町市に合併
	10	3	教育長に対する事務委任規則を制定（教規６）
			教育長専決規定を制定（教程１）
	11	7	「桜井古墳」国の史跡に指定される
	12	26	原町市教育委員会事務局処務規程を制定（教程３）
32	6	3	学校の長に対する事務委任規則を制定（教規１）
		〃	原町市立公民館管理運営規則を制定（教規２）
	10	1	原町市社会教育委員の会議運営に関する規則を制定（教規３）
	12	27	原町市育英資金貸付条例を制定（条 28）
34	1	24	原町第二小学校体育館完成
	4	1	高平中学校を校名変更し原町第二中学校を設置
	5	10	高平校舎の 347 名原町第二中学校に移転
35	2	6	原町校舎の 391 名原町第二中学校に移転
	3	29	石神第二小学校プール兼防火用池完成
	4	6	原町市立公民館運営審議会規則を制定（教規２）
	7	20	原町市体育館条例を制定（条 19）
	11	24	原町第二中学校校舎完成（桜井町１丁目地内）
		26	原町市立公民館の連絡等にあたる公民館に関する規則を制定（教程 10）
36	3	31	高平小学校に体育館完成
	4	1	太田・大甕中学校を統合し原町第三中学校を設置（下太田川内前地内）
	7	31	原町市営雲雀ヶ原陸上競技場完成（中太田天狗田地内）
37	3	30	「木造十一面観音立像」が福島県の重要文化財に指定される
	4	20	大甕校舎から原町第三中学校に移転
	5	24	体育指導委員の定数、任期等に関する規則を制定（教規１）
	6	16	原町第二中学校体育館完成
		27	原町市教育委員会事務局組織規則を制定（教規２）
38	1	14	原町第三中学校校舎竣工
		18	太田校舎から原町第三中学校に移転、完全統合なる
39	2	1	石神第二小学校校舎増築
	3	27	原町市小学校及び中学校条例を制定（条 37）
		〃	原町市公民館条例を制定（条 38）
		〃	原町市文化財保護条例を制定（条例 46）
	3	31	原町第三中学校の校舎及び給食調理室完成
		〃	原町第二小学校プール完成
	4	1	原町市文化財保護条例規則を制定（教規１）
	6	29	原町第一中学校校舎の一部火災により焼失
	7	10	原町第一小学校プール完成（25m　5 コース）
	8	10	原町市スポーツ少年団発足（22 団体 448 人）
	9	19	太田小学校の校舎増築
40	3	17	原町第一小学校体育館完成
	4	12	原町第三中学校体育館完成

年	月	日	沿　　革
		29	石神第二小学校横川分校１～６年生を廃止
	8	5	原町市三道会館完成（三島町１丁目地内）
	10	10	原町市総合体育大会を開催
41	2	15	原町第二中学校特別教室完成
	4	1	充て指導主事１名配置
	11	20	原町第二小学校特別教室完成
42	3	31	石神第一小学校不動分校（１～４年生）並びに原町第一小学校渋佐分校（１～２年生）を廃止
		〃	原町第二中学校プール完成（25m　6 コース）
	8	29	「陣太鼓」「鳥毛槍」を市有形民俗文化財に「平福穂庵神馬額」「藤田家所蔵文書」を市有形文化財に指定
	10	2	石神中学校給食調理室完成
		〃	原町第一中学校特別教室完成
43	1	26	原町第一中学校校舎完成
	3	25	原町第二小学校校舎増築
		31	原町市教育委員会職員の職名等に関する規則を制定（教規２）
	8	15	原町第二小学校給食調理室完成
	11	10	原町第一中学校体育館完成
44	2	25	原町市公の施設等の使用に関する条例施行規則を制定（規５）
	3	31	大甕小学校堤谷分校（１～２年生）廃止
	4	1	原町第一小学校に「ことばの教室」を開設
		11	「初発神社のスダシイ樹林」福島県の天然記念物に指定される
	8	24	原町第二中学校給食調理室完成
	11	3	原町市民憲章を制定（告 25）
	11	20	原町第三中学校プール完成（25m　5 コース）
45	2	25	石神第一小学校体育館完成
		28	原町第二小学校に交通安全教育センター完成
	6	1	教育委員会事務局に総務課、指導課を設置
	11	12	「三島神社の竜と唐獅子」「野馬追図屏風」を市有形文化財に「片倉の笠松」「医徳寺のしだれ松」を市天然記念物に指定（教告４）
46	1	11	原町第一中学校給食調理室完成
	3	11	「旧武山家住宅」国の重要文化財に指定される
		8	石神第二小学校体育館完成
		25	原町市幼稚園条例を制定（条９）
	4	1	原町第三小学校を設置（原町第二小学校に併設）
		〃	石神第一、石神第二、高平、大甕、太田に幼稚園を設置
		26	原町市立幼稚園の授業料の納入及び減免措置に関する規則を制定（教規５）
	6	17	原町市教育施設使用規則を制定（規６）
	7	1	原町市農業青年研修センター設置条例を制定（条 19）
		〃	原町市農業青年研修センター管理規則を制定（教規５）
	12	11	大甕小学校プール完成（25m　6 コース）
47	2	28	原町第三小学校６年生、新校舎（上町１丁目地内）に移動
	5	20	原町市教育委員会事務局財務規程を制定（教訓１）
	6		市内小学校一年生の児童を対象に心電図検査を実施
	7	1	原町市教育財産管理規則を制定（教規６）
		〃	原町市社会教育指導員設置等に関する規則を制定（教規７）
		〃	「羽山岳の木戸跡」を史跡に指定
	8	9	原町第三小学校校舎（第二期）完成、全校移動完了
		10	太田小学校プール完成（25m　6 コース）
		〃	原町第一小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成
	9	1	原町第一小学校給食調理室完成
	10	1	原町市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を制定（教規９）
	10	25	原町第三小学校給食調理室完成
	11	8	原町第三小学校体育館完成
	12		市内小中学校にＯ・Ｈ・Ｐ46 台導入

年	月	日	沿　　革
48	2	3	原町第一小学校校舎改築工事完成
	3	25	原町公民館改築工事完成
		26	原町公立学校教育指導委員設置に関する規則を制定（教規５）
		〃	原町市教育委員会公告式規則を制定（教則 10）
		〃	原町市公立学校職員の勤務時間に関する規程を制定（教訓１）
		〃	原町市立幼稚園職員の勤務時間に関する規程を制定（教訓４）
		〃	原町市教育委員会公印規程を制定（教訓５）
	4	1	指導主事１名を配置
		26	羽山装飾横穴古墳を発見
	6	1	市内小学校一年生の児童を対象に尿検査を実施
		〃	「泉の舘跡」を市史跡に指定
	8	5	石神第一小学校、石神第一幼稚園プール完成（25m　6 コース）
		6	原町第二小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成
		23	市内小中学校にアナライザー16 台設置
	10		原町第一中学校に相撲場建設（国庫補助 300,000 円）
49	2	5	原町市立図書館完成
		〃	原町市立勤労青少年ホーム完成
		21	原町第三小学校校舎完成
		〃	原町市野球場完成（桜井町１丁目地内）
	3	22	原町市立図書館条例を制定（条 21）
		〃	原町市勤労青少年ホーム条例を制定（条 22）
		〃	原町市スポーツ施設条例を制定（条 23）
		31	原町第一小学校ことばの教室増築
	4	1	教育委員会に対する事務委任規則を制定（規 16）
		〃	原町市立図書館処務規則を制定（教規３）
		〃	原町市立図書館運営協議会の会議運営に関する規則を制定（教規４）
		〃	原町市勤労青少年ホーム条例施行規則を制定（教規５）
		〃	原町市文化センター管理規則を制定（教規６）
		〃	原町市体育館条例施行規則を制定（教規 12）
		〃	原町市スポーツ施設使用料の減免及び返還に関する規則を制定（教規 13）
		〃	原町市スポーツ施設条例施行を制定（教規 14）
		〃	原町市教育委員会事務決裁規程を制定（教訓１）
		〃	原町市勤労青少年ホーム処務規程を制定（教訓３）
		6	原町市立図書館規則を制定（教規２）
	6	7	原町市教育委員会会議規則を制定（教規 17）
	7	17	原町市育英資金貸付条例施行規則を制定（教規 21）
	12	23	「羽山横穴」国の史跡に指定される
50	5	16	高平小学校校舎の一部を火災により焼失
	9	13	原町第三小学校プール完成（25m　6 コース）
51	3	23	石神第二小学校校舎の一部を火災により焼失
		30	大甕小学校校舎改築及び給食調理室完成
	4	1	原町市社会教育事業連絡協議会規程を制定（訓４・教訓１）
		〃	「聖石」鎧「紺威銅丸」・「金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足」・「紺糸威二枚胴具足の兜と大袖」・「盛上本小札紺糸裾濃威胴丸」・「盛上本小札縹糸威二枚胴具足」・「切付盛上札色々威二枚胴具足」・「色々威胴丸」・「紺糸威胴丸および兜と袖」・「金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋柄威二枚胴具足」を市有形民俗文化財に指定
	6	5	原町市私立幼稚園在籍園児の保護者に対する助成金交付要綱を制定（教訓２）
		30	原町市勤労青少年ホーム運営委員会規則を制定（教規３）
	10	31	大甕小学校体育館完成
52	2	15	原町第一中学校特別教室完成
		〃	石神第二小学校校舎改築及び給食調理室完成
		17	高平小学校校舎（第一期）改築工事完成
	3	20	原町市民プール完成（50m　9 コース）
	4	1	学校給食に米飯導入（週１回）
	9	2	高平小学校に給食調理室完成

年	月	日	沿　　革
53	3	3	高平小学校校舎（第二期）改築工事完成
		〃	高平幼稚園園舎改築工事完成
		17	大甕幼稚園園舎改築工事完成
		〃	原町サッカー場完成（高見町１丁目地内）
		〃	大甕公民館の改築漏示完成
		30	原町市補助金等の交付等に関する規則に基づく市長の権限を原町市教育委員会に委任する規則を制定（規 10）
	5	22	「相馬野馬追」国の重要無形民俗文化財に指定される
	8	10	高平小学校・高平幼稚園プール完成（25m　6 コース）
	9	30	石神第一小学校給食調理室完成
		〃	原町市心身障害児就学指導審議会条例を制定（条 28）
	11	10	原町市心身障害児就学指導審議会条例施行規則を制定（教規２）
	12	27	太田小学校の給食調理室改築工事完成
54	2	10	原町市勤労者体育センターの管理及び運営に関する条例を制定（条５）
		28	原町市公立小中学校管理規則を制定（教規１）
	3	5	太田幼稚園園舎改築工事完成
		30	原町市スポーツ振興審議会条例を制定（条６）
		〃	原町勤労者体育センター管理規則を制定（規４）
		31	原町運動公園テニスコート完成（高見町１丁目地内）
		〃	石神第二幼稚園園舎改築工事完成
		〃	石神公民館改築工事完成
	4	1	原町市教育委員会事務局に社会教育課設置
	5	7	原町市公立幼稚園管理規則を制定（教規３）
	6	20	石神第二小学校校舎増築
	7	30	原町第一中学校プール完成（25m　7 コース）
	8	15	原町市公立学校体育施設の開放に関する規則を制定（教規７）
		〃	原町市公立学校体育施設の開放に関する実施要綱を制定（教訓４）
55	1	19	石神第一幼稚園園舎改築工事完成
	2	20	高平公民館改築工事完成
	3	24	石神第一小学校校舎改築工事完成
		〃	石神中学校校舎（第一期）改築工事完成
56	1	31	石神中学校給食調理室完成
	3	21	太田公民館改築工事完成
		24	石神中学校校舎（第二期）改築工事完成（校舎及び給食室）
		〃	太田小学校校舎（第一期）改築工事完成
		25	原町市福島県営原町体育館管理条例を制定（条７）
		31	原町市福島県営原町体育館管理条例施行規則を制定（教訓１）
		〃	原町市福島県営原町体育館処務規程を制定（教訓１）
	4	1	高平小学校通学区域の正常化を図る
		16	原町市立公民館処務規程を制定（教訓２）
	7	30	石神中学校プール完成（25m　7 コース）
	9	5	原町市弓道場完成（三島町１丁目地内）
57	3	11	石神中学校体育館完成
		29	太田小学校校舎（第二期）改築工事完成
		30	高平小学校校舎増築工事完成
	5	25	高平小学校体育館火災により焼失
	6	21	赤沼遺跡を試掘
	7	7	石神第二小学校用地を買収
	12	8	小川町体育施設にゲートボールコート（２面）完成
58	1	31	高平幼稚園園舎増築
	2	15	市営野球場にバックスクリーン及びスコアボード完成
		28	原町第二小学校校舎及び給食調理室改築工事完成（第一期）
		〃	大甕小学校校舎増築
		〃	石神第二小学校校舎増築
	3	30	桜井運動公園駐車場用地を買収

年	月	日	沿　　革
	4	1	修行年限２年以上の専修学校在学者を原町市育英資金貸付の対象とする
		〃	通学距離３㎞以上の小学校１年生、２年生のバス通学者にバス定期代実費の１／２を補助
		〃	大甕・太田小学校通学区域の正常化
	5	10	高平小学校体育館完成
		27	原町市公立小学校遠距離通学費助成金交付要綱を制定（教訓２）
59	1	31	太田小学校体育館改築工事完成
	2	29	原町第二小学校校舎改築（第二期）工事完成
		〃	石神第二小学校校舎改築工事完成
		〃	市営野球場に本部席、バックネット及びフェンス等設置
	3	4	原町第一中学校の校舎一部火災により焼失
		28	バス定期利用者以外の遠距離通学児童についても月額 1,000 円が 58 年４月に朔及し補助対象となる（教訓１）
		〃	原町市文化及びスポーツ振興基金条例を制定（条 12）
	4	12	遠距離通学助成対象者を小学４年生まで拡大（教訓２）
	5	1	原町市歴史資料及び民俗文化財調査員設置要綱を制定（教訓４）
		〃	原町市教育センター運営要綱を制定（教訓５）
	6	20	原町無線塔記録ビデオ完成
	7	31	原町第二小学校プール完成（25m　8 コース）
60	2	28	原町第二小学校校舎改築工事完成
	3	15	北新田に運動場、管理棟完成
	4	1	全公民館に社会教育指導員配置
		〃	原町市教育委員会事務局処務規程全面改正（訓１）
		〃	副読本「社会科はらまち」を刊行し小学校第３学年児童に無償給付する
	7	20	石神第二小学校にプール完成（25m　6 コース）
	11	8	教育相談員による教育相談開始（毎週火・金曜日）
61	1	18	北新田に野球場完成
		30	石神第二小学校低学年用プール完成
		31	大甕公民館に研修室（洋室）増築
	3	10	原町第二中学校校舎改築（第一期）工事完成
		〃	原町第二中学校給食室改築工事完成
	4	1	原町市教育センター指導員配置
	7	1	市立幼稚園授業料改訂（現行 3,000 円を 4,000 円に改訂）
		31	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 66. 8. 5 まで）
	8	25	原町第一小学校プール附属建物改修工事完成
		30	原町第一中学校校舎大規模改修（第一期）工事完成
	11	17	市内中学校４校にパーソナル・コンピュータ各１台配置（ＮＥＣ製）。
	12	13	石神中学校校舎増築
		15	北新田に第二運動場及び附属設備完成
62	2	28	原町第二中学校校舎改築（第二期）工事完成
	3	6	市指定文化財の解除（鎧・紺威胴丸）
	3	25	原町第二中学校自転車置場及び外構工事完成
	4	1	育英資金貸付条例の一部改正され、昭和 62 年度より貸付額の引上げ実施(条４)
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、社会教育課に文化振興係及び体育振興課を新設（教規１）
		〃	原町第二中学校に多目的ホールを設置し一般開放（教訓４）
	5	12	市民プール公認期間延長（公認期限 67. 5. 10 まで）
		30	大甕幼稚園幼児プール設置
	6	1	原町第一小学校敷地借地 124 ㎡所有者佐々木隆殿より寄付される
		30	原町市公立学校施設の開放に関する要綱を制定（教訓４）
	7	1	生涯教育推進本部設置要綱を制定（教訓５）
		〃	生涯教育推進会議設置要綱を制定（教訓６）
		10	石神第二小学校及び大甕小学校に防球ネット設置
	9	30	原町第二中学校体育館床改修工事完成
	11	17	市内小学校８校にパーソナル・コンピュータ各１台を設置（ＮＥＣ製）

年	月	日	沿　　革
	12	21	原町第一小学校（南校舎）庇パラペット補修工事完成
63	2	29	原町第二中学校校舎改築（第三期）工事完成
	3	15	原町第二中学校外構及び解体工事完成
	4	1	原町文化及びスポーツ振興育成事業に関する規則を制定施行（教規２）
		〃	原町市文化及びスポーツ振興育成事業特別会計条例を制定し助成事業を開始
	6	1	第 50 回国民体育大会原町市準備推進本部設置要綱を制定（教訓１）
		〃	第 50 回国民体育大会原町市幹事会設置要綱を制定（教訓２）
	11	10	北新田運動場（第一運動場）緑化工事完成
	12	19	石神第二幼稚園遊戯室改築（180 ㎡）完成
平成	1	8	元号改正され「平成」となる
元年	3	13	石神第二小学校体育館改築（1,100 ㎡）工事完成
		20	市野球場マウンド改修工事完成（基準改正による）
	4	1	原町市語学指導を行う外国青年の給与に関する条例を制定（条３）
		〃	育英資金貸付条例の一部改正され、平成元年度より貸付額の引上げ実施（条８）
		〃	招致外国青年就業規則を制定（教規２）
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課に国体係を新設（教規１）
	6	20	北新田運動場（第二運動場）緑化工事完成
	9	20	市野球場に内野スタンド新設（252 人収容）
	10	11	原町第二中学校に相撲練習場（68.96 ㎡）完成
	12	10	北新田運動場に、プレハブ倉庫（46.2 ㎡）完成
		26	育英資金貸付条例の一部改正され、大学生貸付額に区分を設け、なお、貸付額の引上げ実施（条 43）
		〃	原町市公民館条例の一部改正を行い、「ひがし公民館」を設置する条例を制定（条 44）
2	2	15	原町第三中学校校舎一期（1,496 ㎡）及び給食室（127 ㎡）改築及び防球ネット・フェンス等設置工事完成
		28	原町第三小学校校舎増築（861 ㎡）及び外構工事完成
	3	20	原町第二小学校体育館及び附属便所改修工事完成
		〃	ひがし公民館建設（493 ㎡）
	7	20	北新田運動場（多目的広場）緑化工事完成
	8	20	市野球場に内野スタンド新設（二期）
		31	運動公園に原町市相撲場建設
	10	5	原町第一小学校屋体整備第一期改修工事完成
		9	原町第二中学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）10 台配置
	11	9	原町市相撲場関連施設工事完成
3	3	11	原町第三中学校校舎二期（2,151 ㎡）改築工事完成
		15	原町第一小学校（北校舎）庇パラペット補修工事完成
		25	原町第三中学校屋外環境整備工事、外構工事等完成
	3	28	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課国体系を市長部局に組織替となる
	4	1	社会体育課が生涯教育課と改称（４月１日実施）
	7	17	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 8. 8. 5 まで）
	10	15	原町第三小学校パラペット・外壁塗装改修工事完成
		31	原町市野球場スタンド改修工事完成
4	1	24	野馬追の里歴史民俗資料館建設の基本構想
		31	市指定文化財の解除（天然記念物・片倉の笠松）
	2	29	原町第一中学校校舎一期（534 ㎡）増改築工事完成
	3	31	原町第三中学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）10 台配置
		〃	グランドピアノ５台を更新（原町第二小学校・太田小学校・石神中学校・原町第一中学校・原町第二中学校）
		〃	教育委員会事務局組織が改定され、生涯教育課を生涯学習課と文化課の２課とする（４月１日実施）
	4	1	県営原町体育館を原町市スポーツセンターと名称を変更
	9	12	学校週五日制に係る学校開放事業開始
	10	6	市民プール公認期間延長（公認期間 9. 5. 10 まで）
5	3	5	原町市第三小学校屋体の屋根ふき替工事完成
		10	太田小学校校舎（400 ㎡）改築工事完成

年	月	日	沿　　革
		〃	原町第一中学校校舎二期（509 ㎡）増築工事完成
		20	原町第一中学校・石神中学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）10 台配置
		30	グランドピアノ８台を更新（石神第一小学校・石神第二小学校・原町第一小学校・原町第三小学校、全中学校）
		〃	全小中学校にファクシミリ機器を設置
		31	「八坂神社のアカガシ樹林」を市天然記念物に指定
	4	1	市情報公開条例により教育委員会が実施機関となる
		〃	各公民館に空調設備工事完成
	8	30	「野馬追図の屏風」を市有形民俗文化財に指定
	9	1	原町第一中学校屋内運動場（一期）工事完成
		10	大甕小学校校舎外壁・防水改修工事完成
		30	全中学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）10 台配置
	10	29	１学校 21 台の配置を完了
	12	20	生涯学習都市宣言
6	1	31	野馬追の里歴史民俗資料館建設起工式
	3	15	大甕小学校・原町第二中学校及び原町第三中学校のプール施設の全面改修工事完成
		25	太田小学校・原町第三小学校・石神第一小学校プール改築・改修工事完成
		〃	サッカー場改修工事完成（芝張）
		31	勤労者体育センター外部等改修工事完成
	6	20	高平小学校プール施設の全面的な塗装改修工事完成
	7	20	市立図書館及び原町公民館事務室の冷暖房設備の整備
	9	20	太田幼稚園の園庭整備（太田小旧プール跡地の活用）
		30	原町第一中学校屋内体育館の内・外壁及び照明器具の全面改修工事完成（平成５年は、当該施設の床の全面改修を図ったもの）
	6	20	高平小プール全面塗装改修工事完成
	9	20	太田幼稚園園庭整備
		30	原町第一中学校屋内運動場改修工事完成（２期）
	10	31	石神中学校運動場用地取得（8,528 ㎡）
7	3	15	大甕小学校プール改築工事完成
		〃	原町第二中学校プール改築工事完成
		〃	原町第三中学校プール改築工事完成
	4	1	野馬追の里歴史民俗資料館開設
		〃	原町市生涯学習センター、各地区生涯学習センター開設
	5	1	「北萱浜の天狗舞」・「馬場の神楽七芸」を原町市無形民俗文化財に指定
	8	26	野馬追の里歴史民俗資料館一般公開開始
	9	20	大甕小学校浄化槽全面改修工事完成
	10	31	原町市体育館屋根改修工事完成
8	3	22	小川町体育館改築完成
		〃	原町市野球場夜間照明施設整備
		〃	石神中学校プール改築工事完成
		〃	石神中学校運動場整備
		〃	運動公園テニスコート改修工事完成
	4	1	生涯学習部設置
	5	9	野馬追の里歴史民俗資料館が博物館法に定める博物館に登録される
	6	26	全小学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）各 21 台配置
	8	15	農業研修センターを改築し、陸上競技場管理棟に改める
	11	1	原町市教育相談室「やすらぎ広場」開設
9	3	17	原町第二中学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん担当の配置
		〃	石神第一幼稚園で３歳児保育を試行
		〃	市立幼稚園の授業料改訂（月額 4,000 円から 5,000 円へ）
	7	24	英語指導助手２名体制となる
	10	1	生涯学習まちづくり出前講座開講
		15	全中学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）各 42 台配置
	12	2	原町図書館業務電算システム導入

年	月	日	沿　　革
10	3	20	石神第一小学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん室を設置
		〃	野馬追の里歴史民俗資料館が野馬追の里原町市立博物館に名称変更
		〃	「野馬追の図二葉」を市有形民俗文化財に指定
		〃	全幼稚園において３歳児保育開始
	6	30	文化センター、各地区生涯学習センターの冷暖房の整備
11	3	12	原町第三小学校屋内運動場改築工事完成
12	1	28	原町第三中学校屋内運動場改築工事完成
	2	1	「銅製鰐口　２口」を市有形文化財に指定
		〃	「桜井古墳群上渋佐７号墳」を市史跡に指定
	3	30	ふれあいドーム建設完成
		31	「紙本著色野馬追図　二鋪」が福島県の重要有形文化財に指定される （市有形民俗文化財「野馬追の図二葉」は市指定解除）
	4	1	原町市教育委員会所管に係る原町市個人情報保護条例施行規程を制定（教訓２）
		〃	原町市教育委員会会議規則全面改正（教規１）
		〃	学校給食用食器を漆器製食器に切り替え使用開始
13	4	1	原町市教育委員会事務局等組織規則全面改正
		〃	原町市生涯学習センター条例及び施行規則制定
		〃	原町市公立中学校管理規則全面改正
		〃	市立幼稚園の授業料を改訂（月額 5,000 円から 5,700 円へ）
		8	ひばり生涯学習センター建設完成
	8	31	小学校にパーソナル・コンピュータ（富士通製）各 51 台、中学校に各９台（富士通製）を配置
	9	1	「上渋佐７号墳出土銅鏡」を市有形文化財に指定
14	2	16	市民文化会館建設着工
		20	原町第三中学校屋外運動場（テニスコートフェンス）整備
		28	太田幼稚園園舎（保育室）増築
	8	23	全中学校にパーソナル・コンピュータ（ＮＥＣ製）各 42 台の入れ替え
	11	5	「野馬土手」及び「行方郡家政庁院跡」を市史跡に指定
		〃	「高平の板石塔婆群」、「荷渡大権現の板石塔婆群」、「相馬太田神社板石塔婆群」及び「社号額『大明神』」を市有形文化財に指定
15	2	7	大甕小学校屋内運動場改築工事完成
	3	25	原町市史第４巻「古代・中世」の刊行
	4	1	公募による地区生涯学習センター所長が就任
	5	18	桜井古墳公園開園
	6	18	ハネダ・カンポス彗星の看板を設置
	8	20	市立幼稚園トイレの洋式化（２ヶ所）
		23	小学校にパーソナル・コンピュータ（富士通製）全 100 台、中学校全 47 台を配置
	10	30	市民文化会館建設完成
16	2	25	原町市史第１０巻「野馬追」の刊行
	3	25	市野球場改修工事完成（ダッグアウト増設、フェンス防護マット設置、防球ネット設置）
	4	1	市立図書館が図書業務係と建設係の２係となる
		〃	市内中学校給食の民間委託を行う
	6	30	市民プールを改修工事完成
	8	24	原町第二小学校トイレの洋式化
	11	13	第１０回全国報徳サミット原町大会を開催
17	2	1	子ども１１０番の家・車を指定し、防犯マップを作成
	3	25	原町市史第８巻「自然」の刊行
		31	「火縄銃　銘中村住神尾久右衛門橘公宗」「黒漆塗鳩胸五枚胴具足　附采配　具足櫃櫃覆」を原町市文化財として指定
	4	1	市立幼稚園で預かり保育を実施
	7	29	市立幼稚園に空調設備設置
	8	31	石神中学校、太田小学校のトイレの洋式化
	12	11	石神中学校屋内運動場火災により全焼

南相馬市

年	月	日	沿　　革
平成	1	1	小高町・鹿島町・原町市の二町一市が合併して南相馬市となる
18		26	浦尻貝塚（小高区浦尻）、国指定史跡となる
		30	運動公園トリムコースの外灯を増設
	2	28	原町第一中学校北校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第９巻「民俗」の刊行
		31	小高町史「おだかの人物」「写真集おだかまちのすがた」の刊行
	4	1	市立幼稚園園長（小高幼稚園、福浦幼稚園、鳩原幼稚園を除く）の専任化
	5	31	石神中学校屋内運動場取壊し（18.3.28～）
	9	27	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 23.8.5 まで）
		29	小高町史「おだかの歴史入門」の刊行
	11	30	鹿島町史「ふる里の歴史」の刊行
19	2	28	石神中学校屋内運動場改築工事完成
	3	15	上真野小学校屋外プール改築工事完成
		26	原町市史第５巻「近世」の刊行
		30	小高町史「写真集おだかまちの民家」の刊行
	5	15	石神中学校屋内運動場落成式
20	2	1	小高体育センターにトレーニング室設置
		15	小高中学校南校舎耐震補強工事完成
		29	真野小学校屋外プール改築工事完成
		〃	原町第一小学校南校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第 11 巻「旧町村史」の刊行
		28	小高町史「海辺の民俗～福浦村を中心に」の刊行
	4	1	小高図書館・鹿島図書館が地域教育課所管から原町図書館所管となる
21	2	13	小高中学校北校舎耐震補強工事完成
		18	原町第一小学校北校舎耐震補強工事完成
		23	上真野小学校屋内運動場改築工事完成
		27	鹿島小学校校舎耐震補強工事完成
	3	31	小高町史「ＤＶＤ映像で見るおだかの民俗芸能」の刊行
	4	1	スポーツ施設指定管理制度導入
		10	小浜千石稲荷神社 地引網漁図絵馬、市有形民俗文化財に指定
	7	15	原町市史「旧町村史」が福島民報出版文化賞特別賞受賞
	10	16	博物館入館者開館以来２０万人達成
	12	1	移転により原町図書館から中央図書館に名称変更
22	2	22	泉官衙遺跡（原町区泉）、国指定史跡となる
		〃	浦尻貝塚、国史跡の追加指定となる
		26	福浦小学校校舎耐震補強工事完成
	3	4	原町第二小学校屋内運動場改築工事完成
		31	小高町史「山手の民俗～金房村を中心に」の刊行
	10	7	八沢小学校屋内運動場改築工事完成
23	1	31	原町市史第３巻「考古」の刊行
	2	7	横大道製鉄遺跡（小高区飯崎）、国指定史跡となる
		28	原町第一小学校屋内運動場改築工事完成
	3	11	東日本大震災（震度６弱、大津波警報）
		〃	大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
		12	避難指示（福島第一原発から半径２０ｋｍ圏内）
		15	屋内退避指示（福島第一原発から半径２０ｋｍ～３０ｋｍ圏内）
	4	22	警戒区域指定（福島第一原発から半径２０ｋｍ圏内）
		〃	緊急時避難準備区域指定 （福島第一原発から半径２０ｋｍ～３０ｋｍ圏内は教育施設休止）
		〃	小・中学校が鹿島区に移転し再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
	4	22	炊き出し昼食提供開始（２，５００食）
		25	小学１年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
	5	6	公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園）
		〃	私立保育園の再開

年	月	日	沿　　革
			（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区寺内地区に臨時園舎にて再開）
		〃	児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢小学校）
	6	1	公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
		29	八沢小地震被害改修工事完成
	8～11	1～5	除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く）
	8	5～7	中央図書館施設除染作業
		9	中央図書館の再開
		〃	南相馬市博物館の再開
		25	学校給食再開（３，３００食）
		〃	鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（２４教室～高平小・大甕小・原町一小・石神二小・小高小・金房小・鳩原小・原町二中）
	9	1	公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
		30	緊急時避難準備区域の解除（福島第一原発から半径２０ｋｍ～３０ｋｍ圏内）
	10	11	私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
		17	原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一中・原町二中）
		〃	児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
		20	原一小地震被害改修工事完成
		31	原一中地震被害改修工事完成
		〃	原二中地震被害改修工事完成
	11	1	私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
		〃	原町区内の生涯学習センター（原町を除く）を再開
		15	南相馬市紹介映画「悠久の風吹くまち」の上映を開始
		21	仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高中・鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
		30	石神中地震被害改修工事完成
	12	6	鹿島図書館の再開
		22	石神二小地震被害改修工事完成
		28	原二小地震被害改修工事完成
24	1	1	南相馬市民文化会館を再開
		8	南相馬市成人式を３区合同により「ゆめはっと」で開催
		10	原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小）
		〃	児童クラブの再開（橋本町児童クラブ）
		20	高平小地震被害改修工事完成
	2	1	スポーツ施設の再開 （原町区内：南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、原町ふれあいドーム） （鹿島区内：千倉体育館、前川原体育館）
		15～	小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
		27	原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中）
		〃	児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
		29	鹿島小地震被害改修工事完成
	3	1	スポーツ施設の再開（夜の森公園テニスコート）
		15	原三中地震被害改修工事完成
		31	鹿島体育館、牛島体育館を解体・廃止
	4	1	児童クラブの再開（石神第一児童クラブ・高平児童センター）
		〃	鹿島生涯学習センターを再開
		〃	原町生涯学習センターが市民情報交流センターに一時移転し、業務を再開
		〃	スポーツ施設の再開（栄町柔剣道場）
		〃	公立幼稚園の再開（原町区大甕幼稚園・高平幼稚園）
		〃	生涯学習課とスポーツ推進課が市長部局「市民生活部文化スポーツ課」に再編移行
	4	3	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
		6	鹿島中仮設校舎入居校（小高小・金房小・鳩原小）
		9	スポーツ施設の再開（南相馬市スポーツセンター）
	7	1	スポーツ施設の再開（南相馬市野球場、北新田野球場、北新田運動場多目的広場）
		2	スポーツ施設の再開（雲雀ヶ原陸上競技場）
		14	スポーツ施設の再開（南相馬市民プール）

年	月	日	沿　　革
	8	31	太田小地震被害改修工事完成
	11	9	南相馬市文化センターの解体
	12	28	原町市史第６巻「近代」の刊行
25	2	28	鹿島・原町区小中学校空調機器（エアコン）整備（上真野小・石神中を除く）
	3	29	小高町史「資料の調査と記録」の刊行
		31	南海老グラウンドを廃止
		〃	鹿島歴史民俗資料館を廃止
	4	1	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し
		〃	真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し
		〃	南相馬屋内市民プールの市の直営管理を開始
		〃	原町生涯学習センターがサンライフ南相馬に移転
		〃	市内全小学校（１６校）への学校図書館支援員の派遣開始
		29	鹿島中地震被害改修工事完成
	5	17	スポーツ施設の再開（南相馬市相撲場）
		20	スポーツ施設の再開（小川町体育館）
	7	1	スポーツ施設の再開（北新田第一運動場・北新田第二運動場）
		16	鳩原小地震被害改修工事完成
	8	30	小高小地震被害改修工事完成
		〃	金房小地震被害改修工事完成
	9	1	原町ふれあいドームを廃止
		30	小高中学校屋内運動場耐震改修工事（地震被害改修工事含む）完成
		〃	福浦小地震被害改修工事完成
	11	29	原町第一中学校屋内運動場改築工事完成
	12	16	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」を再開
26	1	31	上真野小学校校舎耐震改修工事（エアコン整備を含む）完成
	2	3	スポーツ施設の再開（小高体育センター）
	3	10	原町第二小学校プール改築工事完成
		31	鹿島区真野幼稚園廃止
	4	1	真野小学校を鹿島小学校に統合
		〃	市内全中学校（６校）への学校図書館支援員の派遣開始
	6	25	朝日座、国登録有形文化財となる
	7	20	石神中学校校舎耐震改修工事完成（エアコン整備を含む）
	8	30	鹿島町史第１巻「通史」の刊行
	9	29	小高中エレベーター設置工事完成
	12	3	新八沢児童クラブ開所
		1	鹿島中敷地内仮設体育館竣工・供用開始
27	2	1	スポーツ施設の再開（南相馬市馬事公苑）
	3	3	原町区公立保育園芝生化整備（原町あずま保育園）
		〃	鹿島区公立保育園芝生化整備（かしま保育園・かみまの保育園）
		6	鹿島区公立幼稚園芝生化整備（八沢幼稚園・上真野幼稚園）
		7	新潟県立大学との子どもの福祉・教育に関する連携協定締結
		13	原町区公立幼稚園芝生化整備（大甕幼稚園・高平幼稚園）
		31	上町児童センター耐震改修工事完成
		〃	原町市史第７巻「現代」の刊行
		〃	村上の田植踊、県指定重要無形民俗文化財となる
	4	1	公立保育園の再開（原町あずま保育園）
		〃	南相馬屋内市民プール指定管理制度導入
	7	21	スポーツ施設の再開（みちのく鹿島球場）
28	3	31	鹿島町史別巻「続現代資料」の刊行
		〃	小高町史「おだかまちの現代資料～南相馬市誕生までの３０年～」の刊行
	4	1	南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンター再開
		23	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
		26	相馬野馬追図屏風、県指定重要有形民俗文化財となる
		27	スポーツ施設の再開（鹿島体育館）
	5	26	移動図書館車運行スタート（中央図書館）

年	月	日	沿　　革
	7	15	小高図書館再開
		〃	埴谷・島尾記念文学資料館再開
		21	新鹿島児童クラブ開所
	8	1	大谷家住宅東蔵・中蔵・門、国登録有形文化財となる。
	10	17	南相馬市パークゴルフ場供用開始
29			原町市史第１巻「通史Ⅰ」の刊行
	3	31	小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営）、小高中学校の再開
	4	1	公立幼稚園の再開（小高区小高幼稚園）
		〃	南相馬市パークゴルフ場指定管理者制度導入
		〃	スポーツ施設の再開（小高中部運動場・小高西部運動場）
	10	27	髙島家住宅コンクリート蔵・門及び塀、国登録有形文化財となる
30	2	13	泉官衙遺跡、国史跡の追加指定となる
	3	30	小高町史「町場と里の民俗～小高町を中心に～」の刊行
	4	1	市民生活部文化スポーツ課を「市民生活部生涯学習課」と「市民生活部スポーツ推進課」に組織再編
	4	6	杉阿弥陀堂　木造阿弥陀如来坐像・木造毘沙門天立像、県指定重要文化財となる
	4	15	南相馬市テニスコート増設８面供用開始
	11	2	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀、太田家住宅屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵、鈴木家住宅主屋、国登録有形文化財となる。
	12	27	原町市史第２巻「通史Ⅱ」の刊行
31	4	1	組織機構改革により市民生活部生涯学習課を「教育委員会事務局生涯学習課」に編入
		〃	幼児教育課が市長部局「こども未来部こども育成課」に再編移行
		〃	スポーツ施設の再開（千倉グラウンド・前川原グラウンド）
令和元年	5	1	元号改正され「令和」となる
		31	原町第一小学校プール改築工事完成
	7	1	スポーツ施設の再開（小高東部運動場、千倉テニスコート）
		22	南相馬市パークゴルフ場増設トイレ棟供用開始
2	1	14	北新田運動場増設トイレ棟供用開始
	3	16	浜通りのお浜下り国選択民俗文化財となる
		19	市野球場大規模改修工事完了（ナイター照明 LED 化、スコアボード改修、バックネット張替え、時計設置、ミニスコアボード改修、BSO 表示板改修）
		27	夜の森公園テニスコート災害復旧工事完了（ライン撤去新設、砂補充、舗装）
		30	スポーツ施設の再開（小高片草運動場テニスコート）
		31	小高区小高幼稚園、おだか保育園廃止
	4	1	市立おだか認定こども園が開園
		19	スポーツ施設の再開（南相馬市サッカー場）
		30	高平小学校校舎外壁等改修工事完成
		30	石神第一小学校校舎外壁等改修工事完成
	5	29	石神第二小学校プール改築工事完成
3	1	29	栄町柔剣道場・南相馬市弓道場・夜の森公園テニスコート埋設保管除去土壌等撤去完了
	2	26	「東日本大震災記録誌 100 年後へ届ける記録」の刊行
	3	5	GIGA スクール構想に基づき、全小中学校に無線 LAN 環境を整備
		15	南相馬市スポーツセンター大規模改修工事完了（アリーナ照明 LED 化、アリーナ床改修、アリーナ空調設備改修、トイレ洋式化）
		19	北新田野球場・北新田運動場（第二運動場）埋設保管除去土壌等撤去完了
		31	小高区福浦幼稚園、金房幼稚園、鳩原幼稚園廃止
		〃	小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校が閉校
	4	1	市立小高小学校が開校
		23	鹿島区の「北右田の屋敷林」を市有形民俗文化財に指定
	10	29	全小中学校に校務支援システムネットワークを構築
	11	5	南相馬市民プール更新に伴う南相馬市民プール解体工事完了
4	2	28	原町第一中学校駐輪場新築工事完成
	3	31	馬事公苑埋設保管除去土壌撤去業務完了（直線坂路の埋戻し、走路復旧等）
	4	25	「鹿島御子神社の火伏せ祭りと天灯籠神事」を市無形民俗文化財に指定

年	月	日	沿　　革
5	4	24	「片草古墳群一里段支群２号墳」を市史跡に指定
	7	22	浦尻貝塚縄文の丘公園「貝塚観察館」供用開始
6	3	31	八沢小学校が閉校
	4	1	八沢小学校を鹿島小学校に統合
	4	22	「裸子植物ベネチテス目の新種化石キムリエラ・デンシフォリア」を市天然記念物に指定
	9	7	浦尻貝塚縄文の丘公園全面供用開始
7	1	1	小中学校１７校の LED 照明交換完了（１０年間のリース契約、契約終了後所有権は市へ無償移転）
	2	5	浦尻貝塚縄文の丘公園「貝塚観察館」が第 40 回福島県建築文化賞を受賞
	3	28	「木造如意輪観音坐像」が福島県重要文化財（彫刻）に指定
8	4	20	「アンモナイト目の新種化石アウラコスフィンクトイデス・タイライの完模式標本」、「アンモナイト目の新種化石ダルマシセラス・ムネオイの完模式標本」、「カニ類の新種化石プラノプロソポン・カシマエンシスの完模式標本」を市指定天然記念物に指定
	8	7	原町第二中学校テニスコート整備工事完成

編集・発行
令和８年７月発行
南相馬市教育委員会
〒９７５－８６８６
福島県南相馬市原町区本町二丁目２７番地
TEL　０２４４－２４－５２８２
FAX　０２４４－２３－７７８２